

寺ト號スルハ近年ノ事ナラン

千本松 扇金尾ヨリ三町余リ西ニ隣テ四方離レ崔嶋タル巒山アリ本
 名丸山ト號ス都テ此邊ヲ丸山ト云モ此山ノ名ヲ稱スルナリ東ノ麓
 ニ庵室數多建連テ西ハ袋川ノ下流ニテ麓ニ石地敷テ安置ス側ヲニ
 赤松ノ古木アリシカ近年枯テ今肯木一株アリ此山ヲ千本松ト稱ス
 其云來ル事ハ寶曆年中與州ノ修行者回國シテ當國ニ來リ河端三町
 目ニ止宿シテ當國ニ千本松ト云フ名所アルヨシ其方角ヲ問フ乎主
 聞傳ヘスト答ヘケレハ修行者小帳ノ記録ヲ出シテ千本松ト云フハ
 海ト湖ト長流ト此三ツヲ一故ノ中ニ備ヘテ見ル勝地ナリ諸國絶景
 多シト云ハトモ斯ノ如ク三景全備ノ所ナシトナリ我生國ニ松嶋ア
 リ扶桑第一ノ勝景ナレトモ今云フ如キノ天エナラス願ハクハ一見
 シテ歸國ノ物語ニセントイト懸懸ニ訪シケレハ亭主止ム事ナク近
 邊ヲ盡シテ闊尋スレトモ鶴嶺ノ翁世史ニ知ル事ナシサレトモタマ
 タマ遠國ニ聞ヘタル舊跡無下ニ答フルモ本意ナケレハ其明日彼修

行者ヲ誘引シ扇尾ノ山傳ヒニアケコナト眺望シ其云カ如キニハト
 ケレトモ終日旅人ヲナクツメテ歸リケル其沙汰世上ニヒトマリ今
 當時ニ知ル人ナクトモ遠國ニ聞ヘタル名所ソモ知レヌト云フ事ヤ
 アルト是ヲ聞人毎ニ七穿八鑿スレトモ滄海湖水ヲ並ヒ見レハ山脊
 連岡長流ヲ隔ツ河ヲ見レハ江ニ背キテ竟ニ其落着知ル人ナシ然ル
 ニ安永ノ比ニ至テ何人ノ言出セルニヤ千本松ト號スルハ丸山ノ一
 名ナリ昔與州ノ秀衡當國摩尼寺ニ祈願ノ故ニ因テ松嶋ノ松ノ數多
 此山ニ植ラレケル是其名ヲナスノ初ナリ此山ノ絶頂ノ風色西北ハ
 滄海没々トシテ白浪天ヲヒタシ千山萬峰東南ニ聳ヘテ盤紆ト重ナ
 リ麓ニ小山ノ湖水ヲ見千代ノ長流霞石山ハ上郡最勝ノ端ヲ過リ下テ
 綿々トシテ帶ノ如ク廣濶服ヲ垂フノ氣色凡ソ洞庭西湖ニモ耻ヘカ
 ラスト云テ其ヨリ諸人此山ニ來テ遊宴ヲナス今摩尼寺ノ縁起ヲ考
 フルニ秀衡沈痾ニ伏テ同國群靈郡惠日山月光寺ノ帝釋天像ニ慈救
 ナ祈ル時靈夢ニ因テ當國尋見山摩尼寺ニ使ヲ馳セ靈應ヲ求メテ病

全愈ス故ニ伽藍ヲ建松杉ヲ植テ報賽スト記セリ今モ堂前ニ步衝指
ト號スル古木アルハ據ナキニアラスト云ヘトモ其レハ摩尼寺ノ由
来ナルヲ此山ヲサス不審シサレトモ往事如何ナルニヘニヤ知ルヘ
カラス星霜凡ソ六百年ノ事跡速國ヨリ傳ヘ来テ今此山ニ必セルモ
不思議ト謂ツヘシ

丸山城 右ニ云フ千本松ノ本名ナリ天正九年秀吉公米伐ノ時藝州ヨ
リ後詰ノツナキトシテ鳥取ヨリ此山ニ出城ヲ據ヘ但州ノ浪士奈佐
日本助ト云フ強士此處ニ出張セリ後ニハ雁尾ノ大将塩治周防守
モ此砦ニ答ミケルカ鳥取落城ト同日ニ切腹シテ夫々按ルニ陰徳太
平記ニ佐々木三郎左衛門ト云フ者當城普請奉行トシテ藝州ヨリ来
リケルカ是ヲ同シク腹切シ由ミヘタリ城跡絶頂ヲ切平シ芳草青甌
ニ似テ潔シ然レトモ嶮岨ニシテ容易ク登リカクン殊ニ夏秋ハ蝮蛇
多ク人是ヲ怖レテ行ク者稀ナリ此要害ニ井戸ナキヲ以テ名付テ無
井津城ト云フ

塩治周防 奈佐日本助墓 右ニ云フ丸山千本松山下津道ノ傍ニ
ル古キ石地藏其墓ノ碑ト云傳ヘリ按ルニ奈佐塩治此處ニ腹切シハ
鳥取落城天正九年十月二十五日同日ナリ塩治周防ハ雁尾砦ノ大将ナリシカ役ニ
此出張ニ同居シテ同日ニ截腹シタリケリ塩治ノ墓ハ今ハ知レ難シ
地藏ノ後口ニ古キ青木一樹アリ其上手ニ間許リニ並テ赤松ノ古木
一株アリシカ十年餘以前ニ松ハ枯テ今ハ青木ノミ殘レリ青木ハ奈
佐カ墓誌赤松ハ塩治ノ御冠樹ナラシ奈佐ハ但州ニ方郡奈佐谷ノ領
主ナリ塩治ハ舊國傳ニテ本名吉見宮内少輔ト稱ス蒲冠者源範賴朝
臣十餘代ノ正統ナリ累世巨濃郡高野郷ノ領主ニテ代々小田ノ延興
寺村ニ在城アリシカ永祿年中武田高信カ謀叛ヲ憤リ當國ヲ去テ但
馬ニ赴キ塩治周防ト改名シテ同郡芦屋ノ城主タリシカ天正年中秀
吉公ノ爲ニ領知ヲ取放サレ奈佐ト同ク又當國ニ落来リ藝州ノ毛利
家ニ從テ無二ノ忠貞ヲナセリ同年秀吉公鳥取ノ城ヲ攻玉フ時鹽治
ハ雁尾ニ城ヲ據テ鳥取ノ繫トス奈佐ハ丸山ニ出張シテ上方勢ト拒

戰數日ナリ然ルニ秀吉公ノ麾下宮部善祥坊道祖神此持壽院ト天傳ヲ寺トノ谷取切テ本城ト砦ノ通路絶ケレハ搦治支ヘカタク雁金尾ヲ捨テ丸山ノ城ニ答ミケルカ數日ノ後島取落城レケレハ兩人トモ同日自害レテ失ケルニ心ナキ良將ナリ

因幡誌邑美郡...

因幡誌

郡郷

高草郡

一當郡ハ邑美郡ト千代川ヲ隔テ西ニアリ其西ハ氣多郡ニツ、キ南ハ八上郡ニ隣テ北ハ加路ノ湊ヲ域トス郡中平地多キユヘ田租ノ高モ國中第一ノ郡ナリ塵添塩糞抄ニ曰因幡國高草郡アリ其名ニツノ釋アリ一ニハ野中ニ草ノ高ケレハ高草ト云フ其野ヲ郡ノ名トセリ一ニハ竹草ノ郡ナリ此所ニ舊竹ノ林有ケリ其故ニカク云フト云ヘリ竹ハ草ノ長ト云心ニテ高草ト云ニヤト云々人國記曰高草氣多法英巨濃ノ數郡ハ倭ニシテ亦智アリ武士ハ利欲ニ拘ハリ得ノツク方ニ從フ風ナリ一國ノ内ニ斯ノ如キ風俗ノ變滅ニ天姓自然ノ理ナリト云々

一和名抄高草郡條下ニ曰神戸委文味野古海能美布勢野坂刑部是皆郷

ノ名ナリ

一 當洲ニ傳ルル郷村ノ古記ニ曰

高草郡 二十七個村

倭文郷 三津ノ保 今嶋保 野得吉村 安永保

秋里保 三嶋社 江津保 古海郷 有富保

樂師寺庄 合同寺 初岡村 布施ノ郷 南北 吉里保

加露社 大満村 楠城 刑部郷 吉岡保

福井郷 伏野保 荒田ノ保 野坂郷 野清松ノ保

赤目ノ社 上原本町新田

右ノ内寺社ノ名ヲ記セルハ其社領寺領ニ付タル村落ト云ヘリ樂師寺ハ今ノ菖蒲山座光寺ノ古名ナリハ菖蒲一社ハ昔彼ノ寺ニ附ク庄園ナルヘシ菖蒲今ハ大村ナレトモ合同寺初岡等此村ノ内ニ其名アレハ後代常村ニツホミテ大村トナリシナルヘシ三島野清松赤目等ノ村々今ハ絶テナシ三島ハ秋里ノ下竹林ノ中ニ遺祠ノミ殘レリ

其外ノ名ハ今ニ存ス委ク其ノ郷村ノ下ニ註ス此記録年號ナケレハ制法ノ時代考ヘカタン

一 寛文中改正ノ郷庄保村之記ニ云

高草郡 七十五個村

末常保 五個村 伏野村 小澤見村 三倉村 内海村

内海中村

大谷保 十個村 大谷村 岩本村 松原村 六反田村

福井村 福谷村 洞谷村 瀬田倉村

大畠村 長柄村

湯之郷 四個村 湯村 明德寺村 双六原村 矢矯村

松高庄 三個村 高住村 荒田村 三山口村

南北ノ保 八個村 加露村 布施村 三谷村 足山村

吉山村 甲山村 三津村 小山村

野見四保 五個村 徳尾村 安長村 徳吉村 秋里村

色江郷之部

七九三

江津村

松神西ノ郷十三個村 松神村 岩坪村 河内村 棋原村

畑崎村 細見村 上原村 尾崎村

大塚村 野坂村 島村 大間村

角間村

有富東ノ郷十一個村 荒神谷村 本高村 中村 大森村

篠坂村 高路村 今在家村 上段村

北村 下段村 宮谷村

砂見庄三個村 上砂見村 中砂見村 下砂見村

倭文郷七個村 倭文村 長谷村 赤子田村 猪子村

横枕村 玉津村 竹生村

古海郷三個村 古海村 雁津村 菅蒲村

寛文以後租税ヲ分テ別村トスルモノ南カ隈奥手倉見湯谷野寺以上五ヶ村合八十個村也

古海郷 三個村

古海村 古名山ヶ鼻

戸數 八十七軒 内七軒山ヶ鼻 穢多村 十四軒

氏神 河原八幡宮 祭日 八月十五日

神領 二石六斗

荒神 二社 石清水 無社

御茶屋 千代川在中洲神降坊主在番 初建川向今水脈河西ニ属テ為古市旁瀬

名産 稻穂魚

鳥取ノ西行徳村ヨリ十一町二十間千谷川ノ向ニアリ船渡アリ當村ノ穢多是ヲ渡ス氣多ノ鹿奴ヘノ本道ニテ此處ヲ古海口ト云フ是ヨリ本高村ヘ二十町十間トス相傳ヘテ云フ此地舊裏海ナリ古海ノ名義此ニ起ルト按ルニ古海ノ郷ハ和名抄ニモ載タレハ舊シキ地名ナリ又古名山カ鼻ニ屬スルハ猶舊シキ事ナルヘシ

菅蒲村 中土居 初岡 合同寺 網原

舊海郷之部

戸數 七十七軒 辻堂本尊觀音

氏神 山王權現 祭日九月九日

妙見社 荒神三社

菖蒲山座光寺 天台本寺為取淨光院 初名淨師寺

本尊餘師 一傳御宇長徳三年橘行平卿建五也京都因幡堂ノ本尊
以出現之地坐座後光遺當寺故号座光寺別卷抄縁起

釣山吉祥寺 曹洞禪本寺為取天徳寺

因幡山 行平屋敷

藥師寺舊迹并大塔迹 赤幡土圍

産物 大根 鱒 鮎

古海ヨリ六町十五間川上ニアリ服部村へ九町二十間ナリ村ノ南ニ
少シ離レテ民家十軒許リアルヲ合同寺村ト云フ合同寺非戸トテ古
キ井アリ舊寺ノ跡ナルヘシ當國ニ傳ハル中古郷村ノ記録ニ合同寺
村初岡村トアレハ昔ハ別村ナリ又網原モ此村ノ内ナリ今ハ民家モ
ナク菖蒲ト山カ鼻ノ間田土ノ守ニ殘レリ昔シ此邊東海ナリシ時魚

菖蒲千ケル所ナリトテ田ノ底ニ土ニテ燒ケル網ノ隙トテ所々ヨリ
出ツ或記ニ雨原ト書リ誤リナルヘシ釣ノ山忠比須谷ト云フモ其比
瓶場ノ跡ト聞ユ

行平屋敷 座光寺ノ山ノ麓ナリ當寺ノ縁記ニ橘行平因幡守トシテ下
向ノ時此所ニ住玉ヒケルヨシ見ユ民談記ニ曰國司ハ必ス國衙ニ官
舎有テ住玉ヘリ國府ハ法美郡ニアレハ高草郡ニ國司ノ住所有ルヘ
キ仔細ナシ橘行平藥師寺ヲ草創アリ其寺此邊ニアレハ附會シテ云
ヘルナルヘシト按ルニ續日本紀ニ 聖武天皇天平十五年五月丙寅
禁斷諸國司等不住舊館更作新舎トアレハ行平卿以前ニモ諸國司法
律ヲ犯シ國府ノ外ニ新舎ノ設アリシナルヘシ國史ノ載ル處明カナ
レハ縁起ノ説ヲ以テ附會トスルハ穿鑿ノ足サルト謂ヘシ

稻羽山 座光寺ノ後山ナリ峰ノ松トテ一株ノ古松アリ按ルニ當國ノ
名所因幡山ハ法美郡宇倍ノ宮山ヲ爾云ト云傳ヘタリ古今集題離列
ノ歌ニ立別れいなほの山と見ヘタルハ 五代 文徳天皇齊衡二年在

原行平朝臣因幡守タリシ時ノ詠ナリ橋行平朝臣當國下向ハ
一條院長徳三年トアレハ年曆百四十年新リ後タリ建保百首橋朝臣
ノ歌

心あは山雪の松風寒くしてむら雲白く出る夜の月

ト聞ヘタルモアレハ此地大納言行平卿ノ舊跡ナルヲ以テ後人其名
ヲ設ケンナラム歟

藥師寺之廢地 村ヨリ西ノ坂田ト云フ田ノ中ナリ土人古藥師寺ト云
ヘリ當時ノ塔ノ礎ナリトテ盤石モ殘レリ塵添塩榘抄十七卷七佛藥
師ノ條下ニ京都因幡堂ノ縁起ノ内ノ要言ヲ取テ記セル其文畧田治
陽平等寺俗ニ因幡堂ト云フ此藥師ハ天竺祇園精舍四十九院ノ内東
北ノ角療病院本尊等身栴檀ノ像ナリ釋尊未承惡世ノ衆生利益ノタ
メニ手自ヲ刻ミ給フ處ノ聖容ナリ彼伽藍破壞ノ時東ノ方ヲ指テ飛
給フト云々然ルニ 一條院ノ御守長徳三年ニ因幡國加ノ留ノ津ノ
底ヨリ潮人此如來ヲ引上テ來ル其後七年ヲ經テ長保五年四月七日

因幡國ヨリ枝國司橋行平卿ノ宿所ニ飛來リ玉ヘリ則チ其所ヲ佛間
ト成テ此佛ヲ安置シ玉フ今ノ因幡堂是ナリ初メ因幡國ヨリ出現シ
飛來リ玉フ故ニ此名アル者ナリ本願ハ彼卿ノ子息光朝禪師ナリ則
チ以テ寺務トス但レ平等ノ號ハ承安元年四月八日 高倉院勅筆ノ
額ヲ下サレケルヨリナリト云フ或ニ無双ノ靈佛ナル者哉又三如來
ト云フハ善光寺ノ阿彌陀峯峨釋迦因幡堂藥師ナリト云々當所座光
寺ノ縁起ニ通アリ大凡右ニ同シ又因幡堂ノ縁起ヲ聞傳フルニ行平
卿歸京ノ後本尊僧ノ形ト成リ彼ノ卿ノ宿所ニ來リ玉フ時請シ入ラ
レケレハ忽チ如來ノ姿ニ變シ給ヘリ行平驚キ折節其座ニ恭盤ノ有
ケレハ抱ノセ奉リ其儘佛殿ニ移サレテヨリ今ニ至テ恭盤ニ乘テ在
マストツ又羅浮道春ノ野槌ニ彼 勅額ヲ賜ハリシ時勅使車ニ乘ナ
カラ内陣マテヤリ通シ額ヲ籠ナレシ事縁起ニアリト書レケレトモ
此彼ハ當國ニテノ事ナラス故ニヤ座光寺ノ縁起ニハ是ヲ載ス寛弘
元年行平卿當國ノ守ニ再任シ官大納言ニ進ミ任限滿テ上洛ノ時此

國ニ止マル處ノ座光ヲモ取上ラント有ケルヲ諸氏是ヲ惜シ止シ
 カハ座光ヲハ當國ニ留テ新佛ヲ作り安シ奉リケルト記セリ右
 條ノ載ル處因幡堂ノ本尊ハ上一人ヨリ下百官士庶人マテ崇敬ノ意
 佛ナリ此地樂師寺ハ其出現ノ本座ニテ普ク天下ニ聞ヘタル名跡ナ
 リ後座光寺ト改リヌルモ縁起ノ所謂宜弘ノ古ヘ座光ヲ遣シ留メケ
 ル縁ヨリナルヘケレハ誠ニ都鄙同軌ノ靈場ト謂フヘシ往古ノ境内
 ナ考フルニ大塔ノ迹及ヒ僧房赤幡土圍等ノ名稱一以テ是ヲ察スヘ
 シ廣大無量ノ伽藍ナリ然ルニ中古ノ亂逆兵火ノクメニ焦土トナリ
 メ其後再興ノ檀越モナク名跡リノ小宇ニ座光及ヒ新佛ヲ安シテ綿
 々ト續キ來ルト云ヘトモ昔ニ引替ヘ國民ノ信心モ薄クナリ年々零
 落荒廢ノ有様カ、ル名地ノ新成行軍衰レテ催フス世ノ末ナリ此寺
 板田ヨリ今ノ處ニ移シケルモ近キ世ノ事トモ見ヘス

大塔之跡 古樂師寺ノ田ノ畔ニアリ竪八尺横六尺ノ自然石ナリ中ニ
 心柱ヲ居エタル穴アリ 竪一尺四寸 横四寸五分 其中ニ天水ノ溜レルアリ土人荒水

ト云フ此水ニテ荒ヲ洗ヘハ忽チ落ルト云ヘリ石上ノ腐水ヨク荒ヲ
 治ス此類所々ニアリ

赤幡土圍 葛蒲村ヨリ服部村ヘ通フ道ノ側ヲ田土ノ宇ナリ樂師寺繁
 昌ノ時縁日ニハ此處ニ紅幡ヲ高ク立ケル跡ト云傳ヘタリ

雁津村

鉦塚

古海村ヨリ徳尾川ヲ渡テ徳吉ト千代川トノ間ニアリ今ハ民家モナ
 ク雁津河原ト云ヘリ村落トナリシモ舊シキ事ニアラス龜井武藏守
 殿當郡領地ノ時徳吉村ノ古名ヲ鶴田ト云ケレハ其並ヒニアレハ雁
 津タルヘシト龜井殿名付ラレシヨシ民談記ニ見ユ其後新田トナリ
 民家カソフル程ノ小村ナリシカヤ、モスレハ水難アリテ村民住居
 ナリカタク近年ミナ安長村ヘツホミケル或説ニ雁津トハ此川下ニ
 雁金尾ト云フ山アリ其川上ナレハ雁頭ナリト云ヘリサレトモ以前
 ヨリ雁津ト書承レルハ隣邑鶴田ト云フニ據ルト云フ民談記ノ説尤

モ理ニ於テ叶フト云フヘキモノ歟

味野郷 七個村 今増野寺八個村トス

服部村 阿彌陀寺

戸數 四十五軒

氏神 服部大明神 祭日九月八日

辨財天 荒神

釣ノ山恵比須谷

福壽山吉祥寺 神洞碑本寺為取天總寺

阿彌陀寺舊迹 自然石地蔵

産物

菖蒲ヨリ九町二十間有富川玉川ヲ環テ南ニアリ村ノ前ハ千代川ノ流レニテ上ハ野寺赤池ニツケリ服部ト號スル邑里諸國ニ多シ姓氏録ヲ按ルニ服部連煥之速日命十二世ノ孫麻羅宿禰ノ後ナリ允恭天皇ノ御世織部司ニ任シ惣領諸國織部因テ號服部連云々此父ヲ

以テ見レハ允恭天皇ノ御宇丹國ニ部シテ新布ヲ織シメラレタル其織所ノ名稱ト見ヘタリ當國ニテハ當處ト巨波郡ニ服部庄アリ此ニケ所ナルヘシ允恭天皇ノ御宇ヨリ今二千五百年ニ餘レリ文字モ變ラヌ其名ヲ存ス不思儀ト謂ヘシ

阿彌陀寺舊跡 村ヨリ東へ五町許リ田圃ノ中ニ小林アリ是其舊跡ト云ヘリ其所ニハヘヌケノ地蔵トテ土ヨリ上三尺四五寸ノ自然石アリ其形正シク彫刻シタル地蔵ノ像ノ如シ其石ノ根入土中ノ深サ並リ知カクシ因テ生ヌケノ地蔵ト云ヘリ側ニ天蓮社蟠譽上人火公和尚ノ墓ト云ヘル石碑アリ即チ阿彌陀寺十三代ノ住持ト云ヘリ此僧遷化シタルハ寛文ノ比トカヤ云ケレハ遠キ世ノ事ニ非サレトモ其事跡委シク傳ハラス寛政四年七月當所新羅山ニテ經塚ヲ發キテ法華經全部掘出セリ經文ミナ朱字ナリ其レヲ綱ノ筒ニ入其上ヲ壺ニ藏メテ埋タルナリ願主ハ布勢ノ仙林寺ノ僧ナリ年号貞應三年トアレハ今ニ至テ凡ソ六百年ニ届トス定テ阿彌陀寺繁昌ノ時ノ供養

ナルニヤ

巴屋舖 服部村ノ西ニアリ下味野村ノ城山ノ北ノ尾續平ノ山鼻ナリ
 山腹二段ニ切平シテ今ハ此邊ノ人萬人坑モアリ其地ノ守ヲエムノ
 マヘト云ヘリ昔シ此處ニ木曾殿ノ侍女巴カ栖ケル跡ト云傳ヘタリ
 以前ハ巴カ蒸ト云ヘルモ有レト云ヘリ民談記ニモ巴カ屋敷高草郡
 ニアリ古木ノ松アリ巴松ト云フ巴ハ仲三權頭無遠カ娘ニテ樋口ノ
 蘇光今井兼平カ妹ナリ木曾殿ヲ放レテ後東國ニ下リシヲ召出サレ
 既ニ斬ラルヘカリシヲ和田義盛是ヲ乞請テ妻女トシ後ニ朝比奈三
 郎義秀ヲ産ケリトアレハ東國ニテ育テ東國ニ始終住ケル者當國ニ
 来ルヘキ道理ナシ古書ニモ言傳ニモ聞ス是正シク僻事ナルヘシ但
 シ別人ナルカ或ハ人ノ名字ナトニテモ有ヘシ今何トモ考ヘ難シ故
 松サヘ近比橋ノ料ニ伐タルトテ絶夫メ如裡ノ用ニ伐ストモ事欠ク
 ヘキ事ニモアラス名アル木ヲキリ夫フコト事ヲ辨ハサル土民ナリ
 トテ余リ無下ニ覺ヘ侍ルト記セリ東鑑及ヒ諸記録ヲ按ルニ和田義

盛ハ相州三浦ノ一族ニシテ頼朝卿豆州ニ移居ノ時兵ヲ卒シテ志ヲ
 屬シ相從テ忠ヲ竭ス故ニ鎌倉凱旋ノ後軍政皆義盛ニ委ラル而シテ
 頼朝頼家兩卿ノ後賢朝卿ノ時ニ至テ北條義時執權ス和田ノ一族意
 ニ快ヨカラス且和田長胤義盛カ事ヲ意恨シテ忽チ謀叛シ兵ヲ遣テ
 幕府ヲ攻北條泰時朝時足利義時等大門ヲ護ル朝比奈三郎義秀手ヲ
 以テ其門ヲ批ク關木折テ扉破レ開ク義秀則チ庭中ニ入テ政變事急
 ナリシカハ數輩防戦シテ命ヲ損ス義秀衝入テ營中ヲ燒ク賢朝卿火
 ヲ法華堂ニ避玉フ諸士軍ヲ卒レテ火ニ戰フ義盛遂ニ江戸左衛門能
 範カ爲ニ討死シテ一族多ク戰没セリ朝比奈ハ其徒五百人ト海ニ浮
 シテ房州ニ奔ル或ハ高麗ニ渡ルトモ云フ其後建保元年義秀カ兄弟
 和田義直義重及ヒ長胤等泉小次郎親衛カ謀叛ニ與シテ賢朝卿ヲ憾
 ント謀ル其事遂ニ露顯シテ一族禁錮セラレ或ハ流刑ニ逢ヘリ此等
 ノ趣ヲ以テ見レハ巴女ハ義盛ノ妻女ナレハ東國ニ身ヲ置ニ地ナク
 如何ナル速キ國ニモ身ヲ忍ヒ住ケンモ知ルヘカラスサレハ元祿年

中ノ事トカヤ東國ヨリ回國ノ修行者此地ニエンノマヘト云フ處ヲ
尋子來リ終日回向念佛ス里人其故ヲ問フニ修行者答テ是ハ是間ユ
ル巴御前終焉ノ地ナリ由縁有テ我是ヲ知ルト云テ去リヌト土人ノ
口碑ナリ然レトモ是モ又其虚實知ルヘカラス或説ニ玉井屋舖ト云
フ又 興禪君ノ御代ノ地圖ニ友江長成ト云フ武士ノ屋敷ト記セリ
何レカ是ナルニヤ

野寺村

戸數 十四軒 古記ニ廿軒

辻堂本尊石地藏

氏神 服部大明神 在服部村

庵 本尊阿彌陀如來

服部ヨリ四町三間南ノ田ノ中ニアリ野寺ハ舊寺號ヲ呼ナリ此寺何
レノ時絶ケルニヤ古キ地圖ヲ考フルニ野坂郷ニ清水長者ト云ヘル
者アリ千間之介ト云フ野坂ノ里ニ大塔ヲ建シ時塔供養ノタメ麻山
ヨリ座主ヲ請シ下シケル此野寺ト云フ寺ニ逗留セリ是 六十五代 寛
永山院

和元年ノ比トアレハ今ニ至テ八百年ニ余レリ然レハ古刹ナリ其座
主ハ慈悲大師ノ弟子ニテ某ノ王子ナリシトカヤ彼塔供養ノ事ニ就
テ後ニ松上ノ山興ニ入テ寂滅ス妻ク興ニ見ユ

下味野村 朝月 赤池

戸數 四十軒 朝月 三十三軒 赤池 穢多村二十七軒

辻堂本尊樂師

氏神 牛頭天王 祭日九月九日

正一位

八幡宮 三寶荒神 八大荒神

稻荷大明神 無社 荒神 大將軍

住吉谷 椰樹

古城

産物 味瓜 烏名物 茄子

野寺ノ上山際ノ平地ニアリ其間三町五十八間ト云ヘリ服部ノ六町

有富ノ中村へ一里八上ノ火田村へ二里トス當村昔ハ是ヨリ南豊芝谷ノ邊奈岐木ノ下モ手ニアリシヨシ然ルニ洪水出來リテ豊芝谷ノ水崩ノ環ヲ破リ忽チ民家ヲ押流シケル其後今ノ地ニ民家ヲ移シケルトソ今ノ村ト上味野ノ間ノ一村ヲ朝月ト云フ或ハ淺村ニ作ル又赤池ト云ヘル穢多村モ昔ハ服部村傍爾阿彌陀寺ノ西ニ在シトフ何ノ比ニヤ海嘯ノ難アリテ其後家居ヲ赤池ニツツシケル今服部ノ加ノ中ニ津波ト云フ守ノ地昔シ穢多村ノ跡ト云ヘリ赤池ハ其以前赤池助左衛門ト云ヘル郷士一村ノ主トシテ住居ケルカ天正九年秀吉公鳥取城ヲ攻玉フ時此赤池某モ籠城シケルトカヤ然ルニ城中糧竭キ難儀ニ及ケル是ニ依テ藝州毛利家へ兵糧ヲ乞ントスサレトモ敵勢ノ圍ミ強クシテ道路ヲ絶ス時ニ赤池某城將ノ命ヲ奉リ藝州へ趣ント空依ヲ被フリ千谷川ヲ流レ渡リニ難ナク敵兵ヲ欺キ遂ニ圍ヲ漏出ケトナム此男嗚呼ノ者ニテ近邊ノ領主ト境ヲ事フ事度ヤナレトモ尺地モ人ノ爲ニ祀サル、事ナクヤ、モスレハ他領ヲ慕テ赤池傍爾ト

ナセリ

住吉谷 村ノ下ノ谷ナリ昔シ住吉大明神鎮座アリシ所ナリト今ニ田土ノ守ニ神輿田ト云フハ祭禮ノ時神輿ヲ休メケル跡ト云ヘリ奈岐木 豊芝谷ノ邊極樂尾ト云フ山ノ麓ニアリ其地ヲ藤田ト云ヘリ天明年中ニ木ノ大サ圍一丈一尺許リ根本ヨリ一ノ枝マテ一丈許リ木形ヤセタルサマ尤モ古木ト見ユ此處ハ舊大寺ノ跡ニテ其境内ノ樹ナリレヨシ何ノ世ノ寺ナリシニヤ時代知ル人ナシ鹿野雲龍寺ノ記録ニ龜井武藏守殿當郡主ノ時此奈岐ノ木ノ事見ユ二百年以前大木ノ名アレハ其以前幾クノ星霜ヲヤ歴ケン斧斤野火ノ危チマヌカレヌルモ不思儀ナリ

馬置城 村ヨリ入ル豊芝谷ノ奥ニアル高山ナリ後ハ有富藤坂ノ城ニ相連リタリ一帯ノ内ナルニヤ明カナヲス又居城セシ人ノ名モ傳ハラス馬置ト號スル其故知レス或ハ敵ノ馬ヲカクシ置ケル故ニ爾時來ルトモ云フ分明ナラス

上味野村 中土居

戸數 五十三軒

氏神 玉屋大明神 祭日九月九日

荒神社

弘誓山願行寺 淨土本寺鳥取一行寺

本尊 觀音 因幡順禮三十三番札所

千部山清照寺 日蓮宗本寺鳥取芳心寺

寺領 一石二斗

古城址

産物

下味野ヨリ六町四十八間上ニアリ竹生村ト村續キニテ一村ノ如シ
八頂山城 村ノ後狩子谷ノ口ニアリ玉津ノ城ト谷ヲ狹テ相對スル高
山也玉津嶋尾ノ出城ト云ヘリ城ノ後ニ作リ道有テ嶋尾ヘ通シタリ
山上ニ段アリテ上ノ段ヲ大平ト云フニノ丸ノ西ノ下ヲ崩ヲ掘抜タ

ル穴アリ口ノ徑リ三尺許リ尊諭セハ井ノ如クニ間許リ下ニテ盛ノ
口ニフニ分レテ其深サ計ルヘカラス石ヲ投レハヤ、轉フ音シテ遂
ニ底無カ如シ何タル用ニ掘タル穴トモ考ヘカタレモシハ往昔金山
間府ノ跡トモニヤニノ丸ノ下ニ間府穴ノ
アルハ下味野ナリ不審

因幡順禮之由來 當村願行寺ニ三因傳來ト云傳タル正觀世音ヲ安置
セリ長九寸五分
金佛像元和年中トカヤ右ニ云フ下味野ノ掘樂尾ノ下一町許
リニ大井津トテ廢井アリ朝月村ノ善次郎ト云フ老農或夜靈夢ヲ蒙
リシトテ彼井ヲ穿フ事三尺許リ既ニ觀音ノ靈軀ヲ拜ス即チ誕飯リ
テ家ニ安セリ其後故有テ願行寺ニ移シケルナリ昔シ極樂尾ノ古刹
遷廢ノ時沈メケルニヤ其比願行寺ノ六世專譽南隨上人ト云ヘル僧
是ヲ拜シ其ヨリ發願シテ國中觀音ノ靈佛ヲ巡拜シテ遂ニ三十三所
ヲ極ム第一番ニ長谷村ノ長谷寺ヨリ巡リ初メテ其順道凡ソ五十里
ヲ經テ願行寺ニ終ル是因幡順禮ト云フ事ノ興リニテ當寺ヲ三十三
番ノ札處トスルモ其緣ト云ヘリ其後中絶シテ其沙汰モナカリレカ

近比鳥取大工町ノ住人釜屋淨誓ト云ヘル優婆塞其絶タルヲ歎キ自
ヲ詠歌ヲ作意シテ三十三所ヲ順禮セリ其ヨリ今ニ相續ス實ニ奇特
ノ事ナリ

竹生村

戸數 二十六軒 古記ニ三十軒

氏神 武王大明神 祭日九月九日

小鍛冶屋舖 因州小鍛冶景長舊址

上味野ヨリ二町三十一間上ニアリサレトモ其間大方村ツ、キニテ
一町ノ如シ委文村ヘ十三町トス 北俗ハ町平ト云フハ非ナリ又村ノ上外レニ小鍛冶
屋敷ト云フ處アリ是ハ昔當國ニ因幡小鍛冶ト号スル名鍛冶同銘三
代アリ初代ハ法美郡宇倍山ニ住居ス其後居ヲ改ケルニヤ當郡小山
村ニモ其跡アリ又八束ノ小治田谷ニモアリ當處ニテ打タルヲ竹生
小鍛冶ト稱ス何レノ景長ナルニヤ時代分明ナラス今其所ハ田圃ト
ナリ鍛冶屋舖ヲ誤テ火事屋舖ト書ケル物モアリ今以テ灰ナト出ル

玉津村

戸數 三十一軒

氏神 牛頭天王 祭日九月九日

荒神社

古城 古鵜尾城

當村ハ竹生村ヨリ十五町許リ南ノ枝谷ニアリ但シ其間ニ委文村ア
リ委文ヨリ二町許リ西ナリ

鵜尾城 村ノ後ノ高山ナリ山名ノ家臣武田豊前守高信持城タリト云
ヘリ高信父ヲ山城守ト稱ス本若州浪人ニテ天文以前山名ニ寄食シ
父子共ニ有勢ノ者ナリシカハ其比草創セル歟但シ有来リノ城ナル
ニヤ山上段々ニ切平シ乾堀門櫓等ノ跡其儘ニアリ尤高山ニテ郡中
ハ勿論邑美ハ上氣多ノ數郡ヲ目ノ下ニ直下セリ永祿年中高信其心
ヲ懐ルノ前アリテ當城ヲハ舍第又三郎ニ號リ其身ハ鳥取ニ入城シ

非リ竟ニ謀叛ヲ起シ武威ヲ國中ニ震ヘリ時ニ天正元年山中鹿介幸
 茲布勢ノ屋形山名豊國ニカタアハセテ是ヲ攻ル高信防戦ニ堪ス降
 參シテ鳥取ヲ開キ當城ニ答ミケル程ナク又三郎死去シテ高信一人
 在城ス然レトモ動モスレハ逆意ノ萌止サリシカハ豊國方便ヲ以テ
 高信ヲ八上郡散岐ノ大義寺ニ呼出シテ終ニ誅戮セラレタリ
森下出羽カ寺
ノ若岸四野後ト云フ 高信其時五十余歳ナリケルトカヤ當城ニ殘ル者共
若高信ヲ制取ト云々 此由ヲ聞テ途方ニクレテ落支度ノ外他事ナシ武田カ家臣西郷四幡
 ハ内々豊國ノ懇意ヲ受シ者ナレハ我身ニ於テハ降參セハ存命仔細
 有ヘカラスト云ヘトモ高信カ一子源三郎ヲ落サハヤト思ヒ松上ノ
 神主大畠ハ西郷カ諜ナリシカハ是ヲ頼マレヨト言合メテ潛ニ城ヲ
 ヲ落シケル是ニ依テ城中ハ時ノ間ニ無主ノ廢墟トナリニケル

横枕村

戸數 三十軒

氏神 牛頭天王 祭日 九月九日

荒神三社 内ニ社無社 稻荷大明神

醫王山朝日寺 日蓮宗本寺鳥取芳心寺今高麗地

本尊藥王菩薩行基作稻田山藥王寺舊迹是也

玉津ヨリ七町許リ北嶺ノ子谷ノ入口ニアリ委文村ヘ二十一町ト云
 ヘリ村ノ名横枕ト号スルハ此里ノ婦人ハ往古ヨリノナラハシニテ
 産スルニ臨テ横ニ卧シ枕ニ着テ天然ノ分娩ヲ待ツ素ヨリ安シ其風
 俗終ニ里ノ名トナレリトソ或ハ布勢ノ屋形山名左衛門佐藤置
文正應仁
ノ此ノ時内室難産ノ患アリテ當所稻田山ノ藥王寺ノ本尊藥王佛ニ
 靈應ヲ祈ラレケレハ夢中ニ老婆來リテ室女ニ枕ヲ與ヘ横ニ卧シム
 ルトミテ忽チ安ク一男子ヲ誕生セリ其ヨリ横枕ト名付ト藥王佛ノ
 縁起ニハ書タリ

醫王山朝日寺 村ノ中ニアル庵地ナリ本尊藥王佛行基ノ作ト云傳ハ
 タリ是ハ昔此地ヨリ五町許リ東稻田ト云フ處ニ稻田山藥王寺ト號
 スル寺ノ本尊ト云ヘリ寺ハ永祿中ノ兵火ニ燬滅ス其時本尊及ヒ四

天王ノ像ヲ持去リ近縣開通寺村ノ谷隘窟ノ中ニ隠シ置ケルカ其後
寺再興ノ檀越セナク時去世移テ元祿四年ノ春此邑ノ土民彼窟ヲ穿
テ本尊四天王等ヲ掘出セリ其比鳥取芳心寺八世ノ院主曰勇トカヤ
云フ僧草庵ヲ建立シ醫王山朝日寺ト改メケルトナリ委シクハ縁起
ニ見ヘタリ

猪ノ子村 糸谷

尸數 三十三軒 辻堂二本尊地蔵 觀音

氏神 藏王權現 祭日九月十九日

妙見三社 祭日三月九月十八日

荒神五社 内二社無社 山神無社 八幡宮

横枕ヨリ十二町南へ入ル谷ノ詰リニアリ長谷村ノ後ニ當ル谷隘ナ
リ村ノ向フノ谷ヲ西へ越ルヲ白谷越ト云フ有富谷ノ荒神谷村へ通
シテ二十町余ナリ又四町許リ下モテ越レハ有富ノ大森村へ坂道ニ
十一町ナリ是ヲ大岩越ト云フ昔難所ナリ委シク荒神谷ノ下ニモ見

ユ

委 文 郷 三個村

委 文 村

戸數 二十八軒 辻堂本尊祭師 穢多村十三軒

氏神 七躰大明神 祭日

社領一石三斗一升七合

八王子 荒神四社 内一社無社

日想山西方寺 浄土本尊味野願行寺

産物

當村ハ竹生ヨリ十町余上ノ山下ニアリ右へ行ケハ玉津へ二町左ハ
長谷村へ通ス按ルニ委文ト云フ地名諸國ニアリ是舊人ノ姓ナリ姓
氏録ニ曰委文宿禰者出自神瀧命之後大味宿禰也云々上世此地ノ領
主タルヲ以テ其氏ヲ呼采ルニヤ但シ地名ヲ以テ氏トスルニヤ
七躰大明神 延喜式神名帳ニ載ル處委文神社是ナリ社地村ノ山上ニ

アリ社傳ニ曰祭神大己貴命按ルニ此神七名ヲ稱ス一ニ大國主神ニ
 二大物主神三ニ國作大己貴命四ニ葦原醜男命五ニ八子矛神六ニ大
 國王神七ニ願國王命是ナリ神号七跡其故ナラン倭文神社ハ地名ヲ
 稱スル其神趾疑ヒナシ按ルニ大汝ノ命七名ト云フ事ハ後世七福神ナトヨリ好
 ト云フハ三輪
 ニ限ル名ナリ

長谷村

戸數 四十九軒

氏神 十二社權現 祭日九月十九日

天照大神宮 荒神

福聚山長谷寺 真言本寺京仁和寺

本尊觀音 觀音三石一斗九升 寺領西二石五斗

當寺説和銅二年建立

加路大明神社記曰吉備大臣草創

吉備大臣之塚 立石

委文ヨリ三町六間南ノ山スソニアリ是ヨリ西南ノ谷ヲ砂見谷ト云
 フ神坂下砂見ヘ廿三町ナリ

長谷寺

因幡明禮一
亦之礼所

村ヨリ八町西ノ谷與ニアリ本尊觀音州民長谷ノ觀

音ト稱ス名高キ靈佛ナリ此里ヲ長谷ト云ヒ寺ヲ長谷寺ト号スルハ
 天平勝寶年中吉備真備達唐使飯朝ノ時難風ニ遭テ當郡加路ノ津ニ
 着玉フ其時ノ志願ニ因テ此地ニ大和ノ初瀬寺ヲ移シテ觀音ヲ安置
 セシヨシ加路神社ノ縁起ニ見ヘタリサレハ當郡ノ土俗ニ加路ノ神
 社ニ詣ン者ハマツ此觀音ヲ拜シテ後加路ノ神ヲ順拜スヘンサナク
 ハ神必ス納受シ給ハスト云ヘルモサアル事ノ因縁ナラン歟

吉備大臣之塚 加路ノ社記ニ當村ニアルヨシ見ユサレトモ今是ヲ知
 ル人ナシ按ルニ村ノ入口長谷寺徑右ノ側ヲ社家桐林氏ノ門前ニ自
 然石ノ碑アリ高サ六尺余リ村民呼テ立石ト号スモシ此等ノ事ニヤ
 分明ナラスト云ヘトモ他ニ求ムルモノナシ如何ナル事ニテ吉備公
 建玉ヒント云ヘルカイフカシ

赤子田村

戸數 二十八軒 辻堂 本尊 毘沙門天

氏神 八幡宮 祭日 八月十五日

荒神社

古城 二ヶ所

長谷ヨリ七町砂見川ヲ隔テ東ノ山下ニアリハ上郡布袋村ヘ四町許
 リ其間ヲ郡塚トス當村中古ノ開地ハ濱本喜右衛門ト云ヘル郷士ナ
 ルヨシ今ニ村ノ中ニ濱本屋舗トテ大ナル構ノ跡アリ何ノ時代ナル
 ニヤ其後ハ上郡稻常ノ城主西尾伯耆守ト云ルガ其子孫農人トナリ
 分家シテ當村ニ來住ス其ヨリ次第ニ民家多ク村落トナリケルトツ
 古城 村ノ下砂見谷ノ口ニアリ土俗蛇山ノ城ト云フ蛇山ハ城山ノ訛
 言ナリトツ絶頂凡ツ五六十間四方ニ切平セリ其以下段々ニ曲輪ノ
 跡堀切乾堀等余程ノ普請ナリ民談記ニ鶴尾ノ出城ト註ス里民口碑
 ニ鶴尾ノ城ヨリ時代舊シト相傳フ昔此邊ノ租税ハ散枝水尾ノ城ヘ

納メ來リシカ武田玉津ヘ在城以テ來鶴尾ノ城ヘ入レヨト爾クイケリ
 水尾ヨリ古來ノ通り散枝ヘ收納スヘント兩城ヨリノ催促存リナリ
 百姓大ニ迷惑シケルカマツ程近キ玉津ヘツ納メケリ懸リケレハ水
 尾ノ城ヨリ夜中ニ人衆來リテ百姓共一人モ殘サス打殺スヘント駭
 キ立チケル間農民ミナ方々ヘ逃去ケル中ニ婦人一人幼女ヲ懷キ山
 中ニ逃入朽タル木ノ坑ノ中ニカクレ居シカハ人聲ノ多クシテ此木
 ノ坑コソ物クサシトテ鎗ヲ下シテ披リケルカ胸ノアタリヲ刺テ身
 ニ別條ナカリシカハ人去テ後母子トモニ栖ヘツ販リケルトソ其婦
 人寛文ノ比チヒマテ存命居ケルカ乳居ノ上ニニヶ所刳劊ノアト有
 シトナシ是ヲ想フニ舊水尾ノ城主目黒一族ノ持城タリシナラシ明
 和年中此城ノ籠ニテ一阜ヲ穿ケケルニ下ニ石柵アリ 長六七尺 横二尺餘 中ニ
 人ノ仰キ伏タル骸骨アリ側ニ大身ノ槍ノ穂ト太刀ノ身トヲ安ス皆
 腐テ土ノ如シ又五六寸許リノ肥松燃シ捨タルアリ頭ノ方石壁ニ墨
 ニテ畫タル牡丹ノ花ノ如キ畫アリ土ハ面部ノ白骨ヲ取テ自ラ面ニ

押當見ルニ左右二寸許リ餘リテ顯モ準シテ大ナリ村民土々掩ヒ本ノ如クニ瘞メケル疑ラクハ前主ノ葬所ナラン又村ノ上ニ天神山ト號スル寺迹アリ天明ノ比一壺ヲ掘得タル中ニ味噌漬ノ大根數多アリ其色赤ク美潤ナリ里人食シ試ルニ只赤土ヲ嘗ルニ等シク滋味更ニ無カリシトツ是亂國ノ所爲ト謂ヘシ此城ノ少シ下手村ヨリ與ニ比丘尼カ城ト云アリ一構ト見ヘタリ

砂見庄 三個村

土俗ニ砂見谷ト云フ長谷赤子田兩村ノ間ヲ西へ入ル谷隘ニテ山ノ南ハ八上郡或田郷ノ境ナリ谷ノ長サ與ハ岩坪ノ境ニ至テ凡ソ二里半ナリ其間村々數多アレトモ今ハ惣名砂見ト稱シテ上中下三村ニ分テリ和名抄ニ神戶トアルハ此郷ノ名ナリ

下砂見村 中村 神坂 倉内 向土居 上土居 西河内

戸數 八十五軒 辻堂ニ本尊 鹿宮在中村 地蔵在神坂

氏神 杉森大明神 祭日九月十一日

牛頭天王 荒神四社 山神 無社

不動明王 在龍 祭日八月廿五日

平等山栢米寺 其言本寺鳥取養壽院

山伏 真光院 多寶院

土産 木履齒木

當村ハ下ノ一村ヲ神坂ト云フ土俗カネ坂ト云フヲ以テ銀坂ト書ハ誤也其上ニアルヲ倉内ト云フ或ハ倉鋪又其與チ中村ト云フ此三村ヲ合セテ下砂見ト云フナリ今中村ヲ以テ本村トス但シ其内ニ向土居上土居西ノ河内ナト云ヘルハ其鋪地ノ字ニテ昔ヨリノ村落ニハアラス長谷ヨリ神坂マテ二十三町トス神坂ヨリ中村へ八町ナリ又ハ神坂ト號スルハ和名抄ニ所謂神戶ノ名殘ニテ神戶坂ノ略語ナリ是ヨリ東へ山越スレハ八上ノ袋河原へ二十五町ナリ

龍 神坂ヨリ四町許リ與徑ノ側ニ石ノ花表アリ其ヨリ右ノ方山路ニ町余與ニ至テ北ノ方翠巒岫々トシテ飛泉二段アリ中ノ段ニ不動ノ

鎮座アリ上段ノ水能シル處ノ高サ二丈餘布ヲハヘタルカ如ク一曲
シテ又瀧トナル其高サ上ノ瀧ニ凡ソ同シ法美ノ兩瀧ト云フカ如ク
ニハアラ子トモ風景又奇勝ナリ毎歲八月二十五日瀧祭ヲナセリ
中砂見村 大井棚 中井棚 隣井棚
凡云フ 高津

戸數 六十五軒 辻堂本尊 隣地處在中井棚
觀音佛在瀧

氏神 轟大明神 祭日九月十一日

荒神三社 山神 無社

多聞山吉禪寺 其有本寺鳥取最勝院
和銅六年建之

産物 同前

下砂見ノ興ニアリ下ノ西河内ヨリ當村中井棚マテ三町三十間余其
ヨリ興高津ヘ二町又其興大井棚ヘ五町ナリ中砂見トハ元此大井棚
ヲ云フナリ中井棚ハ北ノ谷隘ニカクレタル里ナレハ隣井棚トモ云
ヘリ高津ハ本谷ニアリ以上三村ヲ中砂見ト云フ大井棚ヨリ北ヘ山
越ノ道アリ高路村ヘ三十町是ヲ滑坂ト云フ又南ヘ越ルヲ湯谷越ト

上砂見村

戸數 九十軒

氏神 籬指大明神 祭日九月十三日

牛頭天王 荒神 大將軍 無社 山神 無社

惠日山愛徳寺 曹洞宗本寺鳥取天徳寺

土産 厩田

大井棚ノ興三町三十間余ニアリ村ノ長サ三町許リ大村ナリ是砂見
庄ノ詰リトス興三十町ニ岩坪村アリ 成ハ一里但シ村ノ上
外レヨリ二十二町 又或田ノ邊
谷村ヘ三十三町ナリ

籬指大明神 延喜式神名帳載ル處大和佐美命神社是ナリト云傳フ此
命ノ傳詳ナラス按ルニ大和ハ姓佐美ハ名ナリ今此郷ヲ砂見ト云フ
砂ハ音位ナリ是上古神名ヲ以テ地名トスル例ニテ是神社有テ後ノ
村落ナルヘシ今砂ノ守ヲ用ユル故ニスナミト辨スルコト和名砂

神戸トアルモ此神鎮座アル故ノ郷ノ名ナラン三代實録曰貞觀七年六月八日授因幡國無位大和佐美神從五位下

大五輪 當村ト中砂見トノ傍圍塚ニアリ高サ八九尺尋常ノ碑碣ニアラス故アル古墳ナルヘキナレトモ仔細知レス

有富 東郷 十一個村

本高村 上本高

戸數 四十五軒 上十四軒 下三十一軒 役馬三疋

氏神 荒神 祭日

掘社 荒神

多治見八幡 祭日 八月十五日 本高宮谷兩村祭之

祭神山名彌次郎並數 永祿七年祭祀之

無山號 東方寺 曹洞禪本寺鳥取聖福寺

石窟 在村後山

有富谷ノ口ニアリ鳥取ヨリ鹿奴ヘ往還ノ馬驛ナリ民家ハ街道ノ兩

側ニアリテ上下ニタ村ニ分ル下モハ本村上ミハ茶屋ナリ其間ニ里堡アリ古海ヨリ二十町十間鳥取ヨリ一里ノ誌ナリ鹿奴道ハ村ヨリ八町余上多治見ノ山ノ峡ヲ右ヘ行ケハ野坂村ヘ通シテ吉岡ノ湯村ヘ至ルナリ直ニ行ハ松上ニテ下段村ヘ二十五町ナリ有富谷ヘハ村ノ中程ヨリ南ヘ入ルナリ

北 村 花色

戸數 四十一軒 辻堂本行 祭師

氏神 牛頭天王 祭日

金剛山龍松寺 曹洞禪本寺鳥取天徳寺

古城趾 城主北村彌兵衛

本高ヨリ八町有富谷ノ右側ノ山下ニアリ菖蒲村ヨリ半里トス此谷ハ丑寅ヨリ未申ノ間ニ入ルナリ是ヨリ興高路村マテ七ヶ村ヲ有富谷ト云ヘリ長サ凡一里半ナリ村ノ下西ノ山端ノ民家ヲ花色ト云フ 枝村ナリ

古城 村ノ向フニアリ下味野ノ連山ナル故味野タケ谷ノ城トモ云フ
 タケ谷ハ武田 武田豊前守持城ナリシト云フ本丸二ノ丸三ノ丸段々ニ
 曲輪ノ跡アリ北村ノ中ニ殿町ト云フ處ハ侍曲輪ノ跡ニテ有富谷ノ
 方ヲ城表トスト見ヘタリ下味野村ノ敷地ニ新町鍛冶町鐵炮町等ノ
 字ハ昔城下ノ町ノ名殘ト云ヘハ當分ノ搦トモ見ヘス按ルニ武田カ
 本城ハ玉津ノ嶋尾ニアリ當城二ノ丸ノ下ニ殿切岩トテ巨岩アリ土
 人口碑ニ當城没落ノ時大將此石上ニ自害セシト云傳フレハ武田前
 主ヲ討亡シテ後持城トセシナルヘシ
 今在家村

戸數 二十四軒

氏神 三寶花神 祭日 九月十日

八大荒神 天神社

有富川ノ西ノ山下ニ屬ス北村ノ與ニツ、キテ一村ノ如シ中村ヘ十
 五町許リナリ

藤坂村

戸數 七軒 辻堂本尊地藏

氏神 大明神 祭日 九月十日

稻荷社

古城趾

今在家ノ與六七町ニアリ東側ノ山下ニ屬ス

古城 村ノ後山ナリサシタル城ニアラス北村彌兵衛ト云シ者ノ搦ノ
 跡ト云ヘリ北村ノ城ヨリ五六町上ニアラナリ作り道アリテ當城ニ
 通ス然レハ北村ノ出城敷城ノ後味野ノ馬匿ノ城ニ連リタリ一搦ヘ
 ノ内カ分明ナラス

中村

戸數 三十六軒 古記ニ四十軒餘 辻堂二本尊 觀音 桑師

氏神 牛頭天王 荒神 山王 祭日 各九月九日

同 八幡宮 祭日 八月十五日

産物 風蘭

篠坂ヨリ八町有富川ノ西ニアリ村ノ上ヨリ西へ山越スレハ松上谷ノ上原村へ半里也ツツノ坂ト云フ當村氏神ノ境内ノ大木ニ風蘭艸ヲ生ス或説ニ風蘭ハ凡テ中村ト云フ里ニ生テ他村ニハ生ヘスト云ヘリ實否知レス

大森村 極ヶ池 向大森

戸數 二十五軒

辻堂本尊 觀音 阿彌陀

氏神 大森大明神 祭日九月十九日

荒神 八幡無社

觀音堂

修驗延祥院 三寶院

古城址

中村ノ奥ハ町余ニアリ民家ハ有富川ノ西側ニアリ村ノ上外レヨリ東方猪子谷へ越ル山道アリ大岩越是ナリ猪子村ト横枕村ノ間ノ本

道へ出ル打越二十一町餘所ナリ其處ヨリ猪子村へハ三町余具へ入ル横枕へハ口ノ方へ七町ナリ

蛇山ノ城 村ノ向フ 荒神谷 村ノ下 西側ノ山ニアリ余程ノ構ニテ堀切乾堀曲

輪ノ跡段々ニアリ荒神谷七郎左衛門ト云シ武士在城セリト或ハ大畠左近允ト云レ者城主タリシトモ云フ何レカ其先後ヲ知ラス山下

ニ町屋ノ跡ト云フ處モアリ又城主ヲ祭レルトテ八幡ノ小祠アリテ側ニ五倫ノ碑碣數多アリ皆是城主ノ墓ト云ヒ或ハ頸塚ト号スルモ

アリサレトモ時代モ知レス事モ又傳ハラス按ルニ民談記ニ有富新山ノ城ト書テ布勢ノ出城ト註セリ今此谷ニ新山トモ新山トモ云へ

ル古城ナシ右三城ナラン歟當城主ノ名不定ヲ以テ視レハ此山ノ事ナルニヤ寛文 氏談 記 ヨリ今 政 記 寛ニ至テ百二三十年ナリ人ト塚ト移リ變

リテアリシ名モ失ヘルモ歟

荒神谷村

戸數 九軒

氏神 牛頭天王 祭日

八幡 荒神 在瀬 板殿

若宮 武田高信妻女之墓也

古城跡 城主荒神谷七郎左衛門 大森蛇山ノ城ノ一ナルヤ但シ別カ

大森ヨリ五町與川西ノ山際ニアリ村ノ向フノ谷ヲ東ヘ越レハ猪ノ子村ヘ通シテ二十四町白谷越是也山高クシテ然モ難坂ナリ此谷與ニ小キ飛泉アリ荒神ノ瀧ト云フ昔シ此谷ニ名高キ荒神鎮座アリシ故惣名トセリト舊シキ事ナルニヤ今ハ跡形モナシ

若宮 白谷口ノ左ノ山下ニアリ 土俗平部談 谷トモ云フ 古賀乃木ノ下ニ石地藏ヲ安ス是ナリ相傳フ天正四年玉津村嶋尾ノ城主武田高信ハ上郡散岐村ノ大森寺ニ於テ山名置國ノ爲ニ誅セラレケル時一族城ヲ落テ四方ヘ離散セリ其時高信カ妻女ハ家老西郷因幡カ指圖ニ因テ西郷カ婿ナル松上社ノ神主大畠某ヲ頼ント猪ノ子谷ヨリ此谷ヘ打越ケルカ歎勞遊ルヲ追カケ所々ニ散在ス夫人見怪メラレンモ恐敷此村ノ百

姓ヲ頼ミ少間土藏ノ内ニカクレ居ケリ然ルニ落人ノ吟味嚴重ナリシカハ村民潛ニ相讖シ強テニカクサハ後難アラン逆モ遊レヌ命早ク殺シテ褒美ヲ得ント謀ル夫人其事ヲ悟リ身ニ有シ程ノ財寶ハ得サスヘシ一向ニ命ヲ助ケクレヨト云フトモ土人情ナク終ニ是ヲ殺シテ携フニ處ノ金銀ヲ奪ヒ衣裳ヲ剝取テ死骸ヲ此所ニ埋ミケルトソ其後此里ニ恠異所聞ナカリケレハ其仇恨ノ崇リナラムト佛事ヲ營ミ作替ヲナシ數多ノ卒都婆ヲ建ケレハ其ヨリ此地ヲ卒都婆谷ト云習ハシケルトソ或ハ夫人最期ニ臨ミ此恨ハ永ク沙等カ子孫ニ報レテ此里アラン限リ因乏ナラシメン若倉ヲ建ル程ノ者アラハ焼殺スヘシト云テ夫ヌト末世ニ至テ此里ニ倉一ツモナキハ其故ト云ヘリ今ハ神ニ祀ヒ若宮ト崇ム時サリ世變リテ其仇恨モ薄クナリシニヤ近年ハ倉物置モアレントモ崇ル沙汰モ無ナリヌトソ

高野路 村 口屋 新田高野 松上新田

戸數 五十四軒

辻堂 三本尊 觀音 藥師 地藏

高野新之部

八三三

氏神 法言寺 祭日九月十九日

祭神天兒屋根命ト云々

荒神 山神

庵 一字 本尊阿彌陀 在河田高路

荒神谷ヨリ二十町余與ニアリ中村ヨリ一里トス是ヨリ南滑坂アリ
中砂見へ三十町西ニ越レハ松上村へ一里許リナリ當村新田ニケ所
ナリ村ノ下八町許リニ在ルヲ新田高路ト云ヒ又三十町許リ與ニ有
ヲ松上新田ト云フ寛延ノ末比松上村ヨリ出佃シテ今民家三軒アリ
テ當村ニ屬ス是有富谷ノ誌也

下段村

戸數 五十軒 毘沙門堂

氏神 妙見社 祭日九月九日

掘社 稻荷 荒神ニ社 毘沙門

産物 荻菅 川苔

當村ハ有富ノ西ノ谷ニアリ松上道ニテ本高ヨリ二十五町與ナリ發
ルニダント云フ地名諸國ニアリ國ノ守ヲ用ニ是ハ昔 王政ノ時國
々關々ニ布列ヲ設ケ武士交替シテ屯ヲナスノ地ナリ是ヲ軍團ト云
フ（注）海防分隊分給十七日凡軍團大段一人領二千入少段別領註曰謂凡兵滿一千人者
大段一人小段二人六百人以上者大段一人少段一人五百人以下唯置段一人也云々
徂徠カ鈴鐘ト云フ番ニ日本國中ノ軍兵ヲ三十三團ト定メ一團ノ兵
大抵一千許リ一團ノ將ヲ大段ト云フト番ルモ軍令ヲ引ケルナリ今
モ攝州ニ上團下團アリ與州ニハ七團アリト云ヘリ是大團小團ニ應
スル團ノ數ナルヘシ其外諸國ニ其地名アリトナレハ當國ニモ有ヘ
キナリ主人其故事ヲ知ラス音ノ同キヲ以テ今段村トスルニヤ
川苔 上段ト下段ノ間纒二三町程ノ川筋ニアリ其形海蘊ノ如ク色黃
黒ナリ是ヲ採テ湯ニ漬ス時ハ色變シテ青綠ナル事伊勢ノ乾苔ニ等
シ味ヒ又甘美ナリ郷民是ヲ調菜トセリ相傳テ云フ昔シ上原村天光
山於堂寺繁昌ノ時其寺ノ住侶常ニ海苔ヲ好メリ或時人ヲシテ此川
ニ海苔ヲ洗ハシム人過テ皆水中ニ投ス其海苔流下ノ石ニ著テ其日

リ年々生シテ今ニ絶ヘスト按ルニ海苔陟釐諸國ニ出ツ食品トスル物尤モ數種アリ多ク海島ニ附生シテ川中ニ生スル物稀ナリ駿河ニ富士苔アリ富士ノ麓精進川村ノ谷ヨリ出ス肥後ノ菊地苔土佐ノ陟釐等ミナ川ニ生スト云ヘリ然レハ此川ノ苔モ天然ノ産物ナラン歟昔ヨリ知ル人無リシテ被僧好メル幸ニ此ヲ知テ始メテ菜用トシタルナラム

上段村

戸數 二十軒

氏神 牛頭天王 祭日 九月十九日

天神 大將軍 荒神

藥師堂 本尊長、相傳云古有伽藍淨土寺センク山醫王寺號即本尊是也

下段ノ與六町軒リニアリ松上道ヨリ少シ南ノ山手ニ寄レリ上原村ト一町余下向フナリ大塚村ヘ六町トス

宮谷村

戸數 三十五軒

氏神 光頭大明神 祭日 九月朔日

同 多治見八幡 祭日 八月十五日

荒神 二社

裝上山湖音寺 寶鏡源本寺馬取與源寺

古在荒田村吉岡將監菩提寺是也

此廢地文政三年ニ同郡岩本村防已尾ニ控地トナル

産物 雪履 蓮

多治見ノ西ノ山下ニアリ野坂川ヲ隔テ大間楯間ト相對ス本高ヨリ十九町ナリ宮谷ト云フハ村ヨリ下ニアル小谷ノ名ナリ光頭ノ神ノ鎮座ノ地ナルヲ以テ宮ノ谷ト名付ルナリ此谷ハ口狹ク鬱蒼ト生茂リタルカ内次第ニ廣ク田圃ノ數數モ多シ與ニ至レハ嶋村本高兩村ニ通ル山徑アリ永祿七年布勢ノ屋形山名彌次郎豊數救臣武田豊信守高信カ謀計ニ因テ釣ノ山ニ相戰ヒ遂ニ利ヲ失ヒ多治見ニ於テ自害セラル其時高信伏兵ヲ此谷隘ニ備ヘント云傳フ其節ノ合戰民談記ニ釣山ハ有宮ノ谷口要害ノ地ナレハ布勢ノ取出トシテ侍大將ヲ

番手ニ置レケルヲ攻ントテ高信鶴尾ノ武田又三郎ト喋シ合セ手勢
 二三百近邊并ニ巨濃岩常ノ合力勢ヲ引卒シ赤池ノ渡ヘ向ヒケル釣
 山ヨリセ城下ニテ待付ンハ武勇ノ不足ニ似タリトテ一騎懸ニカケ
 付中略釣山ノ勢ハ又三郎ニ跡ヲ取切ラレ叶フマシト釣山サシテ引
 退ク中畧此由布勢ヘ聞ヘケレハ急キ後詰ヲナスヘシトテ彌次郎殿
 馬ヲ出シ玉ヘハ森下四郎左衛門侍大将ニテ二百余人大間ノ在家ノ
 上ナル鍋山マテ人数ヲ出ス高信無テ釣山ヲ攻ルナラハ布勢ヨリ加
 勢ナキ事ハアルヘカラス其節伏兵ヲ以テ戰半ナラン時思モヨラス
 方ヨリ切テ出刈包テ討ナラハ必勝疑ナシトテ懸引違者ノ兵ヲ二三
 百人宮谷ノ上ノ山ナル深谷ニ伏置中略布勢勢早多治見ノ山ヲ下リ
 有雷ノ谷ヲ上リニ釣山ノ西ノ山鼻ニ討出ル高信思フ圖ニ敵ヲ偽引
 出シタリ爰ニテ雌雄ヲ決セント畧既ニ合戰ニ及ケルカ布勢勢進退
 利ナクシテ人数マハラニ見ハケレハ略多治見ノ坂口ニテ又取テ返
 シ火ヲ出シ取ケル中畧懸ル處ニ伏置タル武田カ勢時分ハヨキソト

二百余人宮谷ノ在家ノ前ヨリ眞手ニ成テ崩レ來ル布勢勢ヲ引包シ
 テ討ントス布勢勢ハ思寄ヌ方ヨリ敵寄來レハ度ヲ失ヒ散々ニ崩ア
 敗軍ス彌次郎殿ハ如何シテ後レ玉ヒケン味方ノ勢ニモ離レ多治見
 ノ西ノ山口マテ出玉ヘトモ前後ニ敵ヲサカリ味方ノ勢ハ俄先ニト
 落失ヌ彼方此方見廻シ玉ヘトモ道レ玉フヘキ様ナカリケルサレト
 モ無ニ無三ニ切拂ヒテ退玉ハ、雖ホク布勢ヘ飯リ玉フヘキヲ若武
 者ノ悲シサハアタリニ味方ハ一人モ見ヘヌニカヲ落シ今ハ叶ハメ
 處ナリトテ馬ヨリ飛オリ鐵ノ草摺推フケ脇指ヲ抜テ腹カキ切テ伏
 玉ヲ痛マシ、トモ中々言語ニ絶セヌ有様也中略扱モ向フ北ノ山ノ
 麓ニ其跡アリ又路ノ側ニ石根ヲ積タル一立アリ是モ布勢ノ家老某
 其時殿切テ屋形ノ供シタル死骸ヲ葬リタル誌ト云傳ヘタリ
 ヨソメイ岩不詳多治見ハ幡社ノ向フ北ノ山鼻ニ方三尺許リ石橋ノ
 如ク圖ミユル石アリ是ナリト云ヘリ昔野坂郷ニ有福ノ長者アリ千
 間之助ト云ヘリ野坂ノ里ニ塔ヲ建ツ其供奉導師トシテ天臺ノ座主

ナ新シケル座主麻山ヨリ下向アリケルカ故有テ供養ヲ遂ス長者カ
 爲ニハフカシメナワケ鬱憤ヲ起シ其時此岩ノ上ニアカリ長者ナ恨
 ミタル跡ト云傳タリ又其時用意ノ香花供物ヲ山下ニ引散シ捨ケル
 處ヲ香田花田盛物田ト云フト今大塚村ト野坂村ノ間ノ田地ノ守ニ
 殘レリ長者屋舖モ大塚村傍爾北野ト云フ處ニアリ今ハ皆田地トナ
 レリ按ルニヨツメイ岩ト名付ル其故ヲ知ラス古キ地圖ニヨツメイ
 岩ハ樺社ノ上ヘニ見ヘタリ然レトモ今其アル所ヲ知ラス長者屋舖
 モ其所違ヘリ疑ラクハ古圖ノ間違ナラン歟委シク大塚村ノ下ニ註
 ス

松上西郷 十三個村

凡ソ郷村ノ名ニ東何ト云ヒ西何ト云フハ傍同名アルニ相對スルノ
 謂ナリ或ハ南北或ハ上下或ハ東ト云ヒ口ト云フ皆其差別ナリ然ル
 ニ今松上西郷有テ東郷ナシ又前ニ記ス有富東ノ郷ト云テ西郷ナシ
 尤モ不審ト云フヘソ按ルニ此ニ谷ハ其源松上山ノ東西ニ開ケタリ

是ヲ以テ考フルニ建武年中松上ノ社ノ鐘ノ銘ニ野坂郷松上大菩薩
 ト彫刻セリ是和名鈔所謂野坂郷是ナリ此谷ニフナカヲ同名相並フ
 ナリテ往昔有富ノ方ヲ野坂東郷ト云ヒ松上谷ヲ野坂西郷ト云ヘル
 ナルヘシ然ルニ後人古名ヲ變改シテ東西ノ文字ヲ殘セルハ其實ヲ
 知サルモノ歟中古ノ記録ニ東西ヲ云ハス只有富保松上ノ郷トアル
 ナリテモ辨知スヘシ

上原村

戸數 五十九軒

氏神 今宮大明神 祭日 九月九日 正一位

攝社 荒神 稻荷

天光山矜堂寺之廢地 眞言本寺前野山

本尊不動明王 弘法大師之作今修驗三寶院一派利昌院持

虫尾山淨源寺 曹洞禪本寺島取天德寺

千疊新田

上段ヨリ一町余西ニアリ此ヨリ奥ヲ松上谷ト云フ松上村マテ凡ソ五十町ナリ其間ニカ子原ト云フ在郷アリ松上ノ奥根原ノ出村ニテ當村ヨリ二十五町ト云フ又上原ノ大五輪トテ東側ノ民家ノ前ニアリ高サ六尺許リ故アル古墳ナルヘシサレトモ仔細知レス

松上村 上段 坂根 田中

戸数 五十七軒

氏神 松上大明神 祭日 四月朔日

社領 二十八石

祭日 神饌四斗八升八匁 神馬大豆一斗二升

同 荒神社 祭日 九月廿八日

荒神六社 妙見 天神

高松上 古城

衣千岩

土産

カ子原ヨリ二十五町奥ニアリ但ソ當村ハ上段坂根田中此三村ノ惣名ノ松上村ト云フナリ村ノ奥南面両谷アリ南ノ谷ニ村落ナシニ谷トモニ詰リハ岩坪ナリ田中ハ大川野坂川ノ上ナリヲ隔テ四五町西ノ谷ニ入込テアリ

松上大明神 上ノ段ヨリ三町奥ニアリ祭神國常立尊攝社天兒屋根命ナリ此里ノ土俗ニ昔ヨリ家ヲ建ルニ壁ニ土ヲヌラス茅ニテ垣ヲカコヒ或ハ板壁ヲ用ヒ竈ヲ造ラス惣テイミシキ躰ヲナセハ神靈惡ミ至フ迪疊ヲレク者モ希ナリ是矯者ナイマシメ富貴榮華ノ躰ヲ惡ミ至フ故事ト云傳フ凡ソ村民ノ信心恐敬他ニ異ニシテ先穢氣不淨ヲ禁忌スル事尤モ甚シ産婦ハ産室坂根村ニアリニ下シテ分娩ノ後數日ヲ經サレハ其家ニ飯ル事ヲ許サヌ又村中火ヲ改ムル事嚴重ナリ是甲頭ノ役トシテフルビタイト云フ事ヲ高野ニ呼ハリ觸ルナリ其祭ニ應シテ每家ニ貯フル處ノ火ヲ消シ薪火ヲ鼓ケテ用ヲナス素ヨリ舊火ニ炊置タル物ヲ食セス是神靈ヲ崇敬ム此地ノ風俗ナリ扱此フルビ

タイト云フ事何タル言句トモ考ヘカタン或説ニ番火ヲ絶セト云フ
 事ナラント云ヘリ其モ有事ニヤ又衣千岩ト云フハ當村ト上原村ト
 ノ間ノ川ノ中ノ田中村ニアル石ナリ石ノ大サ陸地ヨリ見ル處凡ワニ
 間余リ常ハ水トヒトシク石ノ脊水上繞ニ出フ是ヲ衣千岩裂岩靴石
 トモ云傳ヘタリ昔レ辰山ノ座主野坂長者ノ爲ニ鬱憤ヲ發シ再ヒ京
 ニ歸ラス此山與ニ入テ寂滅セリ其比松上山ハ草木生茂リテ道ヲ没
 ス座主此川脉ヲフタヒ上リケル時過テ水中ニ轉ヒ衣ノヌレケルヲ
 此石ノ上ニ乾ケルトツ此阿闍梨ハ慈悲僧正ノ弟子ニテ某ノ王子ニ
 テ御座ケルトカヤ後其靈魂ヲ神ト祀ヒ松上大明神ト崇ケルヨシ州
 民口碑ナリ慶安年中當社鐘ノ銘ニモ其趣見ニ然レトモ社傳記録ヲ
 考フルニ本社國常立尊攝社天兒屋根命ナリ素ヨリ祭日神輿ニ基ヲ
 振渡スナレハ二神ヲ祭ル事疑ナキモノ歟想フニ中古神佛習合ノ法
 行レテヨリ以采齊事ヲ失ヘルモノナラム疑ワクハ阿闍梨此山ニ入
 滅ノ後末社ノ神ニ祭レルナトテ後世混淆シテ云ヘルニヤ近代神學

廢シテ事ノ實考ヘカタキ事率子所ノ如シ又坂根村ノ下大川岸ニ馬
 場松アリ昔レ松上明神祭禮ノ時此所ニテ流鏑馬アリシ迹ト云ヘリ
 故ニ其名殘リタルナラム

棋原村 小原 カ子原

戸數 辻堂

氏神 阿地拜大明神 祭日九月十日

荒神 四社 稻荷 山神

國隆寺地藏 在小原村辻堂

産物 刺木 高名物

松上西谷ノ與ニアリ田中ヨリ十二町トス小原ト云フ枝村十二町與
 ニアリ兩村共ニ薪ノ名所ニテ木長短ク刺木トナンテ求テタリ專ラ
 國中ニ交易ス

國隆寺之地藏 小原村ノ辻堂ニ安置ス是也長二尺五寸余木像ナリ寺
 趾ハ小原村ノ後ノ山上ニアリ宇治拾遺物語ニ曰今ハ昔因幡國サカ

ノ里ニ伽藍アリ國隆寺ト名ク此國ノ前國司チカナリ造レルナリ其
 處ノ年ヨリタル者傳ヘテ云此寺ニ別當アリキ家ニ佛師チ呼テ地蔵
 ナ造スル程ニ別當カ妻コト男ニ語ラハレテ跡チクヲマシテ夫ヌ別
 當心ヲ惑ハシテ佛ノ事チモ佛師ノ事チモシラテ里村ニ手ヲ分テ尋
 手求ムル間七八日ヲ經ヌ佛師モ檀那ヲ失テ空ヲ仰キ寺チ徒ラニシ
 テ居タリ其寺ノ專當法師是チ見テ善心ヲ起シテ食物ヲ求メテ佛師
 ニクハセテワフカニ地蔵ノ木作り許リシタマフリ衆色ヤウチハ
 得セス其後此ノ專當法師病ニフキテ命終リ妻子カナシミ冀テ棺ニ
 入ナカラ捨スシテ猶是チミルニ死シテ六日ト云フ日未ノ時許リ俄
 ニ此棺ハタラク見ル人チチラソレテ迹去メ妻悲ミテ見ルニ法師ヨ
 ミカヘリテ水チ口ニ入ヤウヤウ程ヘテ冥途ノ物語リス大ナル鬼フ
 タリ來テ我チトラヘテ追タテ、廣キ野ヲ行ニ白衣キタル僧出來テ
 鬼トモ此法師トクエルモ我ハ地蔵菩薩ナリ因幡國國隆寺ニテ我チ
 造リシ僧ナリ佛師等食物チクテ日比ヘシチ此法師信心チ發レテ食

物チ求メテ佛師等チ供養シテ香像ヲ造リタリ此思忘カタシ必スユ
 ルスヘキ物ナリト宣フ程ニ鬼共赦シ罪ヌ念比ニ道ヲ教ヘテ返シ
 ツト見テ生カヘリタルナリ其後地蔵菩薩チ妻子トトモニ彩色シ供
 養シタマフリナカラ皈依奉リケルニ今此寺ニチラソシマスト云々
 按ルニサカノ里ハ地蔵隨利生記ニ野坂里ニ作レリ建武年中松上社
 鐘ノ銘ニ野坂郷松上ト彫刻アレハ往古此邊野坂郷内ニシテ土人口
 碑ニモ國隆寺ノ地蔵ト云傳ヘタリ按ルニ氏談記ニ其所ヲ知ラスト云フハ纒ニ今ノ野坂村ヲサスガ故ナリ尤
 モ古作殊勝ナル佛軀ナリ其時代チ考ヘ難シ因幡ノ前國司チカナリ
 ト有テ其姓氏シレス文字モ又詳ナラス地蔵利生記ニ介親ニ作レリ
 是モ國史ニ見ヘス公卿補任チ按ルニ一條院ノ御時藤原實成ト云
 フ人アリ内大臣公季公ノ一男ナリ永延年中從五位下ヨリ立テ後
 朱雀院マテ都テ四朝一條三條後一條後朱雀ニ歷任シテ正二位ニ叙シ中宮大夫ト
 ス勅授帶劔兼太宰師是等ノ人ナルニヤ但シ諸國任チフルト云ヘ
 トモ因幡守タル事見ヘス補任脱漏セシムル歟其他ニ求ムル人ナレ

モシ此人ナラハ今ニ至テ八百年ニ餘レリ星霜舊レク火失ノ難ヲ免
レ今ニ此村ニ存在シ玉フモ不思議ト胡ヘシ近年村民相識シ京都ノ
佛工田中淨慶ニ彩色再興ノ事ヲ談シケルニ佛工是ヲ拜シテ是凡作
ニアラスト云テ固辭シテ終ニ彩色ヲ加ヘスト云ヘリ

河内村

戸數

氏神 山王社 祭日九月十三日

荒神 三社 山神 稻荷

根本山正福寺 眞音本寺馬取園城院

流荒神 陀岩

古城

小原ヨリ十二町興ニアリ松上谷ノ詰リナリ土俗ニ野坂ノ河内ト谷
ヘリ野坂ハ舊シニハ往古野坂辨ノ東西ヲ分クル事分明ナ
今云フ有富東野松上西野トハ往古野坂辨ノ東西ヲ分クル事分明ナ

リ是ヨリ興ニ至テ岩坪村アリ松上砂見兩谷ノ突合ニテ當村ヨリ一
里ナリ

流荒神 河内ヨリ川ノ南大山茨谷ノ山上ニアリ是モ文祿ノ洪水ノ時
此山興ヨリ荒神ノ禿倉流レ來リテ今アル處ニ止リ玉フニハ流レ荒
神トナラハシ云フト云ヘリ

古城 小原村ノ向フ野谷口ト云フ處ノ上ニアル山ナリ土俗此山ト呼
ヘリ民談記ニ松上城山秀吉公番手トアルハ是ナリ天正ノ初秀吉公
當國手遣ノ時播州ヨリ八束ヘ越ヘ若櫻ノ城ヲ進落シ荒木平太夫ヲ
入置小畑越シテ知頭ノ用瀬ニカ、リ磯部兵部太輔ヲ景石ノ城ニ止
メテ其ヨリ高草ニ入り砂見谷ヲ過キ岩坪ヨリ山越ニ此所ヲ經テ氣
多ノ鹿奴ノ城ヘ通路アリシ時往來ノ絆トシテ此山ニ番兵ヲ置給フ
其時ノ普請ナリ或説ニ秀吉公番手ノ城ハ岩坪村ノ上ニ有リト云フ
ハ民談記ヲ讀テ其土地ニ至ラス推量ノ説ナリ

岩坪村

戸數 百二十軒

氏神 坪大明神 祭日九月十一日

妙見社 稻荷 荒神

土産

當村ハ松上砂見兩谷ノ切詰ノ境ニテ河内ヨリ一里與ニアリ其間ニ
野坂ト云フ雖所アリ松上村ヨリ南ノ谷ヲ行ケハ一里ナリ村ヨリ東
ニ越レハ上砂見一里八上ノ或田谷北村ヘ一里其間坂道四十八曲難
所ニテ牛ハ通レト馬ハ通ラス是ヲ栗谷坂ト号ス同谷小治田村ヘ越
テ笹尾坂ト云フ二十五町ナリ當所岩坪ト号スルハ村ノ與ニ飛泉ア
リ其體ツホノ形ケ岩石ナメラカニ圓テ壺ノ如レ即ケ呼テ里ノ名ト
ス其上ニ祭神アリ坪大明神ト號スルモ其故ナリ

細見村 口細見

戸數

氏神 山王社 祭日九月十三日

攝社 山神 權現 稻荷 山王

慶應山 西光寺 曹洞禪本寺鹿女雲龍寺

當村ハ松上ノ西ノ枝谷ニアリ但シ與ト口トニ村アリ其間二十町許
リ與細見ヨリ松上村ヘ十五町是ヲシル谷越ト云フ又吉岡湯村ヘ山
路一里余 口細見ヨリ也 與細見ヨリ矢矯村ヘ山越アリ八町許リ

尾崎村

戸數

氏神 三社權現 祭日九月九日

荒神

口細見ヨリ下ニアリ上原ト河内川ヲ 野坂川也 隔テ東西ニ相對ス土俗ニ
尾崎トハ裝上山ノ尾崎ト云フノ義也ト云ヘリ當所土民ニ吉岡將監
被官ノ者ノ末葉多シ

大塚村 大光寺

戸數

氏神 小冠大明神 祭日九月十九日

攝社 稻荷 山王 權現 八幡

大將軍 荒神 二社内一社無社

北野天神舊跡 旗指社

小原山大永寺舊址

吉岡將監之墓

尾崎ヨリ下ニアリ上段村ト野坂川ヲ隔テ大凡東西ニ相對セリ村ヨリ
大永寺ト云フ出村アリ昔小原山大永寺ト號スル寺アリシ
ヨシ舊此處本村ニテ其里ノ名ヲ大塚ト云フ今ノ大塚村ハ其出村ニ
テオホツカト呼ケルトナリ然ルニ中古ノ兵亂ニ大塚村ハ斷絶シテ
出村今ノ大塚村許リ變リケルカ其後大塚ヨリ出作シテ彼古寺號ヲ呼テ
今大永寺ト云ケルトソ

北野天神舊跡并旗指社 當村傍爾野坂ヨリ吉岡湯村道七八町行ケハ
道ヨリ左ノ田土ノ中ニ小高キ小林アリ昔此所ニ北野ノ天満宮ヲ勸

請シタル其迹ト云ヘリ今モ田圃ノ底ヨリ朽タル柱ナト出ル處アリ
ト云惚シテ此邊ノ山モ田モ北野ト云フナレハ往昔ハ余程ノ攝ニテ
アリシナラン其ヨリ又二町許ヲ行テ山下ノ路ノ側ニ紙ヨリナト結
ヒ付タル叢林アリ是ヲ旗指大明神ト號ス永祿六年布勢ノ屋形山名
彌次郎豐數教臣武田高信カ爲ニ多治見ニテ討死シ至フ其亂軍ノ時
旗指ノ下部此所マテ落ノヒケルカ終ニ敵ノ爲ニ討レケル其死骸ヲ
埋メタル迹ト云ヘリ其後往來ノ人ニ崇リアリシトテ村民神ニ祀ヒ
祭リケルトナリ其ヨリ此處ヲ旗指トモ旗竿トモ云フナリ又村民口
碑ニ是ハ下部ノ墓ニハアラス其跡敵旗ヲ奪ヒ逝去ントシケルヲ山
名家歴々ノ武士其旗ヲ取返シ此所マテ持来リシカ大勢ニ取マカレ
進退路ナク終ニ自殺シテ失ヌトモ云ヘリ近年旗指ノ茶屋トテ民家
ニ斬アリシカ今ハ無ナリケリ

小原山大永寺舊跡 大塚ノ出村大永寺ノ祭師堂其舊址ナリ此寺昔ハ
十二坊アリシト云フ其境内今ニ幾リテ大ナル構ナリ何ノ世頽廢シ

ケルニヤ佛閣僧房跡形ナクナリシニ本尊像師ハ幾リ玉ヒテ小堂ニ
安置シケルヨシ然ルニ慶長元和ノ比トカヤ後ノ山崩レ懸リ被堂モ
佛モ共ニ土中ニ埋リケルヲ其後里民其遺ヲ耕ストテ被佛像ヲ掘出
シケルヨシツノ比奇特ナル貧僧アリテ是ニ莊嚴ヲ加ヘ茅堂ニ安ス
今ノ草庵是ナリ明和年中又罾口一佃ヲ掘出セリ

吉岡將監之墓

大塚村ヨリ一町許リハナレテ北ノ山端ニアリ山ノ名

ヲ小松ト云フ

野城ヨリ古岡道左
ニ見ユル山ナリ

將監防己尾ノ城落去天正九年後藝州ノ

毛利家へ趣ント上方海道へ出ケルカ智頭郡ニ秀吉公ノ關所アリテ

今岡ノ原ノ下今岡
是ナリ

通リカタク其比用瀬村ニ水口氏ノ郷士アリ將監カ

卸ナルニ因テ其處ニ止足シテ居ケルカ水口某其後零落シテ大塚村

ニ八町許リ所持ノ田地有ケレハ其ヲタヨリトシテ用瀬ヲ轉シテ此

里ニ米住ス其時將監モ同居シ後終ニ病死セリ故ニ此村ニ墓ヲ築キ

ケルトツ水口ハ後百姓トナリ今ニ當所ニ相續シテ分幾ト稱ス其因

縁ニテ將監ノ刀ト鎗トヲ所持シケルカ近年身上等クナリ野坂村ノ

源三ト云フ百姓是モ將監由緒アル者ニテ刀ハ源カ處ニ持ケルナリ

水口ハ舊公家ノ末孫ト云ヘリ何ノ世ノ事ニヤ左遷セラレテ當國ニ

住居レ子孫郷士ト成テ相續セリトナリ

野坂村

戸數

氏神 國冠大明神 祭日 小冠

牛頭天王 祭日

遍照山光明寺 浄土本寺鳥取一行寺

修驗福性院 三寶院派

同 真性院 右回斷

御制札場 四楹

センタラノ大水

吉岡將監倉跡

大塚ヨリ六町許リ下ニアリ本高ヨリ十九町十間也其間ニ野坂川ア

リ廣サ八間歩淺リス鹿坂へノ本道ナリ御制札場ナリ宇屋アリ野坂ハ和名抄ニ出タル舊シキ地名ナリ今云フ有富泉郷松上西郷ハ往古野坂一郷ニシテ其東西ヲ分タル也近代古制捨レテ當所ノミ野坂ト云フハ上世野坂郷ノ野坂村ト云ケル其舊名ノ殘レルナリ當村ニ吉岡將監倉屋敷址ト云フ所アリ村ノ中程東側涼三ト云フ百姓ノ居宅ノ敷地是ナリト云ヘリ又其庭前ニセングラノ大木アリ圍四尺余高サ三間許リ也セングラハ一名シヤシヤキト云ヘリ珍シキ大木ナリ

桶間村

戸數

氏神

鍋山 古城

野坂ヨリ八町余北ノ山下ニアリ古記ニハ桶城ト書リ村ノ下山ノ峽ヲ西へ通レハ布施村へ也

鍋山城 村ノ上ノ山ナリ鍋山ト云フハ昔武内大臣當國下向ノ時此山

ニ鍋ヲスエ法美郡瓶山ニハ瓶ヲ置玉フ其故事ト云ヘリ城ハ近世天文十四年山名左馬介賊通布勢在城ノ時但馬ノ山名ト中惡ク敷度合戦アリシカ布勢ノ要害淺間ナリトテ鳥取ノ城ヲ初メ野々ニ砦ヲ構ヘタル其時此山ニモ斥候トシテ山城ヲ辨ヘケルトツ其時ノ普請ナリ天文十七戌申年但馬勢不意ニ起テ布勢ニ攻入片端ヨリ火ヲ掛シカハ城郭忽チ焦土トナリヌ此急戦ニ屋形賊通討死アリケレハ幼稚ノ子息兩人ヲ介抱シテ暫ク當城ニ假居レケルトツ布勢申ノ歳崩レトハ此時ノ事ヲ云傳ヘタリ今大間村ノ山下ニ駒繫キノ松ト云フ古木ハ賊通ノ二人ノ子息源七郎 彌次郎當城ニアラレテ的ヲ射ラレケル時其召馬ヲ繫キケル故ノ名ナリトツ或ハ彌次郎殿名知見ニ討死シ玉ヒシ時乗放サレシ馬ヲ繫キ置ケルトモ云ヘリ民談記ニ大間鍋山ト書タルハ此山ノ事ナラン

大間村

戸數

氏神

古城 駒繁松

桶間ヨリ四町余北ノ田ノ中ニアリ村ヨリ四五町後ノ山ニ大松一本
アリ桶間山ノ北ヲ是ハ永祿ノ昔山名彌次郎置敷多治見討死ノ時馬
ヲ乗放テ此松ニ繫キ玉フトテ土民モ是ヲ伐ス駒ツチキ松ト云傳フ
ルハ殊勝ト謂ツヘシ今ニ至テ凡ソ二百三十年圍一丈八尺ナリ又此
山ノフ、キノ下ニ城趾アリ是モ布勢ノ砦ト云ヘリ

島村

戸數

氏神 松上大明神 祭日 四月九日朔日

攝社 稻荷 牛頭天王 荒神

松嶋大明神

大間ヨリ東野坂川ノ側ニアリ古海ヨリ野坂ヘノ往還ニシテ村ノ中
ヲ通ル當所古記ニハ今嶋ノ保ト記セリ嶋村ハ今ノ宇ヲ略シテ云フ

ナラシ又三才園會因幡國ノ下ニ松嶋大明神松嶋村ニアリ社領十五
石ト記セリ按ルニ今國中ニ松嶋村ト云テ聞ス若シ此村ノ事ナルニ
ヤ村ノ上外レニ氏神ノ鎮座アリ側古松アリ神木トス其圍一丈五尺
高サニ丈余三段ニ分レテ其枝上ヨリ四方ニ垂テ地ニ接シ又上ニ攀
ル氣勢アリ社前ニタハメル長枝十二間余一株殆ント森ヲナセリ土
俗呼テ嶋ノ松ト賞翫ス是ヲ想ニ神号及ヒ里ノ名諸書松嶋ト記セル
ハ此神木ニ據ルモノ歟又神号昔ハ長田大明神ト花表ノ額ニ有ケル
カ近比松上大明神ト改号ス其故ヲ知ラス

因幡誌

高草郡

高松ノ庄 三佃村

三山口村 有出茶屋

戸数 三十六軒 内十六軒茶屋

氏神 荒神 祭日九月二十八日

観音堂 箕上山湖音寺ノ本尊此ノ堂ニ安置ス

名産 飴

野坂村ヨリ二十二町五十間西ノ谷隘ニアリ但シ谷ノ口湯此坂ノ麓ニ出茶屋アリ此所鹿坂ヘノ本道ニテ此坂ヨリ吉岡湯村ヘ十四町ト云ヘリ大塚ヘ二十町許リナリ

観音堂 村ノ中ニアリ本尊長七寸七分五重ノ臺座舟後光ナリ背上ニ銘アリ鏡上山湖音寺ト彫刻セリ是ハ昔吉岡將監鏡上山在城ノ時山

内湖音寺ニ安置セル佛ナリ然ルニ天正ノ初ニ巖上城ヲ防己尾山ニ
 ウツセル時近縣荒田村ニ庵宇ヲ建テ安置セリ近代正徳年中別村成
 徳院君號臺岐守 仲澄君御信仰ニ因テ鳥取ヘツフシ玉ヒテ其後宮谷村ニ湖音
 寺ヲ再興有テ寺領二十石御寄附ナサレ本尊ヲ安置シ玉ヘリ然ルニ
 成徳君御逝ノ後ハ其寺衰廢シケル間本尊ヲ鳥取興禪寺ニ遷シケル
 年歷テ後當村伊八郎ト云フ農人コレヲ興禪寺ニ乞請今此庵室ニ安
 置セリ舟後光五重ノ臺座厨子等ハ成徳君御再興ニテ其座光ハ今ニ
 荒田村ノ草庵ニ殘レル是ナリ近世因幡順禮三十二番ノ札所ナリ佛
 像裏下ノ銘曰

吉岡將監所奉事之如意輪大悲像安阿彌所造也命佛工清水榮富重
 加修飾者也正徳四年五月令辰臨濟正傳寂潭變
 右六行ニ書之興禪寺
 寂潭和尚筆作之

荒田村

戸數 十八軒

川役二石三斗

氏神 天王社 祭日 九月十三日

觀音堂 養上山湖音寺ノ舊迹本尊安三山口村因幡順禮三十二番

湖山池ノ南端ニアリ三山口ノ茶屋ノ後ロヲ北ヘ山越ノ道アリ七町
 ナリ東ハ高住村ヘ八町西ハ松原村ヘ十七町ナリ古記ニハ荒田ノ保
 トアリ按ニ姓氏録荒田ハ人ノ姓ナリ高魂命五世孫劔根命之後ヲ荒
 田ノ直ト稱入上世故有地名ナルヘシ

高住村 徳尾村之廢地

戸數 五十軒余

川役十九俵一斗二升

氏神 天神社 祭日 九月二十五日

諏訪大明神舊迹 在徳尾村廢地 天王社舊迹

不動明王 荒神 大日堂ノ舊迹

奔宮之夫婦松之舊迹

大龜山禪源寺 臨濟禪本寺鳥取龍峰寺

參師堂 本辻堂也 青嶋

ル坂ノ長六町半又長谷坂湯村ハ温泉有テ四時ニ祭日ナリ村ノ中ニ小川十一町余御所歩行道ナリ
 通リテ民家兩側ニ軒ナラフ自國他國ノ人來リテコ、ニ合リ寄食シテ晝夜ヲ不分湯浴ヲナセリ湯脈不冷不熱清潔溫柔ニシテ香少ク諸病ニ功有ル事勝計スヘカラス就中瘧疾ヲ治ル靈効尤モスミヤカナリ此湯出生ノ時代知カクレ何ノ世ノ事ナルニヤ今ノ荒湯ト云ヘル入り込ノ側ニ老タル柳ノ樹アリシ由其株ノ朽タル坑ヨリ始メテ湯脈ヲ發シケルト是レ其根源ニテ今ニ傳ヘテ其湯井ヲ株湯ト云フトイヘリ其レヨリ次第ニ湯池ノ數多クナリトツ
 一ノ湯 西ノ山手ニ寄テアリ是ハ國守ノ浴玉ヲ湯ナリ
 二ノ湯 一ノ湯ノ東ニ並ヘリ以上禁湯錠湯ト云フ
 龜井殿湯 二ノ湯ノ東ニ隣レリ是ハ天正ノ末ヨリ慶長年中マテ龜井武藏守殿當郡主ノ時ノ禁湯ナリ今ハ入コミ湯トス
 荒湯 此湯ハ少レ東ニ離テ河岸ニアリ入コミ湯ナリ此湯室ノ東口ニ小キ湯壺アリ是温泉起源所謂株湯ナリ

中ノ湯二壺 荒湯ノ下十間許リニアリ上手ハ錠湯トス下手ハ入コミナリ

瘡湯 村ノ下モ外レニアリ二壺ニ仕切リテ惡病ノ者ト穢多トノ浴室トス

馬湯 是ハ荒湯ノ下流ナリ浴室ナシ
 此外内湯トテニヶ所民家ノ内ニアリ
中島屋角屋今皆湯中屋稱トス

御制札曰條々
 一 留湯ハ家中徒若黨下々入申間敷事
 附 惡病ノ者制禁ノ事

一 他國ノ輩尤不及申湯治の面々留湯の錠無滯廻可申事
 一 湯賃一七日壺人五分宿賃七分たゝへき事
 一 湯屋の内并町中無懈怠をうと可仕事
 一 宿借三候職兼約れ日限の外三日は可相待三日過におゐては餘人へ符し可申事

一湯治の草喧嘩口論有之刻ハ所の者出合扱可申事
 一他國の者に對し所乃もの不禮仕間敷候然上之喧嘩口論仕候共理非
 等同乃分え所のもの可爲越度事
 右此旨可相守者也

寶曆十年七月 日

御制札ノ外此地ニ定レル程

一入り込湯 油代一夜壹人壹文ヲ、

一木賃壹匁貳分

一旅籠貳匁

以上

湯谷村

戸數 七軒

氏神 新宮大明神 在吉岡村

惣佛阿彌陀堂

湯村ヨリ四町許リ南ノ谷ニアリ此谷ハ東ハ細見谷西ハ洞谷トノ間
 ニアリ湯谷トハ湯脈此谷ヨリ傳フト云ヘリ當村舊吉岡ノ出村ナリ
 シカ近比租稅ヲ分テ別村トナレリサレハ此里ノ土俗ニ民家ニ内佛
 ナリ齋ラス村ノ中ニ一草庵ヲ建テソレニ阿彌陀如来ヲ安置シ是ヲ惣
 佛ト崇テ信仰セリ

妙徳寺村

戸數 十五軒

氏神 沖ノ舟大明神 祭日九月二十九日

末神 松上大明神 荒神 稻荷

湯谷村ノ與四町許リ東側ノ山際ニアリ東ニ山越ノ路アリ口細見村
 へ八町西ハ洞谷村へ三十町ナリ村ノ名妙徳寺ハ古寺號ヲ呼ヘリ此
 寺何ノ世事ニヤ類類ノ時代不知山鏡モ不傳委事考へ難シ

双六原村

戸數 十三軒

氏神 荒神 祭日九月二十九日

末社 山ノ神

樂師庵 吉岡村寶泉寺持

妙徳寺ノ興十五町許リ東ノ山際ニアリ村ノ下ヲ東へ越レハ興細見村へ十六町余是ヲ梅ノ木坂ト云フ双六原ニテ柳ノ木谷ト云フ嶺マテ十二町余峠ヨリ三町余下テ興細見ノ下モニ出ス

矢矯村 上矢矯 中矢矯 下矢矯 庄ヶ谷無氏家

戸數 四十五軒 庵 二有上矢矯一字 中矢矯一字

氏神 妙見大明神 祭日九月二十九日

末社 山ノ神 荒神 白山権現 柁大明神

土産 岩茸

双六原村ノ興四町許リ谷ノ兩端ニアリ村ノ興八九町ニ毛無山ト云フ高山アリ其麓ヲ東へ越レハ野坂河内松上河内ニ二十五町餘所ナリ又村ノ下ヲ東へ越レハ興細見村へ七町ナリ毛無山ノ下手ヲ西へ越レ

ハ氣多郡末用谷へ三十町余也此坂ヲセンツカ此ト云へリ高草郡ノ境末用ノ鬼入道村へ二十二町ナリ但此矢矯在嶺十五町坂道也鹿野へ凡テ一里四町ナリ

柁嶽 無毛山ノ東腹ニ獨立セル巨岩ナリ文祿二年洪水ノ時土俗謂此岩ニ舟ヲ絆ケル故ニ柁岩ト云ヒ習セリト云へリ今祭祀シテ柁大明神ト崇無毛山ハ鷲峰山ノ東ニ並ヘル氣多高草兩郡界ノ高山ナリ東ハ野坂ノ河内ト當村ノ境ニアリ河内ニテハ燒押山ト云フ

大谷保 十個村

福井村 唐川

戸數 八十軒余 辻堂本尊

川役世伊古役九石四斗五升五合

氏神 天總日命六王神社 祭日九月二十日

池前山龍福寺 曹洞禪本寺氣多郡母不村大龍院

古城址 在坊已尾山

三津村ヨリ西へ十二町許池端ニアリ本ト岩本村ノ領分ナリ村ノ上ヨリ御熊村へ山道アリ長谷坂ト云二十二町許ナリ村ノ東五町許リ岩本村ノ境湖水へ突出タル山ヲ防已尾ノ城トイフ吉岡將監將城ノ跡ナリ昔ハ陸地ヲハナレタル山ナリシ由今ハ西ノ方陸地ツ、キニナレリ委ク別巻古城ノ部ニミユ

岩本村 田中

戸数 二十五軒

川役世伊古役四石九斗三升

氏神 末松大明神 祭日九月二十日 在大谷村

荒神

首塚 或曰貧母衣塚

福井村ノ東南へ八町池端ノ平地ニアリ其間ニ防已尾山アリ大谷村へ五町トス

首塚 村ノ前ニアリ今ハ篠竹生リ側石地敷ヲ安置セリ天正九年秀吉

公吉岡將監籠リ居ケル防已尾ノ城ヲ攻メ給ヒケル時數多ノ御人衆討死シケル中ニ御近習ノ貧母衣武者十三人ノ首ヲ斬テ安措シタル其誌ナリ此塚ニ恠異アリ暗ニハ靈火ヲ發スト云傳ヘタリ

松原村

戸数 三十軒 辻堂本尊樂師

川役三石一斗四升

氏神 末松大明神 祭日九月二十日 鎮座大谷村

火焰塚 號竹ノ宮

岩本村ト長柄川ヲ經テ東ノ田ノ中ニアリ其間二町許リナリ村ノ中ニ湯村ヨリ流ル、小川通りテ池ニ入ル是湯谷川ノ下流ナリ鳥取ヨリ吉岡湯村へ舟ニテ行ケハ當村へ着船ス是ヨリ湯村へ八町ナリ火焰塚 村ノ東田土ノ中ニ古松一株生タル一丘是ナリ松下ニ寶倉ヲ安ス竹ノ宮ト號ス此塚風雨アル夜ハ必ス靈火ヲ發ス故ニ火焰塚ト云ヒ習セリ何ノ世如何ナル故ノ塚トイフ事知ルモノナシ

六反田村

戸數 十三軒

氏神・末松大明神 鎮座大谷村 祭日 九月二十日

肥衣荒神 在丸山

古城趾 在丸山

松原村ノ上ニ四町許リ平地ニアリ岩本村ヨリ五町余湯村へ八町ナリ村ノ東ニ丸山城ト云ヘル舊墟アリ吉岡將監數代相傳フ居城ノ跡ナリ將監父春齊ノ時常城ヲ轉シテ裝上山ニ城ヲ築ケトソ委ク古城ノ卷ニ記ス

大谷村

戸數 十軒 辻堂本尊

氏神 末松大明神 祭日 九月二十日

林祥山禪福寺 曹洞宗本寺祀女護摩寺

六段田村ノ西五町許リ長柄川ヲ隔テ西ノ山下ニアリ岩本村ヨリ四

町余上ミナリ福谷へ八町トス

大畠村 梓谷 提見

戸數 三十軒余

氏神 天三社ノ宮 祭日 九月二十日

延喜式神名帳載之天日名鳥命神社是也

神主 在長柄村 宇田川氏

末社 山王社 八幡宮 稻荷

觀音堂

辨天社 荒神ニ社 妙見社 以上四社 在提見村

古城趾 二 在大畠提見 五倫谷 在提見

大畠村ノ上ミ一町許リニアリ此谷ハ洞谷ノ西ノ福谷ノ西ノ谷隘ニアリ吉岡湯村へ五町許リナリ村ノ東一町許リニ梓谷ト云フ支村アリ又其一町許リ與バ支村ヲ提見ト云ヘリ其レヨリ氣多ノ下モ光本村へ山越シ三十一町余ナリ道祖ノ此一ツ打越五町余福井村ノ谷へ

下ル向ヒ坂一ツ打越シ六町御熊谷ノ頭ニ下ル中坂一ツ嶺迄六町嶺ヨリ光本村へ十四町此坂ヲ岡谷越ト云フ氣多高草兩郡ノ境ニテ上ハ洞谷坂ニフ、キ下ハ母木坂ナリ故ニ是ヲ中道通リト云ヘリ

五倫谷 提見ノ與ニアリ昔此所ニ高野山ヲ移シテ數多ノ碑碣ヲ建フ中古ノ亂世ニ廢地トナレリ今モ地ヲ穿テハ五倫ノ碑石磊々トシテ出フ故ニ五倫谷ト云フトイヘリサル事モアリシニヤ田土ノ石垣ニ五倫ノ臺石多ク見ユ寺跡ト云フ所モアレトモ寺號モ傳ハラヌ昔シキ事ト見ユ又是ヨリ與十町余ニ石ニフ重リタルアリ其間ニ赤白黒ノ蛇三匹常ニ住ムト云傳ヘタリ近比禿倉ヲ建フテ辨財天ト崇メ祭レリ

古城趾 大畠村ノ後山ニアリ提見ニモアリ別卷ニ委シ

福谷村

戸數 五軒 辻堂

氏神 荒神 祭日

七本松

大畠村ノ東ノ支谷ニテ西側ノ山際ニアリ大畠ヨリ三町半ナリ此谷ハ大畠ト長柄トノ間ノ谷ニテ天三祇ノ宮ノ後口ニアタル小村ナリ長柄へ本道七町山越ハ四町許リナリ提見へ五町大谷へハ下モへハ町トス村ノ前ノ山鼻へ七本松トイフ古松アリ圍一丈五尺余根本ヨリ一丈許リ上リテ二俣ニ分レテ又一丈許リ上ニテ上手ノ枝ハ三俣ニ分レ下手ノ枝ハ四俣ニ分ル故ニ七本松ト云リ

長柄村

戸數 二十軒

氏神 長柄大明神 祭日九月二十九日

末社 荒神 若宮 八幡 荒神

名産 蠶 柿 燕柿 符器

洞谷ノ口ノ西側ノ山際ニアリ福谷ノ山東ニテ坂越三町許リ吉岡村へ六町ナリ此地生蠶ノ名産ナリ文録年中高麗障ノトキ郡主龜井武

藏守殿朝鮮國ヨリ盤ノ種ヲ取飯リ玉ヒ土地ヲ撰ミ此里ニウエラレケルトナリ今ハ昔ノヤウニハ生セサルナリ

瀬田倉村 上瀬田倉 遺平

戸數 十四軒

氏神 瀬田倉大明神 祭日 九月二十八日

末社 荒神 八幡宮

長柄村ノ奥五町許リ西ノ山際ニアリ是ヲ下モ瀬田倉ト云フ本村ナリ上瀬田倉ハ奥ニアリ景平ト云フ支村アリ此村ハ鹿野ヘノ本道ニテ吉岡湯村ヨリ十二町五十間其間ニ瀬田倉川アリ歩行渡リナリ

洞谷村 小河内 一ツ橋

戸數 二十軒

氏神 荒神 祭日 九月二十八日

末社 荒神ニ社 山神

庵 一宇 在小河内 破堂

古城趾 二ヶ所

洞谷坂ノ半腰西側ニアリ瀬田倉ヨリ良ノ奥ヘ廿三町二十間ナリ此山ハ氣多高草兩郡ノ境ニテ吉岡村ヨリ鹿奴ヘノ本道ナリ洞谷村ヨリ嶺マテ九町ナリ村ヨリ下ハ坂道緩ク吉岡迄凡ソ三十町余次第ニ下ルナリ氣多ノ方ハ急嶮ニテ到下ヨリ麓マテ九町許リナリ小河内ト云フ支村アリ村ノ上ヨリ左ヘ入ル小谷ノ詰リナリ洞谷河内ト云フ是ナリ洞谷ト號スルハ日本紀ニモ出タル地名ニテ上古ヨリ紛亂ナキ名所ナリ歴世考ニ詳ナリ

破レ堂 村ノ奥洞谷河内ト鹿奴道ト追分ケノ山裾ニアリ今ハ堂宇モナン平地僅ニ古キ推ノ木ノ下ニ五倫四基アリ昔此處ニ堂宇アリ後代修補ノ施主ナシ故ニ破レ堂ト云フトイヘリ五倫モ故アル古墳トミニ又古城趾アリ別卷ニ詳ナリ

野見ノ保 六個村 古記曰野見ノ四保和名鈔作能美

徳尾村

戸数 四十五軒

氏神 大野見大明神 祭日

延喜式神名帳載之 大野見宿禰命神社是也

攝社 稻荷 荒神二社

古城

古海村ト野坂川

此所云 徳尾川

ヲ隔テ西ノ平地ニアリ其間八町許リナリ川

上ハ島村川下ハ徳吉羅津ニ隣レリ此邊野見ノ係ト號スルハ昔ハ氏

神野見ノ宿禰ノ神領ナルヲ以テナリ日本紀ヲ考ルニ此命ハ舊出雲

國ノ人ナリ人皇十一代 垂仁天皇七年秋七月大和ノ國當麻ノ邑ニ

蹶速ト云強カノ人有テ能ク角ヲ毀鉤ヲ申恒ニ衆中ニ語テ曰ク四方

ニ豈我カニ比スル者アラヌヤト 天皇之ヲ聞群臣ニ詔シテ野見ノ

宿禰ヲ喚テ試ニ桶カトラシム互ニ蹶タリケルカ遂ニ蹶速ノ脇骨ヲ

蹶折亦腰ヲ踏折イテ之ヲ殺其勝タル實ニ蹶速ノ地ヲ奪テ野見ノ宿

禰ニ賜フト是本朝相模ノ始ノナリ同二十八年冬十月 天皇詔シテ
殉死ヲ止メ玉フ時ニ皇后曰葉酢媛瓊玉フ野見ノ宿禰織ヲ埴ヲ取テ
以テ人馬及ヒ種々ノ物形ヲ造作シ自今以後此ノ土物ヲ以テ生タル
人ニ更易テ於陵墓ニ樹ヨト後葉之法ト爲ス 天皇其功ヲ感シテ土
師ノ姓ヲ賜フハ是管家ノ祖ニテ野見土師ハ同姓ナリ凡ソ地名ハ神
社ノ名ニモトフクモノ多シ或ハ其地ヲ領知スル人ノ姓氏ヲ呼モノ
之ニ次ク是上古ノ例ナリ當國ノ内野見土師ヲ呼ノ郷村ノ名尤モ多
シ此地ヲ野美ト云ヒ祭神ヲ野見ノ神社ト號スルハ故アル事ナルヘ
シ

島崎村 或記ニ松上郷入

戸数 四十軒余

氏神 古記ニ牛頭大王

徳尾村ノ西十町許ニアリ

徳吉村

高野村之部

戸數 三十軒

氏神 松上大明神 祭日

此各堂殿アリ

古城趾 天馬驥 龜甲ノ石橋 五倫ノ檀

徳尾村ヨリ二町許リ西北ノ田ノ中ニアリ布勢ハ八町古海ヘ十町許
リナリ當村昔ハ嵐カ鼻ノ土手ノ内千代川ノ側ニアリシ由今モ其地
ヲ本徳吉ト云フ是其舊地ナリ中比此里ノ領主徳吉左近ノ將監彼ノ
地ニ城ヲ築キケル時在家ヲ今ノ處ニワツシテ其比新徳吉ト云ケル
トソ又中古ノ記録ニ野徳吉村トアリ或説ニ昔松上ノ神靈ノ崇リニ
因テ此郡中ニ栖ム人ナク草生レケリ荒野トナル其時ヨリ郡ヲ高草
ト云ヒ鄉村ノ名モ野ノ字ヲ用ヒタル多レ野坂野徳吉ノ類其故ナラ
ントイフカ按ルニ野徳吉ハ野見郷ノ徳吉ト云フ義ノ略語ナラシム
是ハ上郡ニ同名アレハナリ氣多郡ニ宿村ニケ所アリ勝見ノ郷ニア
ルヲ勝宿トイヘルニ義同シカルヘレ

天馬驥 村ノ北嵐カ鼻ノ土手ノ中程ヨリ布勢ハ十八町正直ニ通りタ

ル海道ノ名ナリ昔布勢城下ノ時東口ノ海道ニテ能作リタル道ト云

ヘリ又此海道ニ龜ノ甲ノ石橋トテ名ニオヘル橋アリ徳吉村ヨリ二

町許リ布施ノ方ノ井手川ニ掛レル是也一板石ニテ少シ中高ク龜ノ

甲ニ似タレハ名ク 寶曆年中僧嶽院君布勢山王社御指ノ月御馬ト御往來ニ

此橋ノ事陰徳太平記ニモ出タル舊迹ナリ永祿元龜ノ比徳吉將監布

施ノ屋形ヲソムキ鳥取ノ武田高信ト一味ナリシカハ布施ヨリ人衆

ヲ出シ徳吉ヲ攻ケルトキ此繩手ニ於テ數回爭鬪アリシ古戰場ナリ

或時布勢ノ軍兵徳吉勢ヲ追ヒ来リ龜ノ甲ノ橋ヲ踏越深入リシテ名

アル武士數多討死セリ其死骸ヲ瘞ミタル所ヲ五倫ノ檀ト云フ道ヨ

リ北ノ田ノ中ノ一丘是ナリ今五倫モ無クナリ唯塚ノ名ノミ殘レリ

古城 村ノ東千代川ノ邊ニアリ平地城主ハ徳吉將監ナリ 本ハ古城ノ 其

比野坂川今ノヤツニハ流レス徳尾ノ下ヨリ安長ノ村ノ後ロヲ過キ

テ千代川ヘ落ケル是ヲ西北ノ要害トシ東ハ千代川南ハ徳尾ヨリ野

坂川ヲ古海村ノ方ヘ切り流シ其新川ニ橋ヲ掛テ大手口トシ今謂徳尾川
 四方ニ大土手ヲ築廻シタレハ今ノ古海ノ穢多村及ヒ雁津村徳尾ノ
 森迄モ皆其藩ノ内ナリ安長ノ土手ノ折リ曲リ嵐カ鼻ト云フモ其比
 ヨリノ名稱トソ慶長年中龜井武藏守殿當郡主ノ時新田開作ノ目論
 ニ因テ徳ノ尾ヨリ北ヘ流レン古ル川ヲ潰シ古海ノ方ノ新川ヲ殘サ
 レケル今ノ徳尾川是也將監ハ舊國侍ニテ代々山名家ノ幕下ニ屬セ
 リ然ルニ永録ノ比武田高信ニ機關ヲ山名ヲ救リ高信滅亡ノ後藝州
 ノ毛利ニ屬シケルカ天正年中秀吉公采伐ノ時支カタク當城ヲ捨テ
 鳥取ニ籠城ス落城ノ後流浪シ近縣古市村ニ蟄居シテ外科醫師トナ
 リ零落セリ子孫ハ農人トナリ數代相續シケルカ近比鳥取ニ出テ商
 人トナル今河端四丁目ニ住居ス古市屋ト云者其末トキコユ

安長村

戸數 古記ニ七十五軒

氏神 牛頭天王 祭日

肥衣荒神 祭日 八月二十八日

天神 祭日 九月二十五日

高懸山東圓寺 曾洞禪本寺鳥取天徳寺

伏野長者之墓 土人今雨池中ノ宮是也村ノ西一町許リニ在リ

古城趾

徳吉村ノ北ニ隣テ田ノ中ニアリ千代川ノ西端ヨリ四町許リ西トス
 伯耆海道ニテ鳥取城本ヨリ十七町二十四間ト云ヘリ其間ニ千代川
 舟渡シアリ田ノ嶋村ヘ川越ハ町湖山村ヘ三十町余ナリ此川涯シノ
 高堤ハ龜井武藏守殿ノ普請ノ跡ニテ上ハ古海ヨリ下ハ秋里ノ三嶋
 ニ至レリ其濫觴ヲ尋ルニ此邊ニテ此千代川ヲ邑美高草兩郡ノ界ト
 ス昔ハ川ノ兩方ニ水ヨケ無ク洪水出キタレハ河脉定マラス兩郡ノ
 田土ニ流レ入テ水損大方ナラス其比邑美郡ハ池田備中守殿領内ナ
 リシカ川筋所ヤニ堰埭ヲ製ヘ石垣ヲ築出サレケレハ水脉高草ノ方
 ヘツ入リケル武藏守殿支ヘス堰ヲセキケル程ニ次ノ水又邑美ヘ入
 リケレハ其ヨリ互ニ負ケス劣ラスト兩方此川普請ノ隙ナカリケル

カ後ニハ備中守殿ヨリ橋本村ノ山際ヨリ大防河堤ヲ築出シ田野島
 村ノ下モ外レ迄凡ソニ里許リノ間築キ廻サレケレハ龜井殿同クニ
 レニ向ヒ合テツ築カレケル双方此川筋ノ租税此川普請ニ費ヘケル
 トツ此事ニ就テ兩家ノ言分多端ニテ遂ニ矛盾ノハシナシケルカ
 幾程ナク兩郡主國ヲ去王ヒテ今ハ跡ナキ昔語り述ノミ残リテ末ノ
 國守ノ幸トナル鶴蚌ノニノルハ漁人ノ利ト云フヘキニヤ此昔ノ跡
 ナ傳ヘ聞轉變感慨ノ泪留カタント民談記ニ書ルモ理リニツ覺ヘケ
 ル

古城趾 街道ノ北側茶屋ノ後ロニアリ城屋舗トテ百姓ノ居宅トナリ
 其構ノヤウス明カニ知レカタシ昔大善多安長ト云武士ノ城趾ト云
 傳ヘタリ事ハ古城
即ニミニ舊シキ事ニヤ時代知レズ當處ヲ安長ト云フハ其
 碑ナリト云リイフカシ今田土ノ字ナニ念佛免ト云フアリ里民口碑
 ニ當時領主ノ按ニ正月初メテ民家ニ於テ念佛ヲ唱ス事ヲ停止ム故
 ニ村外ニ小屋ヲ掛ケ村民其處ニ會マリ初テ念佛トナヘテ其ヨリ已

レ已レカ括カニテ唱名セントナリ其處ハ當村ト秋里ト南限ト三方
 ノ突合ニアリ狐カ隈ト云ヘルモ其邊ニアリ皆ナ其比故アリテ名ツ
 ケ、ルトソ

水塘 渡レ場ノ土手ノ打越道ヨリ南ノ田ノ中ニ水塘ニツアリ享保丁
 酉年洪水ノ時千代川ノ水強ク嵐カ鼻ノ土手ヲ突切ントス若シ此破
 レナハ安長村ハ一字モ残ラス流レ去ヌヘカリシヲ藤綱ト云ヒケル
 桶力ノ嗚呼ノ者彼ノタンホリ上ノ堤ヲ穿壞テ大川ノ水ヲメキ落シ
 ケル其時水溜リナリシカ今ニ至テ七十余年歳々埋メ出セトモ其跡
 未タ没セス

秋里村

戸數 古記ニ九十七軒

氏神 三嶋大明神 祭日九月十四日

同 荒木大明神 同上

道場庵 本尊甚像阿彌陀馬取妙圓寺持

紫雲山若山寺 淨土宗末寺鳥取本願寺

古城趾 三嶋ノ陣所 大星ノ橋舊跡

土産 三嶋竹 胡蘿蔔 名産ナリ 鱒 鮭

安長村ノ北ニ隣テ其間六町許リ千代川ノ西端ニアリ此地胡蘿蔔ヲ種ル國中ノ名産トス當村ハ舊城跡ニテ地面尤モ高シ文祿ノ洪水俗高麗ニモ別條ナカリントソ

古城趾 村ノ敷地平城ナリ中古秋里玄蕃ノ頭師永ト云武士ノ草創ナリ後醍醐帝以前ヨリ當處ヲ領知シ居城ノ地名ヲ以テ苗字トセリ其後山名氏當國守護ノ時幕下ニ屬シテ當城ニ在ル事二百六十年ナリ數代ノ名家ナリシカ天正ノ初ニ秋里名家ノ武威衰エ一國過半藝州毛利家ノ指揮ニ從ヒケル其比玄蕃ノ允ト云ヘルカ城ヲ法美郡杉崎村ノ妙見山ニ移シ當處ニハ水越村在江津院田所村百姓ヲ寄住居ナサンメタリ然ルニ天正九年秀吉公當國入伐ノトキ無人ニテ杉崎籠城ナリカタク妙見山

ヲ捨テ鳥取ノ城ヘ籠リケルトキニ當城ニハ秀吉公ノ麾下杉原七郎左衛門陣ヲ張テ伯耆海道ヲ押ヘタリ鳥取落城ノ後玄蕃允ハ藝州ヘ趣キ領知ヲ得テ今ニ毛利家ノ被官タリトナリ當村敷地ニ本丸ニノ丸三ノ丸出張倉屋敷七軒屋通り斷町心齋橋通りナトイフ字ナハ其比ノ構ノ名殘ナリト村ノ後口ニ鬼若池ト云フアリ玄蕃允馬ノ口取鬼若トイヘルカ敵ト組討シケル舊跡トイヘリ別卷古城ノ部ニ詳ナリ

三嶋ノ陣所 秋里ノ出張ナリ秀吉公ノ麾下淺野彌兵衛陣ヲ張テ藝州ノ後詰ヲ用心シ加路ノ湊ヲ押エタリ

大星ノ橋 村ノ前千代川ノ涯ニ其跡アリ大星ノ橋ト號スルハ此所ヨリ川向丸山ノ大星邑其郡丸山ノ茶屋ノ後ニ其ト云フ所マテ掛レル長橋ナリ是ハ布勢ノ城下全盛ノトキ巨濃高草兩郡道路ノ大橋ナリントソ陰徳太平記ニモ此橋ノ名出タリ

三嶋大明神 村ノ下千代川ノ側鬱蒼タル大竹ノ林アリ土人三嶋ノ藪

トイヘリ其内ノ叢社はナリ加露ノ神社ノ縁起ヲ考ルニ三島明神ハ
 祭神大日靈女ノ尊ニテ上古ヨリ加露ニ鎮座アリ 文武天皇御宇ニ
 神領二百十石餘寄附セラレテ加露秋里會津南カ隈晚稻五個村ノ惣
 鎮守トス然ルニ天平年中吉備ノ具備入唐飯朝ノ時難風ニ遭テ加露
 津ニ漂着アル其因縁ニテ後吉備公ノ靈ヲ加露ノ津ニ祭祀セリ其時
 三嶋ノ神宮ヲ此地ニ遷セル由ミユ然レハ此所ニ鎮座ナルモ凡ソ千
 年ニ餘レリ往古ハ赫々ダル大社ナリシニヤ明神ヨリ三町許リ宛方
 ニ丁願山大衆院ト號スル三嶋ノ神宮寺アリト縁起ニ記セリ是ヲ以
 テ考ルニ中古郷村ノ記文ニ三嶋ノ社ト記セルアリ凡ソ昔寺社ヲ以
 テ名トスルハ其寺社ニフキタル聚落ト云ヘハ中比迄ハ大社タルニ
 必セリ濱坂村ノ中洲ニ鎮座アル辨財天ノ社ハ此三嶋ノ神ノ廟所ナ
 リト是モ縁起ニ見エタリ

江津村 古記作會津

戸數 六十軒

氏神 武王大明神 祭日 九月二十三日

觀音堂

秋里村ノ下十五町許リ大川ノ岸ニアリ晚稻村ノ少シ東ニ隣レリ春
 秋ニハ鱒鮒ヲ獲ス夏ハマキ網ニテ鱒ヲトル

南北ノ保 八個村今南カ隈晚稻倉北三個村ヲ増テ十一個村ト爲ス

吉山村

戸數 五軒 辻堂 地蔵

氏神 岩室大明神 祭日 九月二十五日

延喜式神名帳載之伊和神社是也

安長村ノ西ニアリ其間七町三十間ト云ヘリ甲山村ヨリ北へ六町十
 リ伯耆街道ニテ民家ハ道ヨリ南ヘスサリテ孤山ノ麓ニアリ古記ニ
 ハ吉里ノ保トアリ或説ニ此村ハ百七八十年以前ノ新村ナリ昔吉里
 ト云ヘル村有ケル其迹ヲ興シテ山ニカタヨリ栖ヲナセハ吉山ト云
 ニヤト然レハ光政君ノ時ノ新村歟想フニ天正九年秀吉公鳥取城攻

ノトキ南條勤兵衛吉山ニ出級シテ伯耆街道ヲ押ヘタリトナレハ其
比ヨリ吉山ト云フ名ハアリントオホユ又里藪ニ往古伏野長者ナル
モノ田ヲ植ケルトキ日輪西ニ傾キケレハ長者此山ニ登リ扇子ヲフ
ケテ日ヲ招キカヘレケル其天罰ニ因テ長者カ子孫癩病ニツミテ絶
失ツレヨリ山ノ名ヲ癩山ト呼ケルトツイフカシ

足山村

戸數 十四軒

氏神 荒神 祭日 九月二十八日昔ハ五日

同 岩室大明神 祭日 同上 鎮座吉山村

觀音堂 本尊 藥師 觀音

古城趾 在北尾山

吉山村ノ西へ六町北尾山ノ麓ニアリ湖山村ト求ニ指シ向ヒナリ舊
ト吉山ト一邑ナリ近世分レテ本村トス村ノ後ロノ山ヲ北尾山ト云
フ其山嶺キ南ノ鼻ニ古城跡アリ山名ノ軌權正木大勝縣ナリ山ノ名

又后勢山トモイフ北ノ山鼻ニ古キ五倫ノ塔アリ城主ノ墓跡仔細知
ルモノナシ

甲山村

戸數 二十軒

氏神 藏王権現 祭日 九月十九日

足山村ヨリ西へ八町許リ平地ニアリ畠崎村へ一町余布勢村ニ九町
許リナリ

布勢村 五軒屋

戸數 三十軒余

氏神 山王権現宮 祭日 九月二十四日

祭神 二十一社

神 主 宇田川氏

保比呂比乃五倫

恵心僧都之像 同 墓

高野郡之部

紫雲山極樂寺 津土本寺鳥取玄忠寺

築山之觀音堂

古城趾 天神山 橋跡 九相橋 大橋 鐘ノ手橋 築地ノ橋

寺跡 功徳院 古學院 勝禪院 千林寺

正木カ鼻之要害 經水池 六地藏 首塚

卯山

甲山村ノ西九町卯山ノ麓ニアリ山ノ後ロハ淺々タル湖水ニテ風景奇勝ノ地ナリ此地ハ中古當國ノ守護職山名伊豆守時氏五世ノ後左衛門佐藤豊文正元年巨濃野ヲ轉シ當所天神山ニ城ヲ築テ移往セラシ其レヨリ中務大輔豊國マテハ代ノ間連綿ト相續アリシ一國ノ都府ナリシ也其比國中ノ武士參勤交代シテ繁昌セシ處也相傳テ云フ當時城下ノ構ハ今ノ倉見村ノ山鼻ヨリ掘テ湖山村古川ノ池口へ通シ橋ヲ四ヶ所ニ掛ケルト湖山村ノ口ニカ、レルヲ大橋ト云ヒ東表大手口天馬ノ橋ヲ九相橋ト云フ一説九相橋并三谷ノ方ニ鐘ノ手

橋アリ倉見ノ前ニアルヲ築地橋ト云フ堀ヨリ内ハ皆ナ町小路ニテ山王ノ山ノ後ロノ切り平シタル段々ハ侍屋舗ノ跡ト云ヘリ南ノ山鼻ヲ正木カ鼻ト号スルハ長臣正木大膳構エノ跡ナリ西ノ尾ニハ家老朝日某出張セリト扱谷隘々ニハ九院ノ佛閣功徳院古學院勝禪院仙林寺以下五院寺號不傳豊ナナラヘタリ然ルニ天正元年國守山名豊國入道禪高府ヲ鳥取ニ移シ久松城ニ轉住アリシ以來桑田碧海須臾ニ改テ當城ハ無主ノ廢丘トナリ惣堀ハ何シカ井手川ト變シサシモノ名橋モ一跨ノ圯トナリ又其初文正ヨリ天正ニ至テ百有餘年昔ノ家中屋舗及ヒ寺町繁治町上薦小路傾城町經水ノ池ナント云ヘル城下ノ地名モ今ハ田圃ノ字ナニ殘テ聞ク人懐古ノ泪ヲ催スルニミ

古城 天神山ニアリ右ニ記ス如ク文正元年山名左衛門佐藤豊ノ草創ナリ勝豊ハ中務ノ大輔熙貴ノ子ナリ元祖時氏ヨリ熙貴マテ四代ノ間巨濃郷ニ在城セラル其子勝豊此地ノ開祖ナルヲ以テ布勢左衛門ト稱シケル城山ノ高サ十八間構へハ東ヲ面トス孤山ナレトモ段々

ニ切り平シ後ロニ湖水ヲタ、へ前ハ渺々タル田野ニ倉見ノ畷ヨリ
湖山村マテ掘ヲホリテ惣曲輪ノ要害ス是ヲ沙入レ川トイフ山頂ニ
大井津アリ今ハ廢井ナレトモ昔ハ其深サ知ルヘカラスト側ヲ磐石
アリ是武答天神鎮座ノ跡トイヘリ委シク古城ノ部ニミユ

山王大權現 卯山ニ鎮座アリ勸請ノ時代ヲ尋ヌルニ當社ニ傳ル記録
モナシ又里誌モ詳ナラス當國ニ傳ル地圖ノ記文ヲ考ルニ洛東清水
寺ニ祭祀所ノ山王二十社ナリ中比國ノ屋形山名氏此地天神山ニ
城ヲ築レケルノ初メ之ヲ勸請シ永ク一國都府ノ鎮護トス則チ八王
子二十社ト同神タルヲ以テ其四邊ノ名稱ヲ此地ニウツセリト當
山ヲ卯山ト号スルハ比麻山ノ表也麻山舊震且之四明之洞ヲ移ス震
ノ守易ニ於テ東方ニ之ヲ立フ東方即チ卯ナルヲ以テ卯山ト名クト
又麻山ノ東ニ金剛石アリ八王子ノ神其上ニ鎮座アリテ天下ヲ守護
シ王フ此ノ地天神山ニ巨岩アリ之ヲ表ス而シテ此山ヲ九相ノ地ニ
クトフ九相ハ所謂天然ノ北ニアル國ノ名也三段ニ地ヲ重テ九重ニ

城ヲ築テ皇居トシ武答之天神鎮坐アリ因テコレニナラヒテ城ヲ築
キ天神社ヲ造ル大手ノ橋ヲ九相ト号スルモ其故也九院ノ佛圖戒定
慧ノ三學モアリ湖水ハ以テ止觀海ニ譬ヘタリ氣多ニ志加奴アリ近
縣ニ長柄村アリ是志賀長等ヲ表ス戒定慧之箱ヲ納ル所ヲ箱崎ノ松
原ト云フ即チ湖南ノ松原村是ナリ三津村ハ三ツノ光明出ル所ニ比
セリ麻山開ケル初メ山ノ乾ニ當テ待教ト云ヘル優婆塞來テ草創ス
此ニ卯山ノ乾ノ方ニ一邑アリ濬口トイフ一人ノ優婆塞出テ總拾イ
之塔ヲ建フ祇園ノ緣起ニモ天然ノ北ニ有國名九相其國有國名吉祥
園内有城其内有王名武答天神姿婆竭羅龍王女爲名生八王子其眷屬
ハ萬四千六百五十四人也此新羅大明神ト號スル是也ト右此記文ハ
興禪若ノ御時鳥取城下三里四方ノ地圖ヲ命シ王ヒテ其所々ニ傳
アル故事ヲ註セルモノナリ尤モ錯亂或ハ脱字等有テ通シカクキ事
トモアレトモ率子此クノ如ク因テ殘カニ添削ヲ加ヘテ曉ヤスク互
見ノ便リトス是昔ヨリ其地ニ傳ル所ノ實事ナルヘシ是ヲ以テミレ

ハ天神山ト號スルハ天竺ノ故事ニテ武尊天神ヲ祭レルナリ然ルニ
 菅靈鎮座ノ故ノ名ト思フハ誤リナルヘシ又九相橋ヲ九艘橋ニ作り
 此橋下ヲ舟九艘並ヘ通フ故ノ名ト云フモ附會ノ説ト謂フヘシ又山
 王社ヘハ往古鳥取令ノ元魚町三町目東側松原市三
即原舖ニ鎮座アリ何ノ比
 ニヤ布勢村ニ遷座シ玉フト普ク刈民ノ口碑ナリ其比祭祀ノトキ神
 輿休メ奉リシ所トテ今ニ田中村田土ノ中ニ空地アリト云リ此等ノ
 因縁ヲ以テ魚町ノ商家ハ當社ヲ信仰スル事今ニ及ヘリト此説ヲ考
 ルニ光政君ノ時ノ事ナラン歟松洲ヨリ營國ニ移リ玉ヒテ鳥取城下
 普請ノトキ所々ニ神宮アリ其街心ニアタル所ノ神跡ハモヨリモヨ
 リニ社地ヲ轉シラレン事アレハ魚町ノ山王社モ布勢ト同神タル故
 相殿ニ祭祀タルナラン歟勝叟天神山草創ノ時遷サレシナラハ今ノ
 魚行町ノ者ノ知ルヘキヤツナシ

總拾ヒ之塔 昔ハ山王ノ社前ノ松原ノ道ヨリ北ノ方ノ田ノ中ニアリ
 ソト近年社司ノ後園ニ安ソヌ或説ニ延喜式神名所謂天總日ノ命神

社ト云ヘリ按ルニ其形代寶經印塔ナリ五倫寶經印塔ノ類ハ淨園ノ
 説ニ出テ神道ニ用フヘキ謂レナシ妄説ナリ素ヨリ右記文明ナルヲ
 以テ知ルヘシ總日ノ命神社ハ近縣福井村ノ氏神是ナリ別卷神社考
 ニ詳ナリ

倉見村

戸數 九軒

氏神 位明大明神 祭日 九月二十一日

庵 本尊

布勢村ヨリ西ヘ十一町許リ池端ノ山下ニアリ但シ山越シハ五六町
 ナリ高住村ヘ二十五町湖山村ヘ十三町許リナリ當村ハ湖山村ヨリ
 分レテ別村トス

三谷村 東三谷 中三谷 西三谷

戸數 二十軒

氏神 葛王大明神 祭日

高草郡之部

へモ五十町ト云へリ村ノ西ニ湖水アリ湖山池トイフ池後ニ兩河アリ東ハ古ル川西ハ新川ナリ新川ハ享保二年飢饉ノ時郡代役米村所此川ヲ掘テ郷民ノ飢饉ヲ救ケルトツ村ノ半南ノ端ニテ古ル川ニ合テ村ノ東外レ伯洲街道ヲ横流レシテ加露村ニテ湊川ニ落合ナリ

湖水 徑リ凡ソ五十町周回百五十町余トイヘリ和漢三才圖會因幡國ノ條下ニ湖水アリト記セルハ此池ノ事ナルヘレ池邊ノ村々池瀬ス經鮒鱒鰻鮠等尤モ多シ皆州昔ハ鯉ナカリシトツ興禪若師時山州淀川ノ鯉魚一千個取寄玉ヒケルニ生タルモノ四百個余リ有ケル其ヲ此池ニ放テ玉ヒケルソレヨリ國中ニ鯉多シト云傳ヘタリ

霞ノ里 名所ナリ或ル歌書聞書ニ今ノ湖山村ナリトアリ按ルニ今湖山村ト云フハ瀧口宇文兩村ノ總名ナリ古ル川口ニ屬ルヲ瀧口トイヒ産水井アル所ヲ宇文トイヘリ即チ産水ト云フノ仮書ナルヘシ兩村トモニ方言是レ舊霞里ナリ天文年中山名氏ノ時故有テ宇文瀧口兩村ナラヘテ湖山ト改ム爰ニ於テ霞ノ里ノ名カクレタルナラシム今

宇文瀧口ノ名モ亦之レヲ稱スルモノ希ナルカ如シ祐子内親王歌台ニ和泉式部

春くれば花の都をみても猶霞の里に心をぞや

此歌増補歌枕秋之寝覺卷第八常陸國ト記セリ按ルニ常陸ニハ霞ノ浦トコソ聞フレ霞ノ里ヲ詠シハ未ダ聞ス此歌枕ハ明和年中ノ新刻ニテ新ニ加ヘタル名所多シ此歌其新ニ選メル圈レヲフケタレハ諸國ニ今霞ノ里トイヘル名所ナキ故霞ノ浦ニ屬テ常陸國ト註セルナラシ素ヨリ和泉式部此地霞ノ里ニ出生ノ遺趾分明ナルヲ以テミレハ歌ノ言葉トイヒ古郷ヲ思ヘル意深切ト謂フヘキニヤ

大江ノ定基ノ屋舖 和泉式部屋敷トモ云傳ヘタリ新ノ川ノ池口ヨリ西ヘメクレハ山鼻ヲ檢ク切り落シタル所アリ小巖カ鼻或ハ崩カ岸崩カ崩 ナンド云フ其山上ナリ昔和泉式部ノ親ノ住ケル所ト云ヒ傳ヘヌソレヨリ栖岸寺ノ後口ノ方ヘ引廻シテ皆ナ其ノ構ハノ内トイヘリ

和泉式部産水井 新川ノ北池ノ下ノ向フ西角ノ茶屋ノ後ロニアリ
 昔ハ板屋某ト云者ノ屋舗ナリ古キ井ナリ長サ六七尺發四尺許深四五尺 和泉式部産
 湯ノ水ト呼ヒ傳フ式部生レケル時産湯ニ汲ミケル井ナリト潔白ニ
 レテ早魃ト雖トモ水涸事ナシ常々夕、エテ平地ニ湧ル村民是ヲ日
 用トセリ今此地ヲ宇文ト云フハ産水ノ因テ生スル假書ナルヘシ按
 ルニ和泉式部當國ニ生レケルト云フ事古書ニ見ヘストイヘトモ法
 美郡經儀ノ辨谷村實生山岡城寺大同元本尊千手觀音ノ縁起ヲ考ル
 ニ安ノ昔大江ノ定基因幡ノ任ニテ下リケル時子無キヲ此觀音ニ
 祈リテ一女子ヲ誕ク和泉式部是ナリ其住ケル所ハ高草ノ湖山ニア
 リト又謠物北ヒ大夫流仕舞付百番之内誓願寺問語ニ曰ク和泉式部ト申スハ因幡國
 ノ人ナルカ和歌ノ道達者ナル故召ノホセ給ヒ上東門院ニ召ツカハ
 レ給ヒタルト申ス以下トアレハ兩説以テ徴トスルニ足レリ但シ天
 安中大江定基因幡守タリシ事國史ニ見ヘズ按ルニ藤原抄納言以上
 左邊ノトキ諸國ノ權守ニ任ンス是ヲ貶謫ト云フ有爵或官ナリト

アリ此貶謫ノ事諸國史ニ漏レタル少ナカラス定基當國任ノ事サア
 ル故ニテトモアルニヤ又拾芥抄ニ和泉式部ハ大江雅政ノ女母ハ越
 中守保衡女也和泉守道貞妻ナルニ仍テ和泉式部ト云フト然ルニ
 後水尾院御講釋飛鳥井雅章卿問書ニ和泉式部ハ大江雅政女トアレ
 トモ大江氏ニ此雅政カ傳ミヘストアレハ縁起ニ定基ト云ヘルハ
 據ナルヘシ又日本史ニ定基ハ阿保親王五世中納言維時ノ孫ナリ國
 寄頭三河守從五位下長保六年入唐寛和二年六月出家ス法名寂昭院
 圓通大師トアレハ系圖ニモ明カナリ但レ定基初名雅政ナルモ知ル
 ヘカラス民談記曰和泉式部當國ニ生レケルト云フ事古書ニテモ見
 ヘス其謂レモ聞カス丹後ヘハ藤原保昌ニ具セラレ下リケル事アレ
 トモ當國ニ住ケル事ハ聞カストアルハ誤レル上ノ證トモ明カナレ
 ハ穿鑿足サルナルヘシサレハ美濃ノ國可兒ノ郡井尻村トイフ里ニ
 和泉式部屋舗ノ跡トイヘルアリ式部此所ニ身マカリシトテ墓ノ誌
 アリ石碑自然石高五尺八寸法名專意法心以下文字漫滅假似表ノ方右ニ年號寛仁三

己未天左方ニ歌有り

ひとりさへ渡ればしづむうきはしにあとさるひとははこぼしとしまれ
ト彫刻セリ是辭世ノ歌トイヘリ古キ道中記ニモ此所ニ和泉式部屋
鋪アリトアレハ髓ナル舊迹ナリ井尻村ハ本曾街道御嶽ト細久手ノ
間ツトフ坂面ノ麓ナリ寛政七年乙卯ノ夏予東武ニ趣キシトキ此所
ヲ通リテ其地ノ跡相ヲ撰寫セリカ、ル事モアレハ書ニナキ事トテ
一槩ニモ論シカクシ小武部モ當國ニ出生セル其舊跡モアリ小武部
守歌多部野野
ノ條下ニ記ス往事今ヲ以テ計リ知ルヘカラス諸史録ノ事繁キ和泉式
部カ事ノミニアラヌ漏レタルモ多カラム

同胞衣塚 古ル川ノ池口浦上山ノ麓ニアリ道ヨリ五六間山手ノ畑中
ナリ星霜モノアリ荆棘ノ中ニ埋レテ誌レモ明ナラスカ、ル名人ノ
古跡カクナリユク事嘆息ニ絶エタリ予里民ニ計リテ其地ヲ買求メ
テ其誌ヲ建ツ唯是懐古ニ止マサルノミ
和泉式部同胞衣塚記並銘

是和泉式部生時埋其同胞衣之處也式部者大江定基女弟和泉守滿道
貞象以故稱和泉式部因幡州高草郡湖山有大江氏遺趾相傳式部生
于此 後一條帝時以善和歌 召待上東門院稱辨内侍同胞衣塚旁可
二百步有産水井湖山瀆湖本名霞里鄉産水名與遠為地名部曰宇文
宇文方言産水也天文中州改山名氏有觀賞於宇文瀆口之濱乃使二
村專湖中之利遂谷二村改名湖山銘曰

日月逝矣 千歲誰傳 春霞 曲
遺響不休

天明七年丁未五月朔日

蕃侍 啖

恭庵 安部 惟親 識

因幡小鍛冶之屋鋪 新川池口ノ上ノ山上ニアリ右ニ云和泉式部屋鋪
ノ境内ナリ此鍛冶同銘三代アリ景長ト稱ス系圖ハ粟田口ニツ
當州ノ中四ヶ所ニ屋敷ノ跡ト云フ處アリ初代ハ法英郡守伊山
其跡アリ是ヲ宇倍ノ小鍛冶トイフ當村ニ住ケルハ二代目ト云ヘリ

二代目ハ同郡味野郷竹生村ニアリ是ヲ竹生小鍛冶トイフ又ハ東郷小治田谷ニモ其處ヲ鍛冶屋村ト云ヘルコトニテ打物セシテ寺垣打ト云フ是四代目幸長ト云フ是歟但シ弟子ナルニヤ當村ニ住ケル時代明カナラス其比小鍛冶カ詠草トテ一首ノ狂歌主人ノ口碑ニ殘レリ

浦嶋カ玉手筈にはあらぬともわきてくやしき鍛冶カ節會酒

トナン聞ヘシ是ハ景長殊ノ外ナル酒好きニテ初春ノ設ケニトテヨキ酒ヲ貯ヘ置ケルカ春ヲモマタテ無ナリシカハ斯ハ詠ケルト云傳ヘタリ

千猫 當村ノ民家ニ所持セリ是ハ昔伏野長者ノ娘寵愛レケル猫ト云ヒ傳ヘタリ彼娘不慮ニ死ケルカ猫モイク程ナク行術知レスナリメ其後湖中今謂フ猫嶋ノホトリニ沈ミ死居ケルヲ取上ケケルカ年經ヲ乾カクマリケルトツ以前ハ此國ニ何ノ沙汰モ無リケルカ延享ノ比備前ノ岡岡山ノ家中ヨリ當村千猫ノ事尋來リシカハ其レヨリ國

中ナヘテ流布レケルナリ今ハ猫寮師ト崇慕ノアレル時ハ此猫寮師ノ咒咀ノ神符所持スレハ蕨藤スト云テ諸人其符ヲ乞請ケルサレハ長者ノ娘ノ飼ケル猫ノ湖中ニ死ケルト云フ事ハ今猫嶋ノ名アレハサル事モアリシナラン歟其時代ヲ考ルニ長者ハ娘ノ菩提トシテ帝釋ノ像ヲ造リテ摩尼山與ニ安置セリ其後 仁明帝五十ノ承和年中比叡山第三ノ座主慈覺大師摩尼寺ヲ開基シ玉ヲ由縁記ニミユ承和ヨリ今ニ於テ凡ソ九百年ナリ彼ノ娘死ケルハ其先トアレハ霜星カク舊シク其死骸ノ存在セルモイフカシキ事トモナリ或説ニ此猫ハサヤウノ事ニアラス寒中ニ死シテ自ラ千カクマレルヲ長者ノ事ニ附會シテ云ヘルナラントモ云ヘリサレトモ當國ニ知ル人無リシチ備前國ニ聞傳フルモ亦不審ナリ想フニ光政君此國ニ御座シ時ヨリノ其沙汰アリシモノニヤ如何トモ今考ヘカクシ

經塚 伯耆街道村ヨリ西ヘ十町余リ沙漠ノ中カニアリ道ノ左右ニ古松生タル兩丘是ナリ是ハ伏野長者供養セシ經塚ト云傳ヘタリ人足

ヲ一里塚ト云フハ間遠ナリ里堡ハ前ニ記ス村ノ東ノ口土橋ノ涯ニ
アリ

三洋村

戸數 古記ニ三十軒 池ノ川役ニ石九斗三升

氏神 荒神

古城趾 在三洋カ崎 手引ノ松之舊跡

瑪瑙石 在龍カ崎

福井村ヨリ北へ十四町池ノ西端ノ山際ニアリ伏野村ヨリ十三町南
ノ後ロニアタレリ湖山ヨリハ西へ五十町トス此村モ池獵ス村ヨリ
東ノ山鼻ヲ龍カ崎トイフ直下九重ノ淵ニ臨ム鯉船ノ属多ク此町ニ
集ル冬ハ猶多レ又此崎ニ瑪瑙石アリ山上ヨリ出ル物石薄クシテ玉
トナセルモノ希ナリ水中ニヨキ石アレトモ底深クシテ容易得カタ
シ土民其實ヲ知ス燧石トナシ此石ヨリ出ル火ハ火雖無レトテ散々
ニ取盡シテ今ハヨキ石マレナリ

古城 村ノ南湖水ニ突出タル山鼻ヲ三洋カ崎トイフ其處ニ秀吉公本
陣ノ迹アリ天正九年吉例將監籠リ居ケル防己尾ノ城ヲ攻玉ツ時ノ
向ヒ城ノ跡也其時秀吉公小松ヲ一株植玉ヒケルカ程ナク成木シケ
レハ是ヲ太閤手引ノ松ト呼ケルトナン然ルニ無道ノ柚人伐捨テケ
ル由氏談記ニミユ此類所々ニアリ可惜今ハ其跡タニモ定カナラス

南隈村

戸數 二十三軒

氏神 岩崎大明神 祭日九月二十日

加露村ノ南八町許リ田ノ中ニアリ江洋村ヨリ十五町ナリ安長村ヨ
リ加露村へノ海道ニテ村ノ中ヲ往來ス村外レニ古タル松二本アリ
昔池田附中ノ守殿扨從二人討果レケル其跡ノ誌シトイヘリ其邊田
ノ宇ナ二十九二十内新田卒都婆ヲ書タ幽靈田ナト云ヘルアリ十九
二十トハ其二人ノ生年ナリト云ハリ

晚稻村

戸數 十九軒

氏神 伯王大明神 祭日九月二十日

祭師堂 本尊祭師本佛座像

加露街道ヲハナレテ東北ノ田ノ中ニアリ南カ隈ヨリ北へ本道七町
余畔道ハ四町許リナリ東ハ江津村西ハ加露村ナリ行程各八町トイ
ヘリ南カ隈晚稻此兩村ハ本加露村ノ内ナリレ由今別レテ皆ナ本村
トス

祭師堂 村ノ南外レニアリ昔此處ニ寺アリ其寺ノ本尊ト云ヘリ 座像本佛

目蓮花座至後 舊シキ事ニヤ寺號モ傳ハラヌ其境内ヲ堂屋鋪ト云ヘリ

昔ハ繁昌ノ寺ナリシニヤ萬人坑アリ五倫ノ碑碣磊阿トシテ其數ヲ
シラス或時ハ太刀鏡其外種々ノ物ヲ掘出セリ

加露村 今云四百二十三軒本網師屋十一軒
廻舟三十二艘御百九十軒

戸數 古記云 地方 四百四十四軒
洋 二百四十軒

久七云 地方トモニ凡八百軒許リ

氏神 神明宮 祭日 上分祭之

同 加露大明神 祭日 下分祭之

三代寶錄載之賀露神社是也

社領十九石七斗二升 神主

攝社 水戸大明神 惠比須 天満宮

別社 志村八幡宮

西攝山東禪寺 浄土宗本寺京都智恩院

寺領二石八斗七升六合

弘縁山西念寺 真宗本寺京西本願寺

祭師堂

御制札場 御番所 徒士一人下番
水主二人

御茶屋

取上嶋 今町倉カ島 經嶋 不密嶋 衣裳塚

生産 鯛 鮫 鱒 鱈 小蛤 鰯 蔞 水母 和布

湊走り之繼

鱒

鱒

鱒

鱒

小鱸

鱒

蜆名産

晚稻村ヨリ七町西海濱沙漠ニアリ加露ノ津トイヘリ島取城本ヨリ一里三十四間トス當村漁農兩村ニ分カル獵師ハ湊ノ方ニアリ農家ハ湊川ノ側ニ町並ヲナセリ村ノ入り口ニ湖山川アリ坂橋東ニ流レテ湊川ト一ツニナル湊川ハ智頭八上ハ東邑美法英高草數郷ノ流下此處ニ落合テ海ニ入ル國中ノ大河ナリサレトモ西北ヲウケタル荒磯ニテ河口ノ度狹定カナラス故ニ大船入ル事稀ナリ河東ノ洋手ノ東濱トイフ當村傍爾トス是ヨリ巨濃郡湯山海士細川へ濱ツ、キナリ村ヨリ南カ隈へ八町江津へ十二町秋里へ二十六町安長津頭へ二十八町古市村へ川越シ一里半湊ヨリ海上酒ノ津へ二里半有屋へ

但州居組へ五里諸寄へ六里作州津山へ十八里ナリ

加露ノ神社 當村湊口沙漠ノ山上ニアリ三代實錄ニ之ヲ載ス官社ナリ延喜式神名帳漏レタル故式外ノ神社ト云へ●祭神吉備大臣ト縁起ニミエ其祖ヲ考ルニ天平年中吉備公遣唐使飯朝ノトキ難風ニ遭

テ加露ノ津ニ漂着アル當時此地ニハ三嶋大明神鎮座ナリシカ吉備漂着ノ後三嶋ノ神祠ヲ今ノ三島ノ地ニ遷シ此地ニハ吉備ノ靈社ヲ建テ鎮守トスル由ナリ尤トモ無稽ノ怪談多シト雖モ其率此ノ如シ年號ハ元徳元年作者ハ秋里玄蕃ノ頭師永ト記セリ是ハ後醍醐天皇ノ年號至今凡ソ五百年ニ届トス但シ古記トハ見カタシ疑ヲクハ書寫セルモノナラン按續日本紀吉備公入唐ハ兩度ナリ其初四十四元正帝靈龜二年多治比縣守ヲ遣唐使トス藤原守合副使タリ吉備公此時ハ下道真備ト云フテ年二十三阿陪ノ神曆十六歳二人共ニ學問ノ爲ニ縣守ニ從テ入唐セリ其後二十歳四十五聖武帝天平七年三月多治比廣成大唐ヨリ飯ル下道真備モ此ノ時飯朝セリ縁起ノ所謂天平中飯朝ハ此ノ中ノ事ナルヘシ異稱日本傳ニ上古入唐ハ越前ノ國ヨリ渡海セリトナレハ當州ノ浦々ハ往來ノ海路ナレハサル事モアリシニヤ三代實錄ニ貞觀五年十一月新羅國ノ人五十七人因幡ノ國荒坂ノ濱頭ニ來着ノ事ミエ荒坂ハ巨濃郡湯山村ノ近縣高江矢谷等ノ古名也歷世考ニ詳ナリサレハ和漢三才圖會ニ捺唐

ノ國飾唐郡廣峰ノ社記ヲ載テ云フ 聖武天皇天平五年三月十八日
 吉備公歸朝於此地見異神乃素盞鳥也遷到京師奏言 奉勅同六年
 令營社其後圓融院天祿三年白面峰遷于廣峰其後又貞觀十一年遷山
 城國京祇園之社是ナリト是等ヲ以テ考ルニ加露ノ社記年號モ合ヘ
 リ又國ノ方位モ因幡ヨリ捺磨路ヲ經テ京ヘ歸ラレシナラム歟廣峰
 ノ攝社白幣社ハ吉備公ノ靈社トアレハ加露ノ社モ其靈神ト云脱據
 ナキニアラス右緣起ノ全文ヲ見ルニ吉備公漂着アリテ其マ、加露
 ニ永住アリシヤクニ書タルニ爾莽ト胡ヘレ又遣唐使ト云ノモ間違
 ナリ吉備遣唐使ハ其後四十六天平勝寶二年ナリ同六年正月ニ歸朝
 ス四十八聖德帝天平神護二年大納言ニ任ヌ同年十月右大臣トス四十九寶
 龜二年三月右大臣致任ヌ同六年薨ス年八十二是國史ノ載スル所此
 ノ如シ此人再ヒ入唐シテ博學ノ譽レアルニ因テ微賤ヨリ登庸シテ
 大臣ニ至レリ世ニ吉備大臣ト稱スル是ナリ又三代實錄云貞觀三年
 十月因幡國正六位上加露ノ神授從五位下トミニ按ルニ吉備公薨去

六年ヨリ此ニ至テ八十七年ナリ正六位上ハ又此レヨリ先キナルヘ
 ケレハ此ノ位階疑ラクハ三島ノ神ナラン歟神階因幡神社考ニ詳ナ

登利カ嶋 湊ノ沖ニアリ洋ヨリ四町十八間ト云ヘリサレトモ荒磯定
 カナラヌ嶋ノ大サ東西四十間南北六十間又其南北ニ岩ニツアリ皆
 登利カ島ナリ今禽カ島ト書リ加露ノ社記ヲ考ルニ吉備公漂着ノト
 キ此嶋ニ取上リ給ヘリ加露ノ湊ノ取上リ嶋ト云フハ是ナリトアレ
 ハ今登利カ嶋ト云ヘルハ取上ノ略語ナルヘシ又此嶋ニ少時座シテ
 嶋ノ島ヲナカメ給ヘリト云フ文アレハ禽カ嶋ノ文字モ亦胡レアル
 ニ似タル歟此外不審嶋經島等其時ヨリノ名トキニユ
 衣裝塚 神社ノ邊ニアリト緣起ニアリ是ハ吉備公裝束ヌキ拾納メ玉
 ハル其誌シノ塚トイヘリ今知ル人ナシ

末恒ノ保 五個村

伏野村 中ノ茶屋

高草部之部

戸数 九十軒許リ

氏神 妙見大明神

毘婆門堂 地藏堂

宮嶋 長者屋舖 稗塚 古城趾

土産 香附子 サン後海苔 和布 貽貝 鹽 石灰

内海村ノ東伯耆街道ヨリ南へ入ル谷ノ口ニアリ湖山村ヨリ西へ一里五町十間トイヘリ其間ニ中ノ茶屋トテ當村ヨリ出タル民屋三四軒アリ其西ニ里堡アリ湖山村ヨリ一里ノ誌ナリ古キ郷村ノ記ニハ伏野ノ保トシルセリ又此地ヲ伏野ト名クル舊事記所謂大己貴神稻羽八上姫ヲ婚ントテ此處ヲ通り給フ時病メル宛ノ泣キ伏シ居ケル處ナルヲ以テ伏野トイフト故事宇津見村ノ條下ニ記ス

長者屋舖 湖山ト中ノ茶屋ノ間ニアリ海道ノ南ノ側沙漠ノ中ニ屋根石ノ如ナル小石數多アル處是ナリト云ヘリ此長者ノ名産見ト云ヒケルトツ其富有七珍萬寶一フモ閑事無ケレハ心ニ叶ハスト云フ事

モナク國中ノ長者ナリシトカヤ今ノ湖山ノ池ハ當時長者ノ田地ナリシカ或年其田ヲ植トテ國中ノ人ヲ催シ一日ノ中ニ植タリシカ今少シ残リケレハ本意ナク思ヒ金ノ團扇ヲ以テ入り日ニ向ヒ三度招キケレハサシモ山ノ端ニカ、レル日影モ福力ニヤ感シケン三段許リ昇リテ終ニ田ヲ植シマヒケリ扱明ル年田ヲ植ケルトキ又去年ノ如クナリシカ斯様ニ天ノ日月ヲモ招子キカヘサン程ノ福力ニ慢シ心ノ奢リ長シテ忽チ田地ハ湖水トナリ其余ノ財寶モ皆消へ失セ迹方モナク絶へケルトノ里諺ナリ近邊ニ稗塚ト云ヘル孤山ハ此ノ長者全盛ノ時稗ヲ捨ケル其跡山トナリト云傳ヘタリ角寺村ノ摩尼寺細川村ノ清泰寺モ此長者ノ建立セル由故ノ寺ノ縁起ニアリ今安長村ノ田ノ中ニ池中之宮ト云ヘル祠アリ長者ノ墓ノ誌ト云ヘリ昔ハ松林ナリシ由今ハ竹ノ林トナレリ當時ハ池水丘ノ四邊ヲメタリケル故池中ト云ニヤ

内海村 奥内海 杖衝 神主土居 樋ノ口 源屋 河原内海 爲本村

戸數 六十軒

氏神 白兔大明神 祭日

社領 二十石

攝社

觀音堂

不増不減ノ池 在神社境内

氣多カ崎 於岐ノ嶋 高尾山 懸嶋

宇津見カ鼻 懸坂 石分ヶ坂 鐘ガ崎 以上内海カ鼻ノ名

土産 有塩漬

伏野村ノ西宇津見カ鼻ヲ塚テ海濱ニアリ但シ民家ハ御熊谷ノ口ニ
屬テ伯耆海道ヨリ山手ヘスサリ地理志ニ自伏野濱路十町三
十間其中岨道一町十四間廣一間海風起ルトキハ則怒浪没道故行人
登山而往此道二町四十七間廣一間トアルハ此宇津見カ鼻ヲ云ヘル
ナリ今ハ沙漠堆積シテ岨道モナクナリ濱路往來自由ナリ但シ宇津

見カ鼻ノ絶涯高ク行人之ヲ仰ク石所々ニヌケ出墜カ、リタルサマ
アヤウシ此上ノ道ヲ古惠牟太坂又懸坂或ハ石分坂トモ云ヘリ昔ハ
此嶺ヲ氣多高草兩郡ノ塚トセリ古キ郷村ノ記録ニモ内海ハ氣多ノ
郡内ニアリテ末恒ノ保ニ屬リ舊事記ニモ謂ユル白兔ノ神跡及ヒ氣
多カ崎於岐ノ嶋等今ニ傳ヘテ當村傍爾ニアレハ上レル世ヨリ氣多
ノ郡内ナランニ何ノ世其界紛亂シケルニヤ想フニ舊シキ事トモ聞
エス土人口碑ニ此石分坂ト云フハ龜井殿鹿坂ニ座シケルトモ此坂
中ニ石ヲ置テ兩郡界ノ誌シトセラレシヨリ石分ノ名生スト云ヘハ
其比マテハ氣多郡ナル事明カナリ然レハ御國換前後高草傍爾トナ
リシナルヘレ又此村以前ハ此地ニハアラス是レヨリ谷與今ノ與内
海ト云フ處其舊跡ト云ヘリ昔ハ此谷ノ口岩石ソハタナメクリテ御
熊谷ノ流ヲ泄ヘテ湖水ナリシヲ龜井殿時被ノ岩石ヲ切落シケレハ
澗水一時ニ流レ落テ其跡皆新田トナレリ其ノトキ谷與ヨリ沙石ヲ
突流シテ濱手ハ忽チ石河原トナル今謂河原土居是ナリサレトモ沙

瀨ノハ海水内ニ入テ田土ニツ、キケル故瀨ノ口ニ大樋戸ヲ造テ是
 ナ防キケル今木戸土居ト云フ其故ナリ然ルニ或ト、海風大ニ吹起
 テ一夜ノ中ニ沙漠ヲ積テ昔ノ地形跡ナクナリヌ其時海内海
 堂アリシカ堂モ佛モ沙ニ埋テ今ニ至テ其跡知レスト云ヘリ其レヨ
 リ與内海ノ民家ヲ濱手ニクリ出レ斷ニ一村ヲナセリ是レ今ノ濱宇
 津見ニテ是ヲ本ノ村トス昔ノ本村與宇津見ハ今民屋僅ニ幾リテ三
 四軒アリ是ヨリ西ノ方筈突坂ノ麓ニ支村アリ坂ノ口ニ出茶屋アリ
 皆内海村ノ内ナリ此坂杖衝ト云フハ壯夫モ杖無クテハ踰カタキ難
 處トイヘル事ナリトツ

古恵牟太坂 前ニ記ス宇津見カ鼻ノ事ナリ此坂ノ名カスカスアリ
 坂鐘カ崎等也昔大己貴神ハ上姫ヲ婚ント欲シテ出雲國ヨリ此國ニ
 来リ給フトキ此坂ヲ踰ヘテ初メテ白兎ニ遭玉フ故事ニ因テ言心ハ
 古恵太坂也ト云リ或ハ戀坂ノ轉語トモ云ヘリ又鐘カ崎ハ近キ世此
 海中ヨリ鐘ヲ取上ケル故ノ名トイヘリコノ鐘ハ今島取本願寺ニ納

ムル所ノ名鐘ナリ其比此寺近縣湖山村傍爾ニアリシナリ其寺跡ナ
 今モ蓮池ト云是ナリ宮部善祥坊島取在城ノ時ノ事ナリ歷世考ニ詳
 之

白兎大明神 村ヨリ西ヘ一町余其レヨリ南ノ谷隘三四町入テ松林ノ
 中ニ鎮座アル是ナリ當洲ノ内神社ノ名跡數多ナリトイヘ共此神ノ
 故事ハ舊古二紀ノ載スル所其神源尤トモ明ケク國中最初ノ祭神ナ
 リ可崇敬矣神社ノ後山ヲ高尾トイヒ或ハ氣多カ崎於岐ノ嶋等神書
 ニ出タル名跡今ニ傳ヘテ當村海邊ニアリ委シク歷世考ニ記シテ此
 ニ畧ス土人口碑ニ中比ノ亂世ニヤ神光衰エ滅シ神祠モ跡形ホク里
 謠モ絶夫ヌル事年久シ然ルニ龜井殿當郡主ノ時或夜ノ夢ニ何トモ
 ナキモノ、来リテ我ハ白兎ト云フ者ナリ我カ住ム社無シ本所ヘ社
 ナ建テ賜ハレトノ示現ナリ武藏守殿不思儀ノ事ナリトテ明日詮議
 アリシカトモ其事絶テ知ル人ナカリケレハ其儘ニ打過シ玉ヒケル
 トキニ又先夜ノ如ク靈夢ヲ蒙リ給ヒケレハ今ハトテ在々所々仰テ

尋求メラレケルニ九十歳許リノ老翁其事ヲ聞傳ヘタリトテ其社ニ
 ヲ昔斯ノ處ニ在リシ由中ケル然ラハトテ其儘今ノ地ニ再興有テ神
 殿ヲ營ミ社領ヲモ附玉ヒケルトツ爾降光政君ヨリ御當家今ニ至テ
 相替ラス神田御寄附シ玉ヒケルナリ扱此ノ神號サマサマニ云ヘリ
 今此地ニテハ大兎大明神ト呼ヘリ或説ニ慶添盛抄ヲ引テ老兎ト
 アルヲ文字ヲ變テ斯云フニヤトイヘリ按ルニ土人今大兎ト稱スル
 ハ白兎ノ訓ノ訛謬ナラン歟神書ニ白兎神ト假名付アルアリ白ノ字
 背トヨミカエルハ和訓ノ故實トイヘリ例セハ年中行司白鳥ノ符會
 トアルニ準レテ知ルヘントソ白兎ノ事舊古ニ紀ノ載スル所怪談ニ
 似タレトモ蟠龍子カ神書ノ説ニ豈玉姫ヲ龍ト云フハ人ナハ咫鳥無
 名雉ナト云ヘルニ比シテ見ルヘントアレハ素兎トイヒ和邇トイフ
 モ亦準シテ知ン歟神代今ニ至テ幾千載ノ其故事猶相ヒ傳ヘテ泥セ
 ス崇ムヘシ

不増不成之池 白兎社ノ下モ道ノ側ニアリ方ニ三丈ノ水塘是ナリ早

魁ニモ水成スル事ナク霜雨ニモ増ゴトナシ故ニ其ハ云フトイヘリ
 捺州曾根ノ天神ノ境内ニモ同シ名ノ池アリ土地沙漠ノ故ナルニヤ
 氣多カ崎 杖衝坂ノ海ニ突出タル山鼻ヲ正木カ端トイフ氣多カ崎是
 ナリトイヘリ又ノ名神向神下共イフト云ヘリ其沖ノ方ニ屏風ヲ引
 タル如ク四角ニ直立スル嶋ヲ於岐ノ嶋ト云ヘリ高尾ハ神社ノ後山
 ナリ以上ハ舊事紀ニ載スル所ノ名所ナリ又戀嶋ト云ヘルアリ於岐
 嶋ト氣多カ崎トノ間ニ常ハ水トヒトシク區小嶋ナリ于瀉ニアラサ
 レハ明カニ見カタシ大已貴ノ神此嶋ニ上リテハ上姫ヲ慕ヒ玉フ迹
 ト云傳ヘタリ今コウ嶋ト云フハ戀嶋ノ轉語ナリト神カ下神向モ皆
 大社ノ神ノ通り給フ故事ニ據レル名稱トツ或説ニ氣多カ崎ハ酒ノ
 津ノ海邊ナラントイヒ又母木中ノ坂ノ大崎ノ事ナラント云ヘリ是
 レ皆推量ノ臆説遙ケキ神世ノ名迹今何ヲ證シトテ其是非ヲ定ム
 ハシ舊事紀ノ所謂白兎ノ於岐斯ヨリ和邇ノ背ヲ蹈テ氣多カ崎ハ標
 ルトアレハ土人ノ口碑其文ニ合ヘレハ此レニヤ從フヘキ歟猶又於

岐ノ嶋前後ノ海底ニ奇石數多アリ長サ五六尺或ハ七八尺大サ二尺
圍リ三尺マハリ大小石ノ柱ナリ其貌四角六角或ハ八角其儘材木ヲ
削テ立タルヤウナルカ墜サマ横サマニ恰モ組立タル如ク筈突板ノ
鼻ヨリ沖ヘ七八町許リナリ土俗ニ昔御熊ノ神此處ヨリ隠岐ノ國マ
テ石ノ橋ヲ掛ントサ一ト夜ニ造リ玉ヒシ處ニ耐煮雞ノ脛ヲフクリ
真似テ遂ニ事ナラス其迹ナリト云ヒ傳ヘタリ奇異ノ絶境是上レル
代ノ一奇事謂ツヘン委レク御熊村條下ニミユ

中村

戸數 二十軒余 辻堂

氏神 御熊ノ神社

荒神

内海村ヨリ南ノ谷與十二町ニアリ中村ト云フ村處マニアリ故ニ此
レヲハ宇津見中村ト云フ

御熊村

戸數 十八軒 辻堂

氏神 御熊神社

延喜式神名帳所謂阿太賀郡健御熊命神社是也土俗謂柱ノ大

明神

攝社 鍛冶殿禿倉

土産 平地木

中村ノ與十三町小坂ノ上ニアリ此地ヲ御熊村ト云フハ氏神ノ名ヲ
呼フモノナリ土人和訓ノ近キヲ訛リミクワト云フ此ニ於テ後人文
字ヲ三倉ニ作ルハ又謬リナリ村ノ東ノ山ヲ踰レハ大畑村ヘ十七町
吉岡湯村ヘ二十二町余ナリ北ヘ越レハ福井村ヘ二十町余是ヲ長谷
坂ト云フ西ヘ越レハ氣多ノ與澤見村ヘ二十町其間坂道十五町是ヲ
佛峠ト云フ氣多高草郡ノ山ニテ難所歩行道ナリ南西ニ越ルヲ岡谷
越シトイフ氣多ノ下光本村ヘ二十町又此峠ヲ郡ノ界トス相傳フ昔
日本ニ平地木ナシ當村御熊山ニ初テ生ス其レヨリ諸國ニ種弘ムト

云へり今ハトホレ

御熊ノ命神社 村ヨリ神樂堂へ一町余其レヨリ石ノ階アリ凡ソ八十
段皆材木ノ如クナル自然石ニテ險阻ニ積ミ上ケタレハ容易ニ登リ
カタシ其上ニ僅ニ平地有テ神廟ヲ建フ延喜式神名帳之ヲ載ス阿太
賀郡健御熊ノ命ノ神社是ナリ其側奇石アリ細ク長ク石ノ花表アリ
土人島井カ鼻ト云フ森々タル松林ノ中ニ天満宮ノ鎮座アリ奇石怪
巖海中ニソハタケ指出タル風色目カレセス此邊ノ勝景ナリ西ノ方
ニ古城趾アリ廻土佐右衛門カ構ノ跡ナリ氣多ノ郡ニ屬ス別卷古城
部ニ記ス

因幡誌 高草郡終

因幡誌

氣多郡

氣多郡

一當郡ハ高草郡ノ西ニ雙ヒテ伯耆國ノ東ニ隣ナセリ南ニ鷲峰山ヲ
リ其西ノ谷ヲ河内ト云フ土俗ニ鹿坂河内ト稱スル是ナリ其土地鷲
峰山ノ後南ニ廻リテハ上郡或田郷ニ境ヲナス詰リハ知頭郷佐治ノ
郷ト伯耆國河村郷ト突合タル其限リテ河内山ト云フ鷲峰ヨリ東ハ
末用谷ニテ木入道ヲ詰リトス是高草ノ境ニテ野坂ノ河内ヨリ下ハ
矢橋ノ無毛山洞谷ノ峯通り母木ノ中坂ヲ限リトス西ノ方伯耆國ノ
境ハ河内ニ佐谷崎滑石坂ノ嶽アリ次ニ勝部郷桑原村ニ川上越ノ坂
アリ次ニ彌見保長和瀬村ニ西坂アリ北ハ一面ニ海ナリ而シテ滑石
坂ノ山背南ヨリ北ヘシタレテ海へ入ル其互リ三里餘ナリ是ヲ長尾
山ト號ス氣多ノ中位ニ在テ是ヨリ東西方位ヲ分テ大坂勝見坂本ノ

氣多郡之部

方チ山東ト云ヒ日置勝部緋見ノ方チ山西ト云フハ長尾山ヲ標平ト
スル當郡ノ土俗ナリ郡ノ大サ高草郡ニ次ク其地形大凡方ニシテ南
ハ狹マリ北ハ廣シ海濱ノ東西母木ヨリ長和瀬ニ到テ三里餘南北ハ
河内ヨリ姉カ泊リノ海濱マテ三里半ニ余レリ神書ニ大己貴命稻羽
ノ八上姫ヲ婚ラント思シテ氣多ノ崎ニ到リ玉フトアレハ氣多ノ郡
ト號スルハ舊シキ名哉ト見ヘタリ

一和名抄氣多郡ノ下ニ曰 大原 坂本 口沼 勝見 大坂

日置 勝部以上

一民談記曰大原今此名ノ所ナシ鹿野ノ奥ニ上原下原原井手ナト云フ
處アリ然レハ此邊ノ事ナルヘシ口沼今此名ノ所ナシ勝見湯村ヨリ
濱ノ方ニ近代マテ大ナル澤沼アリイフノ程ニカ切埋メ今ハ田土ニ
ナリ澤ノ所ハ今纔ニ幾レリ此所ノ邊ニ昔アリフル村落カ地形此名
之赴ニカナヘリ又今ノ日光ノ地ニテモアルカ此所昔ハ大ナル澤ナ
リ昔ノ次第ハ此所ニアタレリト 以上

今按ルニ和名抄一國ノ下ニ郡ノ名ヲ註シ郡ノ下ニ註スルハ郷ノ
名ナリ 本朝古制四チ以テ郡ヲ統ヘ郡ヲ以テ郷ヲ統ル是ナリ當
郡ノ下ニ所謂大原口沼今其處知レスト云ヘトモ其餘存在スル地
名アリ坂本勝見大坂日置勝部等ナリ此地名ヲ以テ和名抄ノ載ル
處ト合セ考フルニ郡ノ東ノ端ヨリ西ノ方ヘ一ト谷々々ノ名ヲ順
ニカソヘテ書タルナリ其初ニ大原次ニ坂本トアリ坂本ハ母木ヨ
リ南ヘ入ル谷ノ惣名ナレハ大原ハ其東ノ地ナルヘシ坂本ノ東ハ
小澤見内海ノ邊ナリ此地今ハ高草郡ニ屬レテ末恒保ト號ス中古
マテ氣多ノ郡内ナリシ事古キ記録ニ見ヘタレハ此所大原ノ古地
ナラン歟又坂本ノ次ニ口沼次ニ勝見トアレハ口沼ハ坂本谷ト勝
見谷トノ中間ニ在ヘシ然レハ日光谷ノ事ナルヘシ民談記モ兩説
ヲ舉テ地形ハ勝見湯村ノ邊カト云ヒ書ノ次第ハ日光ノ地ニ當レ
リト註セリ其他求ムルニ所ナシ又民談記大原ハ鹿坂ノ奥ニ上原
下原原井手ナト云フ處アリ此邊ノ事ナルヘシトイフカシ鹿野ノ

與ニ然云フ所ナシ上原ハ山宮村ニ相並テ鹿野ノ西ニアリ下原ハ濱手へ下リテハ幡村ニ隣レリ兩村共ニ大坂谷ニ在テ鹿野トハ谷チカヒナリ殊ニ上原ト原井手トチ列村ノヤウニ書タルモ誤リナリ上原原井手ハ一村ノ名ニテ本名原井手ノ上村ナリソレヲ略レテ上原ト云フトソ右ニ云フ和名抄ノ地名ハ一ト谷々々ノ名ヲ書タルナレハ大原ハ大原郷ナリ大坂モ是ニ同シク大原谷ノ惣名ニテ大原トハ別地ナリ然レハ其處ニ原ノ字ノ付タル村落アリトテ是ヲ大原ノ舊跡ト察シカタシ

一或間内海小澤見ノ邊今其土地ヲ見ルニ南ハ山重ナリ北ハ海ナリ大原ト稱スヘキ廣野ニモアラス如何答テ曰往事計ルヘカラス楳橋嶽大原野ノ條下ニ曰大原トハ田一十町許リノ平原ナリ故ニ大原ト云フ古ヘハ田十町許リヲ大ナリトス今郷里ノ戸口ヲ見ルニ人民ノ蕃息尤モ大ナリト然レハ今土地ノ廣狹ヲ以テハ論シ難シ又問フ今日光谷ヲシテ口沼ノ古地トサス時ハ和名抄古本日江ヲ口沼ト寫シ候

リ後世クテヌマノ假名付シタルモ知ルヘカラス口沼アレハ與沼モアルヘキ事ナルニ其名ノナキハイフカシ答曰非ナル凡ソ郷村里ノ名ニ與口上下ノ差別ヲ稱スルハ古ヘノ制法トモ考ヘカタシ今日置郷勝部郷各與中下ヲ分テ三郷トシ勝見ヲ勝宿ノ郷ト改メ上下二郷ニ分テリ其類國中每郷ニ在テ少ナカラス是等ヲ以テ明察スヘシ相傳フ日光ノ地往古ハ兼海ニテ難波ノ磯或ハ左邊與利湊ト稱シケルト是ヲ想フニ口沼ノ與口ノ口ヲ稱スルニハアラサルヘシ其湊口ノ名ニシテ此谷ノ惣名ナラン歟與ノ方ヲ與沼ト云ヒ口ノ方ヲ口沼ト云フトモ和名抄ノ載スル所ハ一名一郷ナリ古今傳字ノ誤リ諸書少ナカラスト云ヘトモ口沼曰江ノ一説ハ此是ヲ湊タリト謂ツヘレ一民談記曰當國ニ昔ヨリ云傳フル郷保庄ノ記一通アリ是ハ八上郡弓河内村六郎左衛門ト云フ者所持ナリ此内今絶タル處或ハ今ノ制法ト違ヒタル處是ヲ尋テ記シ與ニ書付ルナリ

坂本郷 大坂郷 大原郷 光元保 宮吉村
 大澤見 恒松保 雷吉村 末用村保尾 恒末村
 宇津見 勝見郷 日置郷 姫地村 鹿野郷
 勝部郷 鷲峯社 青屋村

恒末 今此名ノ所ナシ今氣多高草ノ境伏野内海澤見ノアタリヲ末
 恒保ト云フ此所ナラン歟氣多高草ノ界今多ク混亂スト見ヘタリ昔
 ハ此邊氣多郡ノ内ト見ヘタリ此記ニ大澤見宇津見ヲ氣多ノ内ニ入
 タリ●宇津見 今内海ト書ク今ハ高草ノ内ナリ●青屋村 明徳記
 ニハ青屋ノ庄ト見ヘタリ 以上

又按ルニ此記録今ハ鳥取治工坊ノ町人木屋治三郎ト云フ者ノ家
 ニアリ弓河内六郎左衛門近年没落シケルニ因テ其一族タレハ所
 持スト云ヘリ右村名ノ内宮吉ト云フ所今ハナシ土人口碑ニ母木
 酒津邊ノ惣名ヲ宮石ト云フ是ハ氏神板井神社ハ方六尺餘ノ大石
 ナリテ形代トス故ニ宮石ノ神ト云ヒ土地ノ字モ其縁ト云ヘリ此

説ニ據テ見ル時ハ宮吉ト書シハ宮石ヲ誤リシモノ歟然レハ母木
 ノ古名ナラン又天正年中吉川元春勝宿明神へ青銅寄附ノ證文アリ
 今度宮吉ノ城頓ニ落去ト書リ其外陰徳太平記等宮吉ノ城ノ事
 出タレハ宮吉ト書來レルモ亦久シ想フニ後人石ト書ト和訓相近
 キヲ以テ板井ノ神跡ト附會シテ云フモ知ルヘカラスニ裁決シカ
 タント云ヘトモ凡ソ地名ハ神社ノ名ニモトフクモノ多ケレハ姑
 ラク土人ノ説ニ從フヘシ

一又曰寛文年中改メ記セシメラル、郷村ノ名左ノ如レ

氣多郡 八十個村

勝部下郷 三個村	青	屋 <small>今ハ向</small> 芦崎村 <small>今下</small> 井手村
勝部中郷 四個村	菅川村	龜尻村 山田村 北河原村
勝部奥郷 七個村	鳴籠村	八葉守村 田原谷村 紙谷村
	楠根村	澄水村 桑原村
日置下郷 四個村	上青屋村	露谷村 大平田村 小平田村

日置中郷 四個村	山崎村	養郷村	與谷村	大坪村
日置與郷 五個村	藏内村	早牛村	山根村	河原村
絹見保 二個村	小畑村			
母木保 五個村	長和瀬村	絹見村		
	酒津村	母木村	與澤見村	雷吉村
	常松村			
下光本庄 六個村	下光本村	戸嶋村	馬場村	塚手村
	西分村	廣木村		
鹿野庄 四個村	閉野村	末持村	水谷村	鹿野
坂本郷 五個村	宿村	片山村	重高村	二本松村
	下坂本村			
勝宿下郷 九個村	渡村	小谷村	傍所村	湯村
	福田村	梶掛村	重山村	岡井村
	木梨村			

勝宿上郷 五個村

中國村

妙見村

寺内村

今市村

玉川村

殿村郷 七個村

河内村

鷹峯村

小別所村

殿村

下石村

飯里村

原井手ノ上村

八幡郷 十個村

山ノ宮村

橋詰村

新宮村

高下村

高江村

會木村

下原村

八幡村

姫路村

日光村以上

按ルニ古記録ノ内母木ノ保五個村ノ内母木ヲ新古二個村ニ分テ
 六箇村トシ鹿野庄四ヶ村ノ内水谷ヲ鹿野ノ内ニ屬シテ新タニ小
 畑村ノ名アリ坂本ノ郷五個村ノ内片山ヲ土居村トシ八幡郷十個
 村ノ内姉ヶ泊村ヲ増テ十一箇村トス又勝宿下郷九個村ノ内傍所
 ト替タル村名今ハナシ但シ澤田村ヲ入テ九ヶ村トス以上八十二
 箇村ナリ且ツ傍所村何ト訓タル村名ニヤ傍ノ字字彙字典等ニ見
 ヘスイフカシ行細ニ澤田村ノ下ニ見ヘタリ

母木 保 五個村 今増所町為六個村

母木新町驛

戸數 四十餘軒

氏神 板屋大明神 森大黒見村

御側札場 役馬十五疋

一求橋

母木坂ノ西ノ海濱ニツリ伯智街道ノ馬驛ニテ高草野小澤見ヨリニ
 十七町余トス但シ郡境中坂ノ峠ヨリ二十一町ナリ其間ニ母木坂ア
 リ坂長少十九町五十間快野中ノ茶屋ノ里徑ヨリ此坂ニ距テ四十町又扶突ノ茶屋ヨリ此坂ニ距テ十八町ナリ母木ハ新
 古兩村アリ昔ハ此街道ニ民家ナク母木村ハ街道ノ南ニアリ此地ハ
 寶永二年初テ馬驛二十五座ヲ定メラル其比鹿坂ノ町裏願セシカハ
 鹿坂新町ノ主人彼地ヲ轉シテ此地ニ移リ舊名ヲ呼テ新町村ト云フ
 其レヨリ母木ヲ古町ト云ヘリ其後年々戸數増リ今ハ新古家續キト
 ナリ又此驛ヨリ西ノ濱路ニ鹿野川ノ下流アリ此所ニテ母木川ト云

フ板橋アリ長サ三十間横七尺是ヲ一求橋ト號ス古キ記録ニ曰母木川渡リ上
 カリヨリニフ石マテ七町四十二間川後ヨリ西ノニツ石マテ百九十
 間町屋裏濱ノ發サ百八十間海端ヨリ坂本ノ塚ニ距テ五町十五間ト
 イヘリ

一求橋 母木川ニ掛レル橋ナリ一求ハ人ノ名ナリ昔ハ此川ニ橋ナク
 行人徒渡リス地理誌ニ母木川廣サ十五間深サ一尺五寸可徒涉大水
 無渡人一日トアルハ是也砂川ナレハ川ノ廣狹水ノ淺深モ定カナラ
 スヤ、モスレハ行人難儀ニ及ヒケル事數回ナリシカハ天文年中一
 求ト云フ道信者發願ノ功カヲ以テ初テ此橋ヲ造レリ故ニ其名ヲ呼
 テ橋ノ名トス一求ハ伯州松崎ノ住人俗名源六ト云フ母ニ酒津ノ浦
 ニ采テ魚ヲ荷テ渡世ヲナス其往來朝暮此川ヲ涉ルニ諸人ノ患ヲナ
 ケキ村民ニ相議シテ橋ヲ掛ン事ヲ謀レトモ成ラス源六止事ナク卒
 ニ法心ヲ發シ倉吉ノ大蓮寺ト云フ寺ニ入テ圓頂黒衣ノ道心坊トナ
 リ一求ト改名シ諸方ヲ勸化シ奉行所へ祈へ免許ヲ蒙リ此川ト濱村

ノ勝見川トニケ所ニ橋ヲ作り渡シケリ猶モ後代不易トナサント因
 伯ノ在マテ勸化シ元米二十石ヲ取集メテ役所ヘ納メ此利米ヲ以テ
 永代ニケ所ノ橋ノ修補料トナシ下サル、棟ニ怒斬ニ因テ今ニ母木
 村ヨリ年々ノ破損ヲ修造セリ信實殊勝ノ道心ト謂ツヘシ一求後ニ
 此里外レ一町半許リニ草庵ヲ結ヒ是ニ住シテ一生托鉢ノ外世ノ交
 リナク寛延三年三月十五日ニ身マカリケルトナリ庵室ハ残りテア
 リシカ寶曆二年八月十日ノ洪水ニ流レテ其跡今ハ川原トナリヌ
 母木村

戸數 三十餘軒

氏神 板屋大明神 在奥澤見村 祭日

雲谷山天龍院 曹洞禪本寺前中岡舟木山洞松寺

寺領四石五斗四升

古城ニ 大崎城 古河城

此岩一 號湊山

新町ノ南ニツ、ケリ是母木ノ古地ナリ里藪ニ曰ク母木ハ舊根村ナ
 リ往古此處ニ樺ノ大樹アリ竟ニ呼テ里ノ名トス中比此地ノ人其風
 俗皆無道ニシテ科人止ム時無リシカハ時ノ人樺ト科ト和訓同シケ
 レハトテ樺ノ字テ分テ母木ト改書シケルト其樺ノ古株近キ世マテ
 天龍院山下田圃ノ中ニ在リシ由口ノ徑リ七八尺形状岩ノ如クナリ
 シカ田土耕農ノタメ年々穿コホケテ今ハ其所明カナラス

大崎城 母木坂海道ノ上ニアリ氣多島草境ノ山ニテ城ハ奥澤見村ノ
 旁爾ナリ極土佐右衛門ト云ヒシ武士在城セリト或ハ土佐守トモ云
 フ説アリ舊シキ國侍ニテ代々山名ノ幕下グリレ由天正ノ初メ人並
 ニ藝洲毛利ノ指揮ニ從ヒ無比ノ忠貞ヲ盡セントカヤ秀吉公當國手
 遣ノ時毛利方ノ城々大半忠ヲ變セシカトモ極ハ義ヲ守テ逃ラス既
 ニ鳥取城攻ノ時當城ニ引籠テ落城ノ後マテ持詰タリ秀吉公鳥取平
 均シ玉ヒ伯洲ノ南條小嶋ヲ救ハント大軍ヲ推テ此所ヲ通り玉フ時
 土佐右衛門城上ヨリ是ヲ直下シ弓鳥銃ヲ聯テ須破哉ト云ハ、ト臨

ヲ靜メテ控ヘタリ御人衆是ヲ見テ是程ノ小城只蹈フテ通ラントヒシメキケルヲ秀吉公類ハ義士ナリカマフヘカラス聽テ自滅セント仰アリテ其分ニテ通り玉ヘリト賊ニ虻蜂大掛ヲ勤カスノ類ナレハ詮方ナク其後官部善祥坊ヲ頼テ託言ヲ申上レカハ秀吉公其義心ヲ感シ玉ヒ恩免アリテ領知千石賜ハリ官部カ與カトシテ其儘當城ニ差置王ヒケリ然ルニ關ヶ原一亂ノ時官部兵部少輔ニ從ヒ關東ノ御味方ニ奉リシカ兵部少輔忽テ變心ノ事露顯ニ因テ囚人トナラル其時種ハ三河國ヨリ出奔レヒソカニ哲里ニ飯リ妻子ヲ負具レ下味野ニ隠レテ終ニ耕稼ノ世卷ニ讒レリ其時種ヲ懸種ノ二字ヲ用ヒ名ヲ孫左衛門ト改メケルカ元和二年四月五日ニ病死セリト幕後山法名攝院懸種 女子一人アリ上味野ノ美田彌兵衛ト云フ百姓ノ弟與次郎ヲ養子トシ其ヨリ彌左衛門ト稱シテ代々枝村ニ相續セリ家譜ナシト云ヘトモ其正統ト聞ヘタリ陰徳太平記ヲ按ルニ當城ニ種カ事ミヘス田公備前守高清ト云フ侍在城シテ毛利ニ一味シ上方勢ト

取合大ニ武勇ヲ震ヒケルカ島取落城ノ後受ト成テ田公ハ退去セリ其跡ヘ秀吉公ノ人數木下民部太輔ヲ大将トシテ國侍山崎村越築師笠塚ナント云フ者入替テ守城セリ其明天正十年吉川元春又當國ハ出張セント伯州橋津ヘ來着アル其時ノ先陣杉原彌八郎元盛岡又次郎景盛杉原掃磨守 兄弟二人二月十四日ノ夜拔掛シテ當城ヲ一戰ニ攻破リ大将木下ヲ初メ討取シ頸四百六十餘級ト記セリ又田公高清ト云ヘルハモト但馬ノ山名誠置ノ家人ナリソカ天文十二年武田源五郎ナル者反心ヲ懷キ長傳ト云フ者ト力ヲ勤セルカ誠置是ヲ知テ誅戮セント討手八人城下ニ伏置キ彼兩人ヲ呼寄テ討果サセラル、ニ兩人頗ル大カノ手理ニテ忽テ八人ノ勇士ヲ手ノ下ニ切伏セ其外當番ノ諸士立合ケルヲ皆切散レ既ニ誠置ノ居間近ク切入ケルヲ高清其比十七歳小扨從シテ傍ニ侍リケルカツト立向ヒ一番ニ進ム源五郎ヲ戸脇ニ切伏セ續ク長傳ヲ横拂ニ太腹ツント切テ二人一所ニ切留ケレハ誠置大ニ感賞シ食地數多賜ハリケルカ十九歳ノ時親ノ敵

ヲ討テ但州ヲ立進當國ニ來リ又京藝ノ弓箭ニ勇名ヲ飛揚セリト陰
 德記ノ粗ナリ是ヲ以テ考フルニ當郡勝宿ノ神社再興ノ棟札ニ永祿
 八年田公次郎左衛門高清ト云フ名アレハ此次郎左衛門後ニ備前守
 ト改名セルナラム然レハ陰德記ノ記載ナキニ非ス極ハ素ヨリ國侍
 ニテ以前ヨリ此城ノ主タル事明ナレトモ陰德記ニ無キハ亂綱ト見
 ヘタリ想フニ近縣富吉ノ城主ヲ田公新助高家ト稱ス高清同姓ノ由
 緒ヲ以テ當所ニ來住シ當分極ト同居セシナラン然ルニ鳥取落城以
 來支ヘカタク兩人共城ヲ明退ケレハ秀吉公ノ人數不替テ守城ス時
 ニ杉原一戰ヲ掛タルナルヘシ然レトモ一國悉ク秀吉公ノ有トナリ
 シカハ其時極已カ本城タル故ニ一向ニ降参シテ還住セシモノナラ
 ノ歟

湊山砦 是ハ大崎ノ砦ナリ

酒ノ津村 榑谷

戸數 百七十軒餘

氏神 板屋大明神 在大澤見村

龜之宮

觀音堂本尊觀音 木佛立像長三尺半代知レス古昔正月六日此洲ニ出現ス

因幡順禮二十七番之札所也

嶋山之名 夷嶋 在難子之社 辨天島 在辨天社 高嶋 在春日社 赤嶋

前嶋 鵜嶋 壘島 觀音嶋 烏帽子島 灣嶋

中將島 大巖 松影山 湊山 有岩之跡

母木坂ノ海手ノ谷隘ニアリ但シ坂ノ半途ニ分レ道有テ其ヨリ通シ
 テ三町許リナリ母木ヨリハ東ヘ八九町海岸ノ岨道ヲ往來スサレト
 モ海荒ケレハ怒浪路ヲ没レテ通路ヲ絶フ且フ其土地隘ク山腹ヲ切
 平シテ段々ニ家造リス專ラ漠觀ヲ業トセリ此地舊ハ榑谷ト云フ龜
 井武藏守殿郡主ノ時海邊ニ谷トハ相應ナラストテ榑ノ縁ニ依テ酒
 津ト改名アリシト云フ孤村ナレトモ荒磯ノ風景奇勝ナリ東ニ突出
 タル山ヲ松影ケ島ト云フ西ノ島ヲ湊山ト號ス 天正年中大崎ノ城主榑土
 佐右衛門此山上ニ砦ヲ構

述アリ 惠比須島辨天嶋各祭神有テ名トス春日ヲ祀ルヲ高嶋ト云フ
 龜井氏ノ勸請ト聞ヘタリ澳ニ鳥帽子嶋アリ形テ風折ノ鳥帽子ニ似
 タリ干瀉ニハ嶋根平砂トナリ海藻ノ類品々有テ好メル人ハ酒ヲ酌
 自ラ斟テ佳者トセリ此島ノ邊ニ昔ヨリ大龜住テ嶋ノ左右ヲ離レス
 甲ニハ牡蛎貝介ノ類取ツキ昔若テ帶フ其大サ方一丈モアラント其
 外嶋々ノ名怪石巨岩其數々書シルスニ暇アラヌ神書大己貴命ノ故
 事ニ所謂氣多ヶ崎トハ此邊ノ事ナリト云傳ヘタリ此浦船懸リ宜シ
 カラス東西北風ニハ船一艘モ泊シカタシ南風ノミ安シト云ヘトモ
 小船四五艘ノ外ハ繫クヘカラスト云フ是ヨリ海上加藤ノ津ヘ二里
 半葦崎ノ湊ヘ三里ナリ

龜之宮 神跡青白ノ玉石ナリ其形圓ク圍ミ二尺七寸三分重サ三十六
 斤ト云フ此宮ハ別封攝津守 君ノ創建ナリ享保元年勝見御入湯
 ノ時御姫君御同道トサレ四月二十一日此浦御遊覽アリテ漁人ニ網
 ナオロサセ玉フ時ニ一ツノ龜網中ニカ、リ來レリ大サ甲ノ徑リ三

尺六寸横ニ尺八寸高サ一尺二寸其跡相尋常ナラス是神龜ナラソテ
 靈ヲ齋ヒテ國土豊饒ノ守護神タラシメントテ龜ヲハ懸テ海中ニ放
 ケヤリ此所ニ小社ヲ建ラレ龜之宮ト崇メ玉ヒントソ其迹宮五月六
 日トカヤ神跡何ニカセント評議マケマケナル折節此浦人出雲國日
 ノ御崎ノ神前ノ海中ヨリ釣針ニカ、リシトテ一ツノ奇石ヲ取取リ
 ケル間斯ル時節ニコソ此石ノ釣ノ線ニカ、リ來レルモ不思議ナレ
 是神龜ノ感應ナラントテ即チ其石ヲ形代トナレ玉ヒケル今ノ神跡
 是ナリト云傳ヘタリ

中将嶋 湊山ノ磯ニアリ此嶋ノ名寛文延寶ノ比此邊ニ一人ノ道心者
 有テ中将ト稱ス氣多高草ノ間ヲ托鉢シテ日ヲ送レリ毎ニ酒ヲ好ミ
 醉テハ山野ニ起卧シテ定マレル栖モナク乞食ノ境界ナレトモ天質
 無欲ニシテ道心堅固ナリシカ貞享元年三月十三日トカヤ此嶋ニ來
 リテ死ス或ハ其己レカ死期ノ時日ヲ察シ因ニ是ヲ告ケ立ナカクニ
 死ストモ云フ因テ中将嶋或ハ往生嶋トモ云フト然ルニ近年禿翁ヲ

建テ若宮ト號ス是ハ其比母木ノ里ニ兩國梶之助トテ名譽ノ角力取
 アリ幼名ヲ彌太ト云フ中將源ヲ愛スル事兒孫ノ如シ彌太ヤ、長ト
 ナリ丸頼ノ角ヲ入レ名ヲ中將ニ乞フ中將源ヲ梶之助ト名付テ曰今
 日ノ祝儀ノ證ニ何カセン然レトモ我ニ寸鐵尺木ノ世財ナレ汝幼キ
 ヲリ角力ヲ好ム引手物ニハ他一倍ノ力ヲ與ヘ得サスヘシタトヒ我
 死後タリトモ何國如何ナル人ニ立向フ時一度我名ヲ念誦セハ必ス
 勝事ヲ得サセント懇ニ誓約ス果シテ梶之助因伯兩州角力ニ敵スル
 者ナク終ニ其名天下ニ赫著セリ是中將カ誓言ノ違ハサルノ不思議
 ト云テ角力ヲ好メル輩中將ヲ祭テ若宮ト崇メ勝負ヲ祈ルト云ヘリ
 梶之助ハ寶永五年正月二十四日ニ死ス墓ハ母木坂西ノ麓萬人坑ノ
 中ニアリ

富吉村

戸數 十九軒 辻堂本尊阿彌陀

氏神 牛頭天王 祭日九月九日

古城

母木ヨリ入ル南ノ谷八町ニアリ與ハ光本坂本ノ兩谷ト分レテ鹿野
 ノ町ヘ通ス村ヨリ濠ヘ十五町二十七間ナリ

古城 村ノ東ニアリ田公新介高家ノ城跡ナリ父ヲ新右衛門ト稱ス本
 姓ハ日下部氏ナリ昔ヨリ山名ノ幕下ニテ世々國ノ守護代タル名家
 ナリシトソ天正ノ初メ此屋形ト同ク藝州ノ毛利家ニ一味タリレカ
 如何シタリケン忽チ上方ヘ内意ヲ通ス其事カクレ無リシカ吉川元
 春當國在陣ノ折節ナリシカハ即時ニ軍勢ヲ差ムケ城ヲ圍レテ是ヲ
 攻ム城兵防禦五日ナリサレトモ無人ユヘ遂ニ叶ハス落城セリ時ニ
 天正八年二月トカヤ高家ハ龜井新十郎ヲ恃テ鹿奴ノ城ヘ落クリケ
 ルカ此人隠レナキ鳥銃ノ名人ナリシカハ龜井氏其術ヲ習ヒ受ント
 タイワカニ引袖シテ初ノ程コソ馳走アリケレ其身得道アリケレハ
 何爾ニ薄情フルマヒトモ多カリレカハ高家止事ヲ得ス妻子ヲ引具
 シ鹿坂ヲ立出上方ヘ赴シト知頭ヲ過キ毛谷ノ邊ヲ行ケル時獨梁ノ

渡リアリシカ時シモ春ノ末ニテ南風フヨク吹ケル間内室風ニ吹取
 レ橋ヨリ下へ墜ラレタリアレハソレハト云フ間モナク雪解ノ水ノ
 瀬早ク漲リシカハ終ニ死骸モ見ヘスナリ又高家昨日ニ易ル身ノ上
 サヘナルニカ、ル憂目ニ遇フ事無残ナリケル次第ナリ只呆タル許
 リニテ泣々有ケル二人ノ幼稚ノ子供ヲ介抱シフ、聽テ伏見ヘコソ
 着タリケレ鳥兎ウフリ變テ後毛利輝元其事ヲ聞及ハレ以前ノ事ヲ
 捨テ是ヲ扶持セラレケレハ毛利ノ被官ト成ニケル其後輝元ノ息女
 ナ公家徳大寺殿へ嫁セラレケル其時高家ノ子息其介錯ニ附ラレテ
 徳大寺殿へ伺候シテ被官トナリ今ニ相續スト氏談記ニ見ヘ
 タリ當國ニモ高家ノ末子一人殘テ家臣木ノ下某ト云フ若百姓ト也
 母木村ニ居ケルカ養育シ成長ノ後田公孫左衛門ト稱ス諸國ヲ遍歴
 シ後ニハ唐土天竺マテニ推渡リ歸國シテ了戒ト法名セリ里人呼テ
 了戒孫左衛門ト云ケルトソ系圖ヲ木下カ家ニ幾シ置ケルカ酒津ノ
 百姓ト木下ト家柄ノ尊卑ヲ争ヒ口論シテ系圖ヲ奪取レ田土ノ中ニ

打込レテ逃ニ去ヒシトナリ惣シテ母木酒津ノ邊ニ木下清水宮石等
 ノ氏ヲ稱スル百姓ハ皆田公家ノ被官ノ末ト云ヘリ了戒子孫ハ轉々
 流落レ今鳥取城下ニ在テ儒醫ヲ業トスル生澤守衛ト云フ者田公ノ
 正統ト聞ヘタリ按ルニ氏談記ニ宮吉ノ城主田公新助高家ト註ス陰
 徳太平記ヲモ同ク出タリ又天正年中吉川元春勝宿明神へ青銅寄附
 ノ證文ニ曰今度宮吉頓ニ落去ト云々然ルニ今宮吉ト云フ處知レス
 田公城趾ハ宮吉ニアリ想フニ昔日宮吉ト號シケルヲ後世守護ヲ誤
 リ宮吉ニ作レルニヤ又木酒津ノ邊ヲ宮石ト號ス是ハ此地ノ氏神
 板井ノ神社ノ神跡方六尺餘ノ石ヲ以テ形代トセル故ニ宮石ノ宮ト
 云ヒ此邊ノ惣名ヲ宮石ト云フト云ヘリ然レハ宮石ノ和訓ヲ宮ヨシ
 ト誤リ文字ニ宮吉ト書ケルニヤ

古河城 前除母木ノ條下ニ有ト云ヘル 田公ノ城ト道ヲ狹ンテ東ニアリ田公
 ト出城 東西十六間南北二十四間 ニテ家老木下某出張セリト天正八年本
 城ト同時ニ落去シテ其跡ヘ毛利ノ家人武部直後守ト云シ武士入代

リテ是ヲ守リケルカ秀吉公一國平均ノ後退去シテ廢墟トナレリ木
 下七世ノ末葉トテ母木古町ニ住スル一農夫アリ今治平其居宅ノ後
 田土ノ中方四間許リノ平地ニ木下主従ノ墓トテ五倫ノ碑碣十九基
 ナ安ス當城没落ノ時戰死セルニヤ委シキ事傳ハラス右ニ註ス田公
 ノ系圖ヲ持傳ヘケルカ酒津ノ百姓ニ奪取レンシハ此木下カ事ニテ了
 戒孫左衛門ヲ養育セルモ當家ノ事ト聞ヘタリ又天明ノ初メ此城
 ノ南ノ山下土澤シテ石擲出テ其中ニ頸ニツアリーフハ大ナリーツ
 ハ小サシニツナカラ甚赤シ擲中亦赫ヤトシテ朱丹ヲ注ケル如シ
 人多ク集リ杖ヲ以テ是ヲ動シケレハ大ノ方ハニフニ分レ小ハニフ
 ニ破タリ其後大龍院禪師祭祀シテ舊ノ如ク埋タリ

常松村

戸數 三十三軒

氏神

禪師堂

號東福寺本尊佛師長
當郡七佛之内六尊也堂領

行基作

母木谷ノ東側ニアリ當吉ノ上九町ナリ當村辻堂ノ禪師ハ行基ノ作
 ト云ヘリ土人口碑ニ昔ニ行基僧諸國巡歴ノ時當郡ニ於テ一木ヲ彫
 刻シテ禪師ノ佛像七軀トナシ郡中所々ニ寺ヲ建禪師ヲ安置シテ本
 尊トス當所ノ寺ヲ東福寺ト號ス是其六番ナリ然ルニ中古ノ亂逆ニ
 諸寺ミナ頽廢シテ各辻堂ニ安セリ今ニ傳ヘテ七佛禪師ト云フハ其
 故ナリトソ

大澤見村 東後尾 西後尾 長千代

戸數 五十六軒 辻堂本尊阿彌陀

氏神 板屋大明神 祭日九月九日 神領四石五斗八升

池 水後池ト號ス東西三町四十五間南北五町二十間周廻三十五町四十五間

坂本谷ノ東ノ谷隘ナリ此谷ヲ水後谷ト云フ常松ヨリ北へ山踰十六
 町ナリ母木ヨリ十五町其間ニ小坂アリ 長サ四町半 村ヨリ高草ノ御熊村
 へ二十町其間ノ坂ヲ佛峠ト云フ 坂長サ十五町 飯多高草ノ境ニテ峠ニ誌シ
 ノ立石アリ難所ナリ 凡ソ石ヲ立テ經界ノ誌トス土俗是 池アリ蠶蠟等多シ

然レトモ腹喫ク下品ナリ出村ヲ水後村ト云フ昔ハ東後尾西後尾トテ池尾ノ東西ニ有リ今ハ東後尾ノミナリ今此地ヲ與澤見ト云フハ大澤見ノ訛謬ナリ古記ニ大澤見トアルハ高草ノ小澤見ニ對スルナリ小澤見昔ハ氣多郡ニ屬セリ

板屋大明神 延喜式神名帳ニ載ル板井神社是ナリ神跡方六尺餘ノ青石ヲ齋フト云ヘリ板井ノ神號其據ヲ知ラス按スルニ板井ト云フ里他邦ニモアリ山城ノ板井ハ下久世ニアリテ清水ノ名所ナリ後志法
ニ古郷の板井の清水みくさむて 當國知頭郡ニ在ルハ板井原ト云フ當所モ月さむすますなりけるかな 舊地名ヲ呼ニヤ今土俗板葦大明神ト云フハ俚言ノ訛リ此類少ナカラス

光 本 庄 六 個 村

下光本村 大杉 持木 山崎 三軒家

戸數 五十八軒 辻堂ニ 本尊阿彌陀 穢多村十軒

氏神 新宮大明神 祭日 九月九日

同 楯大明神 祭日

觀音堂 母木大龍院持

古城 二 シリフリ山ノ城 一名堤知光城

常松ノ上十五町ニアリ此ヨリ與廣木マテ六ヶ村ヲ光本庄ト云フ此谷ハ母木ノ枝谷ニテ當村街道ヨリ西ノ離レ山山崎村北ニアリヨリ二谷ニ分レテ西ヲ坂本谷ト云ヒ東ハ當村光本谷ト云フ鹿奴ノ東へ通テ末持谷ノ川脉ナリ東側大杉ト持木トノ間ヲ東へ越レハ高草ノ御熊村ノ上手へ出ル是ヲ岡谷越ト云フ兩郡ノ境ニテ持木ヨリ峠マテ十四町峠ヨリ御熊谷へ六町ナリ

堤知光城 持木村ノ下ニアリ小山ニテ小サキ搦ナリ或ハシリフリ山ノ城トモ云フ筒見某ノ城趾ト云ヘリ事蹟明ナラス按ルニ今堤知光ト稱スルモノ堤ハ和訓フ、ミナリ筒見ト同シ知光ハ字知光ト訓スヘレ疑ヲクハ筒見氏知光ト云フ人ノ持城ナリシナラン土俗堤知光ト云フハ世話ニ云フ刀ノ銘波ノ平行安ヲ波平行安ト讀ミン類ナラ

大杉山ノ城 大杉村ノ後山ニアリ段々ニ辨ヘタリ然レトモ城主ノ名知レズ按ルニ大杉ハ持木ノ上ニ町許リニ在テ其間ニ岡ノ谷ト云フヲ隔ツ想フニ持木城ハ砦ニテ當城筒見氏ノ根城ナルニヤ

戸島村 十二軒 辻堂本尊 藥師

氏神 戸嶋大明神 祭日九月九日

光本谷ノ西側離レ山ノ南ノ麓ニアリ下光本ノ山崎村ハ此山ノ北ノ腰ヲメタリテ兩村山ノ前後ヲ抱ク其間六町ナリ

馬場村 十五軒

辻堂本尊 阿彌陀

氏神 六王權現 祭日九月九日

古城 在上垣

戸嶋ヨリ三町街道ヨリ東側ノ山下ニアリ村ノ後ニ古城アリ馬場村

ト云フハ昔シ當城主馬ヲ賣ケル馬場ノ迹ト云フ

上垣村ニアリ段々ニ辨ヘタリ城主ノ名知レズ或ハ塚手ノ城ト

モ云フ馬場塚手ハ相並ンテ一邑ノ如クナレハ然云フナルヘシ

塚手村

戸數 六軒 辻堂本尊 觀音

氏神 八幡宮 祭日

光本村トス今左官鼻村ニ在テ上光本ノ稱ヲ失フト

廣木村

戸數 十二軒

氏神 白山權現 祭日九月九日

塚手ノ上三町ニアリ光本ヨリ鹿奴ヘノ往還道也

西分村

戸數 八軒 辻堂本尊 毘沙門天

氏神 牛頭天王 祭日九月九日

古城

廣木ヨリ十二町西ノ山下ニアリ其間ニ羽田川アリ但レ此山ニ離レ山ニテ戸嶋村ト羽田川ヲ隔テ、南北ニ相對ス村ノ後ニ古城跡アリ其後ハ坂本谷ニテ宿村ノ勝嶋明神ノ社アリ其レヨリ南鹿野ノ方ヲ妙光寺山ト云フ

駒ヶ坪城 村ノ上ニアリ鹿奴ノ出城ト云フ余程ノ説ニテ本丸及ヒ二三ノ丸等依然トレテ其迹アリ焼打シタルニヤ焼タル本所々ニ出ツ此山ハ離レ山ニテ城ノ後西ハ宿村旁爾ニテ二三町上ニ勝嶋明神ノ鎮座アリ

鹿野 庄 四個村

閉野村

戸數 二十三軒 辻堂本尊大日如來

氏神 稻荷大明神 祭日九月九日

西分ノ南妙光寺山ノ麓ニアリ鹿奴ノ北ノ口ニテ廣木ヨリ通レナナ五町ナリ其間ニ羽田川アリ是ヨリ與テ鹿野谷トモ末持谷トモ云フ當處蘿蔔ノ名物ナリ

鹿野 水谷 西谷

戸數 百三十軒餘 號東町 鉢屋村十一軒

上町紺屋町小屋人町堅町殿町新町是也

同 二百二十軒餘 號西町

下町鍛冶町山根町大工町是也

御制札場 在東西之町界 牢獄 在堅町

氏神 勝嶋大明神 在宿村 祭日九月十九日 東町祭之

同 勝宿大明神 在寺内村 祭日九月廿一日 西町祭之

同 住吉大明神 在水谷村 祭日九月廿日 小屋人町祭之

社領一石八斗二升

少林山讓傳寺 在町外南山之麓 曹洞深本寺防州月梵山齋堂寺

氣多郡之部

寺領三十四石九斗四升八合

有龜井武藏守茲矩之位牌並遺物數種

古城旗 唐織陣羽織今為打劍 金爛八丈ノ袈裟 水晶ノ

珠數 獅子尾ノ拂子或曰鹿 饒鉞 梅檀葉 蟹甲之香盆

天狗之爪 駒角等也

境內有名古墳

鹿奴殿之墓 在竹林中碑銘漫滅 相傳曰鹿野城開祖橘氏之墓

澤應常山大居士 年号不知相傳曰木梨村藤山ノ城主木戶豐後守父之墓

般翁宗昌居士 在鹿野ノ上 慶長十年二月二十日

龜井之家臣湯丸郎左衛門祖父之墓武藏守茲矩之叔父

慧達壽林信女 慶長二十年二月十八日 湯丸郎左衛門祖母之墓

我叟勝全大居士 在山中俗名松平玄壽明 慶長十七年四月廿日

或曰山中鹿众七父之墓

凌泰山雲龍寺 在雲岩山麓 曹洞宗本寺無傳寺

寺領三十六石九斗三升七合

有松平右京大夫綱政君之位牌

施無畏山觀音寺 在紺川町 其言本寺高野山觀音院

本尊聖觀音 緣起曰寬弘年中殿村ノ鄉士紀氏鄉ノ息女櫻姫之作

寺領六石二升四合

境內有築山泉水石入君所作給也

西向山淨土寺 在石同所 其宗本寺京西本願寺

寺領三石三升二合

鹿野山妙光寺 在石同所 日蓮宗本寺京本禪寺

寺領二石一斗一升一合

有石入君御一門之位牌

蓮葉院殿

國清院殿

花光院殿

龜多郡之部

大雲院殿

天性院殿

秀光院殿

雲窓院殿日梅大姉 石入君御息女良姫君 正保四年十月十八日

解脫山光輪寺 其宗本寺京西本願寺 在飯治町

寺領一石六斗一合

鹿野山幸盛寺 在下町 淨土本寺京智恩院

寺領一石八斗九升一合

本尊阿彌陀 原慶藏殿所作也書出雲國湯氏一黨之護持也

幸盛寺之額 龜井按矩所書也

布勢仙林寺之半鐘 銘曰明應六年丁巳五月三日

境內有山中幸盛之墓並日野五郎之墓

神光山成徳寺 在町外 一曰櫻谷山 曹洞禪本寺雲龍寺

地頭山三光院 在下町其宗修驗持三賢院一派 院領五斗四合

本尊緣師領二斗六升

觀音領一斗九升

燈明領一斗四合

庚申堂 在大工町右同派修驗千手院持 門北曰當山世親寺和光院

修驗 福本院 在下町右同派

里沙門堂 在水谷村 雲龍寺持

觀音堂 在同所號岩見山法照寺本尊千手觀音 因檢明證三十一番札所也堂領米六俵

鹿野之名義 恒河 飯提河

古城 杉原土居

石入君館舍之跡 同 月見之亭

東照宮之舊迹

石入君御内室之墓

同 御息女之墓

湯次郎右衛門元辰墓

小式部産湯水之廢跡

獅子舞山

櫻谷觀音寺之舊跡 在櫻谷

靈龜山大應寺之舊跡 在水谷

山名源七郎之墓並岩村染殉死之墓 在同所

土産 杉原紙 吳波紙 色紙 階田 同粉入 菅笠

閉野ノ南八町ニアリ此口ノ町ヲ紺屋町ト云フ鹿野光本谷ノ通りナ
 リ宿村ヨリ入ルヲ鍛冶町ト云フ北坂本谷ノ通りニテ光本谷ト山ヲ
 隔テ西ニ屬ス本母水ノ谷ナリ爰ニ於テニ谷トナルナリ洞谷口ヲ小屋人町ト云フ異末用村ヨ
 リ通ス水谷ヨリ入ルヲ殿町ト云フ南河内口ハ大工町坤ノ枝道ニア
 リ大工町口ハ乾勝見谷ノ湯村道ニテ今市村へ通ス此間ニ川ニツア
 リ今市ノ方ヲ玉川ト云ヒ鹿野ノ方ヲ恒河一名流ト云フ町屋小路十
 町南北ニ亘リ東西ニ長シ御制札場ヲ界テ二搦トス東分西分舊城下
 ノ名殘ニテ町外田圃ノ宇ニモ吳服屋町鉄炮屋的場彌次右衛門橋堀

清藤屋舖ナト云フリ惣シテ町並奇麗ニ農商相半ス古城ハ妙見山ニ
 アリ王舎城ト号ス惣シテ當處ハ昔ノ遺風ニヤ人ノ風俗優長ナリ農
 商エモエモナリト云ヘトモ諸道ノ細工人等有テ何ニ事カク事ナク
 列府ナナセリ産物モ數種アリ中ニモ管笠ヲ業トスル者半ニ過ク古
 人狂歌ニ 雨にきき笠赤らゑくに鹿野ふる何七所笠縫の里トナン
 詠ケルトソ其製作産品ナレトモ風流ハ古ニ變ラス鹿野笠トテ國中
 専ラ交易ス當國方言物縫ノ鹿野ナルヲ七所飛ト云フハ此笠ノ縫ヤ
 ヲノ故事聞ヘタリ民談記略曰山ヲ鷲峰ト云ヒ麓ヲ鹿野ト云ヘル事
 何ノ世ニ名付ケルニヤ故アル名稱トモ面白ク覺ヘ侍ル近比ノ領主
 龜井殿文字ノ才覺有テ多クノ物ノ名トモテ改メ玉フ故是モ龜井殿
 名付玉フト云フ者アレトモ神名記ニ鹿野社ノ名アリ又古キ記ニ鷲
 峰ナトモアレハ往古ヨリ久シキ名ト見ヘタリ鹿野ヨリ上ノ川ヲ恒
 河ト云ヒ下ヲ飯提河ト云フ是モ所ノ者ハ龜井殿名付玉フト云ヘ
 三名ミナ佛國ノ名稱ナレハ昔ヨリ云來レルナルヘシ但シ鷲峰鹿野

ノ二名ニヨリ川ノ名ハ龜井殿ツケ給フ事モ有ヘキ歟ト以上按ルニ
鹿野ト云フ里國中ニケ所^{郷上郡曳田}アリ當所鹿野ハ或ハ志加奴或ハ
志賀野ト書クミナ鹿野ノ假名書ニテ如野ハ音通ナリ

王舎城 南方妙見山ニアリ草創ノ時代知レヌ相傳フ志加野某代々居

城セリト按ルニ後太平記京合戰山名勢ノ内ニ志賀野氏ノ武士出タ

^{家喜九郎討死ノ}當城主ナルヘシ何ノ比ヨリ相續セレニヤ舊シキ國

侍ニテ山名ノ幕下ト見ヘタリ陰徳太平記天文十二年雲州ノ尾子暗

之當國入亂ノ時此城ヲ一時ニ乘破リ志加野入道以下三百餘人カ頭

ヲ切ルトアレハ此時滅亡セシナラン其後永祿中山名源七郎當郡鎮

護トシテ布勢ヨリ移住アリシ所ニ教臣武田高信カ爲ニ毒殺セラレ

テ當城轄ク無主ノ廢墟トナリヌ其比山名家日ヲ追テ衰替シ天正ノ

初二至テ毛利輝元ノ令ヲ奉セシカハ屋形置國ノ息女ヲ始メ家臣森

下中村等以下ノ人質二十餘人ヲ毛利ノ手ヨリ此城ニ入置三吉三郎

左衛門進藤置後守ヲ大將トシテ退兵一千餘人ヲ差籠是ヲ圍メタリ

同八年秀吉公采伐ノ初此城ヲ追落シ人質ヲ取シメ龜井衛十郎ヲシ
テ是ヲ守ラシメ且鳥取ヘ内意ヲ通シテ和議ヲ談セラル爰ニ於テ置
國毛利ヲ變心シテ秀吉公ニ屬セラレタリ時ニ毛利家爪牙ノ幕下杉
原播磨守當城ヲ攻ル事數日ナリ龜井能防禦シテ城ヲ保ケ得タリ其
後置國ノ臣等異心ヲ懷キ主人置國ヲ鳥取ヲ退出シ而シテ人質ヲ取
返サント森下中村等推來リ多勢ヲ以テ當城ヲ攻ル事甚ク急ナリ龜
井是ヲ欺キ人質ヲ返サント約シテ圍ヲ開カセ置國ノ息女一人ヲ助
ケテ其外二十餘人ノ頸ヲ刻テ敵陣ヘ送り置國ノ息女ヲ携ヘ松州ヘ
走テ秀吉公ヘ渡シケルト眞事太閤記ニ見ヘタリ其明九年秀吉公鳥
取ノ城ヲ陷レ一國平均シ給ヒシカハ忠賞トシテ龜井氏ヘ當郡一萬
三千石ヲ賜リ居ナリニ當城ニ在テ武藏守ト改名有テ城普請等經營
セラル其後慶長五年關ヶ原ノ軍功ニ因テ 東照宮ヨリ高草郡ヲ御
加恩アリ二郡ノ主トシテ三萬八千石ノ城下トナル城内城外今ノ町
小路ノアリサマハ其時ノ普請ノ迹ト云ヘリ同十七年武藏守殿卒去

アリシカハ子息豊前守政矩其家ヲ督セラル其時又五千石伯州久米御加増ヲ賜ハリ都合四萬三千石ヲ領知セラレ城下モ彌繁昌ナリシカ
 元和三年 台命ニ因テ龜井家封ヲ石州津和野へ移サル父子二代在
 城三十七年ナリ同年光政君因伯兩州管領シ給ケル其時一國一城ノ
 外持城制禁ノ 公命ニ依テ當所ノ城モ仰シ捨ラレタリ但シ長臣日
 置置前守此處ヲ知行シケル故山下ニ居宅ヲ設ケタリトツ十六年ノ
 後寛永御國換有テ御當家御入國ナル同十六年御家門ニテ御座ケル
 松平石見守輝澄君遊學シテ石入ト號シ玉ノ指州共政佐故有テ當所一萬石
 ナ領シ播州ヨリ移住シ給フ御館ハ城山西ノ麓ニテ築山泉水ノ跡今
 ニ殘レリ新テ二十餘年ノ後寛文逝去ナサレ御嫡子能登守政直君御
 家督ノ時播州粟賀ニ飯リ給ヒテ後住ム人ナカリケレハ空山草水茂
 長シテ燕歌牧笛ノ聲ノミ幽ナリ城ハ良ノ方ヲ前トシテ本丸ニ丸塀
 重門塀風櫓内塹外塹礮研堀ミナニ重石垣ニテ橋ノ跡迄依然ト殘レ
 リ城ノ後ヲ切通シト云フ昔ハ連部ト山羅リシヲ武藏守殿深山ヨリ

水ヲ引山ヲ流レテ堀切トセラレシトソ或説ニ城門北ヲ大手トス山
 高サ百三十間城内東西十六間南北八間山中北ノ方古井アリ深サ七
 十尋冬水七分夏三分順東西二百九十二間横八間古ハ深シ今淺ク城山
 東西八田ナリ南ハ山ナリ北ハ鹿野町ナリ町ヨリ山下ニ到テ二百七
 十間城山周回七町十間馬寄トモト云々又或説ニ當城ハ中古山名氏
 ノ時當郡押へノ出城ナリトモ云フ

杉原土國 幸盛寺ノ境内ニアリ天正ノ初藝州毛利家ヨリ妙見山ノ城
 ナ人質曲輪トシ番兵ヲ置テ護ラセケルヲ秀吉公來伐ノ初メニ先ツ
 此城ヲ追落シ人質ヲ取シメ龜井新十郎ヲ初メ赤井福井武田ト云
 フ者彼是大將五六人ヲ籠置其身ハ播州へ飯リ玉フ時ニ杉原捨摩守
 盛重備後國神邊道上ノ城主也ヲ大將トシテ矢田七郎左衛門等毛利家ノ命ヲ承ハ
 リ鹿奴ノ城ヲ攻ケル時此所ニ土國ヲ築キ陣ヲ張タル跡ト云ヘリ石
 垣ハ寺ノ後ニアリ今ハ萬人坑トナリ尼子ノ家士日野五郎カ墓モア
 リ門前田土ノ森ノ中ニ盛重荒神トテ杉原カ殿ヲ祭レル禿倉アリ盛

重ハ備後國神邊ノ城主ナリ天正ノ初メ元春隆放ニ從テ當國ニ來リ
 毛利家ニ忠貞ヲ盡シケルカ後病死セリト陰徳太平記ニ見ヘタリ墓
 ハ毋木宮吉ノ山上ニアレハ當郡ニテ果タルナラン歟又或説ニ重
 此時ノ合戦ニ討死シケルカ其怨念依草附木ノ精靈トナリテ此邊ノ
 人ニ崇リテ成ケル故ニ一社ノ神ニ祀ヒ祭リケルト何レカ是ナル事
 ナ知ラズ

恒河 鹿奴ノ西ノ口ヲ流ル、テ恒河ト云ヒ或ハ流砂川トモ云フ水源
 ナ鷲峯山ノ後南河内谷ニ發シテ鷲峯村ノ下ニテ分レテ二派トナル
 西ノ一派ハ小川ニテ勝見谷ヘ通ス東ノ一派ハ鹿野ノ方ヘ流レテ玉
 川村ノ上ニテ又二派トナル西ノ流レテ玉川ト名ケ東ノ流ハ鹿奴ノ
 西テ下ル恒河是ナリ此レ玉川村ノ下ニテ一フニ合シテ宿村ノ方ヘ
 流ル、ナリ

跋提河 此川ハ鷲峯山ノ北ノ麓水谷ノ小畑ヨリ流レテ鹿奴ノ東町小
 上町ヲ横流スル是ナリ此川ニ懸レル石橋ヲタハコ橋ト云フ末ハ宿

村ノ上ニテ恒河ト一フニナル其所ヲ落合河原トイフ川幅廣ク宿村
 ノ向テ勝嶋明神ノ山下ヲメクリテ戸島山崎ノ後ニテ羽田川末用川
 ニ合シテ其以下一派トナリ水勢山崎山ノ後麓ニアタル其所ヲ山崎
 淵ト云フ其レヨリ二本木坂本ノ前ヲ通リテ毋木ノ西ノ渡路ヲ要リ
 テ海ニ入ル惣名ハ鹿奴川ニテ或ハ其所々ニテ坂本川ト云ヒ又毋木
 川トモ云フナリ土人口碑ニ河内川昔ハ勝見郷ニ落ケルヲ龜井殿ノ
 時毋木ノ海ヨリ坂本谷ヘ船ヲ通サントノ目録ニ因テ玉川村ノ下ヨ
 リ宿村ノ方ヘ切落サル故ニ武藏川トモ云フト落合河原モ其時ヨリ
 ノ名ト聞ヘタリ然レトモ其事終ニ成ラズト云ヘリ按ルニ氏談記ニ
 鹿野ヨリ上ノ川ヲ恒河ト名ケ下ヲ跋提河ト云フト不審鹿奴ノ地ニ
 テ上下ト云ハ東ヲ上トシ西ヲ下トスタトヘハ東ノ町ヲ上町ト云ヒ
 西ノ町ヲ下町ト云フニテ知ルヘシ然レハ氏談記所謂東ノ川ヲ恒河
 トシ西ニアルヲ跋提河トス是大ナル齟齬ト謂ヘレモレ其川上川下
 ナ云ナラハ一河ニ二名ヲ稱スルニテ是モ又マナカヒナリ想フニ編

者其土地ニ到ラス傳聞ノ誤ナラン又此川ノ名モ近代ノ誤ニアラス
治曆年中七十代後冷泉院ノ御年號也當所施無畏山觀音寺ノ寺譜ニ驚峰鹿野雙林
恒河跋提河等ノ名ミヘタレハ往昔故アル名義ナルヘシ

山中鹿介幸盛之墓 幸盛寺本堂ノ後左側ニアリ石垣方一間許リ高サ
モ凡ソ同シ其上ニ無縫塔ヲ安シテ臺石ニ法名ヲ彫刻ス爲幸盛寺殿
潤琳居士天正十一癸未七月二日沙門城蓮社照譽上人建立ト鹿介ハ
雲州富田ノ城主タリシ尼子家ノ浪士ナリ此地ニ墓ヲ築ル事ハ龜井
武藏守殿由緒有テ其誌ヲ殘サレシナリ其行細ハ武藏守殿モ舊尼子
家ノ社官ニテ初メハ湯ノ新十郎國綱ト云シカ十七歳ノ時當國ニ落
来リ近縣山宮村村井覺兵衛ト云フ百姓是モ雲州浪人ナリシカハ其
家ニ養ハレ居ラレケル時鹿介ハ出雲ヲ立テ丹後但馬ヲ經廻リ當國
ヲ横行ス素ヨリ智勇武變類ヲヌキ剛果人ニ超ヘ當國ニ入テ後城ヲ
落ス事十三ヶ所ナリ新十郎古傍輩ノ因アルヲ以テ鹿介ニ隨從シ所
々ニ戰功アリ幸盛其勇氣ナル振舞ヲ稱譽シ已レカ娘ヲ以テ是ニ婚

ス此女子賢ハ尼子ノ一族龜井某ト云フ人ノ女ナリ龜井早世レテ其
妻女嫁ヲ俱シテ鹿介ニ再嫁セリ鹿介新十郎ヲ彼娘ニ娶テ龜井ノ家
ヲ再興セリ爰ニ於テ湯氏ヲ改メ龜井新十郎ト名乗レケルカ終ニ氣
多高草兩郡ノ主ニ封セラル是偏ニ鹿介カ後見ノ恩德ニヨレリト幸
盛ノ没後追威ノ志止ム事ナク斷タニ寺ヲ建鹿介カ實名ヲ呼テ幸盛
寺ト号シ自筆ノ額ヲ掲ケ遺骸ヲ葬埋シテ永ク報恩謝德ノ追善ヲ修
セラレシコソ誠ニ殊勝奇特ノ事共ナレ按ルニ鹿介ハ天正六年七月
二日備中國河部川阿部ノ渡リト云フ所ニテ毛利輝元ノ討手ニ謀リ
討レタル事諸書ニ見ヘタリ今此石碑ノ年号トハ相違ナリ此寺ハ文
祿元年天正六年ヨリ十五年後ナリノ創建ナレハ石碑ヲ建タル時ノ年号トモ見カタ
シイフカシ寶曆年中古碑ノ銘ノ寫シヲ見ルニ碑碣ハ五倫ニテ臺座
ニ幸盛寺殿潤琳淨了居士慶長十三年二月廿五日沙門城蓮社照譽上
人建立ト書リ然レハ今ノ無縫塔ハ寶曆以來ノ造リカエニテ慶長ヨ
リ寶曆ニ至テ百四五十年ノ星霜ヲ經タレハ文字浸滅シテ年數ヲ誤

リ記シタルモノ歟ニ照譽上人ト云ヘルハ當寺開山ノ住持ナリ此
 石碑何トシテ武藏守殿造立ナクテ照譽ノ立ケルハ故アル事ニヤ但
 シ初メノ石碑ハ武藏守殿建立ナリシテ破損シテ照譽是ヲ再建セシ
 ニヤ扱又龜井殿ハ禪宗ニテ讓傳寺、大檀越ナルニ其寺ニテハ此事
 ナク別ニ淨土ノ新刹ヲ立ラレシ事鹿今ハ淨土宗門ニテアリシ故ナ
 ランカ此墓ノ周邊數多ノ古墳ハ鹿今家來ノ者共ノ石碑ナリト云ヘ
 リ

日野五郎之房墓 是モ同所本堂ノ後寫人坑ニアリ其所ヲ杉原土園ト
 云フ北ノ角三圍餘ノ松下ニ五倫ヲ安ス高サ四尺二寸臺石ニ高譽壽
 性居士文祿三年十一月廿五日ト彫刻ス文字半ハ波滅シテ明ニ見カ
 タシ是モ尼子右衛門督晴久麾下ノ勇士ナリ尼子家没落ノ後當國ヘ
 流浪シ日ヲ送リケルカ文祿元年邸主龜井氏朝鮮へ發向ノ時之房末
 用村牛形山ニ私城ヲ設ケ龜井ノ留主ヲ侵シ寺社ヲ破リ寶物ヲ亂妨
 セシカハ其明二年龜井殿飯城ノ後益治氏大塔時氏等ヲ討手トシテ

牛形山ヲ攻ム之房防戰スト云ヘトモ叶ハス終ニ擒トナリ赤坂ノ根
 分ト云フ處 洞谷西ノ麓ニアリ 其北ノ刑罪場ナリ ニテ首ヲ刻ラレタリシ其死骸ヲ葬リシ
 ナリ後太平記曰秋宅庵之助日野五郎ハ能美郡へ討向ヒ七百餘騎ニ
 テ控ヘタリト或説ニ庵之助ト云フハ日野五郎カ假名ニテ別人ニア
 ラス山中鹿今同侶ニテ十勇ノ助名ヲ立タル其一人ナリ是ヲ尼子ノ
 十介ト稱ス十介トハ山中鹿助 寺本生死之助 秋宅庵之助 尤道
 理之介 今川龜之介 巖中荆之介 横道兵庫之介 小倉龜之介
 植田早苗之助 深田泥土之介是ナリ晴久ノ時四萬騎ノ中ヨリ千騎
 ナ撰ミ千騎ノ中ヨリ百騎ヲ撰ミ百騎ノ中ヨリ大勇十騎ヲ撰ントカ
 ル抜群ノ勇士ナレトモ尼子ノ家運ヲタナク此地ニ戮セラレケル
 事惜哉

精林院賀屋珠慶尼姉之墓 右同寺ニアリ五倫ノ碑欄 高サ八尺 廣長十
 五寸余 慶長十
 九年正月廿三日ト彫刻ス是ナリ是ハ龜井武藏守殿後妻ノ墓ナリ前
 妻ハ前ニ云フ鹿介繼娘ニテ其腹ニ一男子 幼名鬼太郎 有ケルカ七歳ニ

シテ死去アリシカハ母堂コレヲ深クナゲキ終ニ剃髮染衣ノ姿トナ
 リ一生ヲ京都ニ終ラレケルトナリサルニ因テ武藏守殿後フレシ給
 フ也是ハ家臣多湖宗次右衛門ト云フ人ノ女子ニテ此殿ニ誕生アリ
 レテ豊前守政矩ト稱シテ龜井ノ家相續アリシナリ宗次右衛門ハ武
 藏守殿ノ伯父ニテ其子ヲ多湖主水ト云フ代々龜井家ノ執政ナリト
 ヲ

石入君御館之跡 城山山ノ麓ニアリ石入君ト申ケルハ松尾宰相選政
 卿ノ四男松平石見守輝俊ト稱ス東照宮ノ御外孫ニテ 興禪君ノ叔
 父君ナリ播州宍粟佐用二郡六萬石ヲ領知シ玉ヒ從四位下侍從ニ昇
 進シ玉フ然ルニ寛永十六年家中不應ノ騷動出來テ御領地召上ラレ
 御當家へ御預ノ身トナラセラレタリ其時公儀ヨリ堪忍料トシテ播
 州曾根ニテ一萬石下サレケルヲ御當家へ御收納ナサレ其替地トシ
 テ當郡ノ内一萬石ヲ進セラレ鹿野へ移住シ玉ヒケルカ御薙髮アリ
 テ石入ト自稱セラレケリ斯テ二十四年御謫居ナリシカ寛永二年四

月十八日卒去シ玉フ享年五十九歳トカヤ法名大雲院殿一關徹心大
 居士御遺言ニ因テ叡山へ御葬送アリテ當所興國寺ト云フ寺ニ位碑
 ナシ殘シ玉ヘリ其後御館ヲエホケ捨ラレ今ハ築山泉水ノ碛ケノ跡ノ
 ミ殘リテ舊墟ハ名ノミナリ勝見湯村ノ御茶屋ハ此材木ヲ引用ヒ玉
 ヒケルトツ享保五年鳥取ノ失火石黒ニ燒失シタル興禪寺玄關ノ唐
 破風ハ御館ノ式臺ヲ其儘ニ用ヒタル造作ニテ今時ニハ珍シキ作事
 ニテアリシト語り傳フ

石入君月見ノ亭 中隍西ノ涯ニ其跡アリ石入君數嶋ノ遺蹟ヲ嗜ミ給ヒ
 シカハ毎ニ此亭ニテ歌詠玉フト或時鹿野ハ景ト云フ廻ヲ作り給ヒ
 テ京都ノ竹ノ内三位殿トカヤニ其和歌ヲ頼ミ給ヒケル其題ニ曰
 洞谷夜月 母木片帆 少林晚鐘 水溪晴嵐
 鷺峯殘雪 勝島夕照 玉川夜雨 城池寒鷺
 是ナリ此中城池寒鷺ト云ヘル題
 水鏡みてや止まん白鷺の身のしら池につばさしをれて

トナン間ヘレハ石入君詠給フト云傳ヘタリ此外郡中タマタマ御自筆ノ和歌ヲ持傳フ者アリ

東照宮之廢迹 石入君館舎ノ西ノ山下ニ町許リニアリ是ハ石入君此地ニ御座アリシ時御勅氣ノ御身ナカラ正シク 神君ノ御外孫ニマシマシケレハ 御神靈ヲ勸請ナサレ朝暮御崇敬アリシナリ其比神事ハ勝宿ノ社司飯田某是ヲ執行シ春秋二時ノ祭祀怠リ無リントカヤ石入君ノ後ハ其事断絶シケレハ宮社ヲ勝宿神社ノ後ニ移レ奉リテ末社ノ一神トス今モ勝宿明神ノ末社ノ中ニ 東照權現ノ神號アルハ其故ト云ヘリ舊地ハ陸田トナレテ社司ノ所得トナリヌ昔ハ御神影モマシマシケルカ今ハ行方ナクナリ給フトツ

石入君御内室之墓 鹿野ノ町外レ東ノ田上ノ中ニアリ四方ニ土手ナツキ傍ニ古松三本銀杏樹二本アリ石碑ハ無縫塔ニテ上ニ題目ヲ書シ其下ニ天性院殿瓊林貞摘信女慶安四年辛卯十一月十六日能登守正式建之ト彫刻セリ是ハ讃州高松ノ城主生駒讚岐守一正ノ息女ニ

ヲ石入君ノ御内室ニテオハセレカ此地ニ卒去ナサレシナリ其比此所ニ興國寺ト号スル古刹ノ有シカハ其寺ニ御葬送アリシナリ其後元祿十三年ニ興國寺ヲ鳥取ヘ引玉ヒケレハ此地ハ忽チ荒野ト成行キ今僅ニ三反三畝余ノ田圃ノ中ニ古墳ノミ残リテ是ヲ興國寺跡ト云傳フルナリ扱興國寺ハ鳥取治五坊ニ新刹ノ地ヲ賜ハリ天性山瑞光寺ト改号シテ興禪寺ノ末山トナシ鳳山ト云ヘリ僧ヲ住持ニ据エ是ヲ中興ノ開基トセリ近年又治五坊ヲ轉シテ粟谷東ノ山下ニツツス今ノ瑞光寺是ナリ按ルニ興國寺ハ昔ヨリ臨濟宗ニテ黄檗一派ノ禪林ナリシ事雲龍寺ノ寺譜ニ見ヘタリ石入君ハ日蓮宗ニテ御一門ノ牌位ヲモ當所妙光寺ニ安置シ玉ヘリ然ルニ此御方ヲハ禪宗ノ寺ニ葬リ玉フハ故アル事ニヤ但シ御自身ハ御遺言ニテ飯山ニ御葬送アリントナレハ皆思召ナクテノ事ナルヘシ

入君御息女良姫君之墓 鹿取ノ東北麓カ谷ト云フ處ニアリ是モ碑碣ハ無縫塔ニテ正面ニ題目ヲ書シ壘石ニ法名ヲ彫刻ス雲窓院殿日

極大姊正保四年亥十月十八日施主松平采女正直建之ト是ハ御母堂ヨリ先ニカクレ給ヒシテ妙光寺ニ御葬送アリシナリ施主采女正直トアルハ能登守正式君ノ初名ニテ良姫君ノ御舍兄ナリ石碑都度ノ高サ一丈許リナリ

湯ノ次郎右衛門墓 同所南ノ丘ニアリ石碑ハ五倫ナリ總高サ七尺許リ妙法蓮華經ト五級ニ彫刻シ壘石ニ法名ヲ書ス寶相院覺理日意大德慶長二十乙卯年三月四日ト見エタリ右ノ傍ニ曰佐々木末孫雲州住人湯次郎右衛門尉源元長石塔也令弟湯采女正元綱敬白ト三行ニ註セリ是ハ龜井氏ノ家臣ニテ舊ハ一族ナリ霞カ谷ハ妙光寺ノ境内ナリ

松平右京大夫政綱君之位牌 凌泰山雲龍寺ニアリ法名雲龍院殿涼岫蔭公大居士寛永八年七月二十九日トアリ是ハ此地ニ卒去アリシニハ非ス石入君ノ御弟君ナルヲ以テ石入君御謫居ノ時當寺ヘ御安牌ヲサレシナリ雲龍ノ寺号ハ此御法名ヲ稱スルナリ但シ寺ハ寛弘ハ

年 一條法皇ノ追福ノタメ當郡ノ知主中納言紀氏辨ノ建立ニテ双林山無上大涅槃寺ノ舊迹ナリ中古類廢シケルヲ天正十八年讓傳寺九代忠岳宗恕禪師是ヲ再興ス其時仰雲山涅槃寺ト号ス慶長中凌泰山寺ト改ムル事故有テ龜井武藏守殿法名凌泰山ヲ稱ス今又凌泰山雲龍寺ト號スルハ兩侯ノ法號ニ據レルナリト

小式部産湯之水 鹿野ノ東田土ノ中ニ小丸山ト云フ一丘アリ此山下ニ小式部産湯ノ水トテ小ヶ池ノ有レト是ハ昔和泉式部京都ニ在テ其ノ胤ヲ妊シナカラ當國ニ飯リ所縁有テ此里ニ小式部ノ産シ其身ハ又京ニ登リケルカ小式部三歳ノ時使來テ都ヘ連飯リケル其産レケル時彼池水ヲ産湯ニ掛ケル故傳テ小式部産湯ノ水ト云フト云ヘリ按ルニ和泉式部ハ高草ノ湖山ノ産ナリ後都ヘ登リ 一條院 六代ノ后上東門院ノ女房辨内侍タリ後ニ和泉守橋道貞ノ妾ト成テ小式部内侍ヲ誕リ道貞死シテ後丹波國藤原保昌ニ改嫁セリト然レハ道貞ニ別レタル時ノ事ナルニヤ當國ハ古郷ナレハサル事ノ有マシキ

ニ非ス小丸山ト號スルハ多分穿壞ナ山ノ形僅ニ殘レリ或ハ萬人坑トナシ其周圍ミナ田圃トナリテ今ノ池ノ迹ト云フ處モ定カナラヌ獅子舞山 同所ニアリ孤山ナリ其形獅子ノ狂ヒ伏タル如クナレハ名付ト又鹿園向妙集ト云フ記録ニ曰孝元五年辛卯鷲峯ノ三神獅子胡馬ニ駕テ畿岡ニ天降救麻シテ神遊ス其詞ニ曰多賀貴屋摩安利留滿幸威滿幸愛敬幸獅子胡馬不用トクリ返シウタイ犬ヲ放テ山ニ鎮ス土俗此神獅子舞ヲ用ヒストテ祭祀ニ獅頭ヲ振サルハ其故ナリ其舞岡トハ獅子舞山是ナリト云ヘリ白妙集ト云ハルハ當處靈龜寺ノ記詠ナリ是何ノ書ニ出タル故事ニヤ

佐久良谷觀音寺之舊跡 西谷ノ與ニアリ其地ヲ櫻谷トイフ昔ハ櫻樹數多アリシト寛弘年中殿村ノ舞士紀ノ氏舞ノ女櫻姫トイヘルカ直相ノ觀世音ヲ拜セン事ヲ誓ヒ每ニ六時ノ禮拜怠ル事ナカリシカ一ト夜禪定ノ牀ノ前ニ光明ヲ見ルアヤシミテ其光ヲシタヒ行クニ此谷ニ到リケルニ樹下ニ觀音大士ノ妙相アサヤカニ現シ給ヘリ佛勅

アリシカハ是ニマカセテ側ナル櫻樹ヲ以テ其拜スル處ノ尊容ヲ自ラ彫刻シ此處ニ寺ヲ建立シ施無畏山觀音寺ト號シテ彼本尊ヲ安置シヌト數百年ノ後郡主龜井氏其寺ヲ鹿野ノ城下ニ引移サレケル今ノ紺屋町ノ觀音寺是ナリトイヘリ委シクハ彼寺ノ緣起ニ見ヘタリ

靈龜山大應寺之舊迹 水谷村 鹿野ノ坤ノ方ニありノ與一町餘西側ノ山下ニアリ人皇六十五代 花山院入覺法皇回國行脚ノ時藤原ノ稀茂トイフ人入道シテ御迹ヲ慕ヒ尋子求ルトイヘトモ御行方シレス當郡青屋ノ庄ヨリ養郷ノ坂ヲ越テ此里ニ來リ草庵ヲ結ヒテ止宿シ當所住吉ノ神ヲ祈ル或時前ノ川ヨリ小龜一ツ割上リテ庵室ニ入ル其ノ夜ノ夢ニ龜ノ去ル方ヘ往ヘント稀茂イフカシク思フニ翌朝彼ノ龜北ニ向テ出教ノ如ク稀茂モ北國サンテ行脚シケルカ越前ノ國今井ノ城花見ノ岡ト云フ處ニテ廻リ逢奉リケルト靈龜山大應寺ハ其ノ稀茂住ケル庵跡ト云傳ヘタリ 白妙集

名源七郎殿之墓 右同所大應寺ノ山下ニアリ自然石無銘ノ碑榻是

ナリ是ハ近世當國ノ守護職山名左馬助或通ノ稱ナリ功績ニシテ
 父誠通ノ家ヲ督メ布勢ノ屋事ヲ領メシカ末代武家ノ事トクヤ家臣
 武田又五郎高信謀叛ニ因テ爲メノ城ヲ御領シ終ニ通敵ヲ成テ國
 中是カタシニ總ナラス日ヲ追テ屋事ノ職ヲ失フ事ト成リ
 聞ヘアリシカハ常郡鎮談トシテ源七郎殿布勢トシテ城ヘ移リ
 玉ヘリ高信是ヲ弑セン事ヲ計ルニ女ヲ以テ是ヲ誘ヒ終ニ鹿坂ノ城
 ニ於テ毒殺セリ源七郎殿今年二十三歳トカヤサシモ一國ノ屋形ト
 呼ハレシ其碑碣モ賊臣ノタメニ國中動亂シ是ヲ修造スルニ其狀ナ
 カリシニヤ法名モ記サス只自然石ノ碑ノミ叢中ニ獨立ス有棟檜古
 ノ派ヲ催シヌ其ノ時源七郎殿ト同年ナリシ岩村某ト云フ龍臣主人
 ノ病中死期ノ形勢ヲ見テ役女ノ所爲ナル事ヲ察シテ其女ヲ切殺シ
 其力ニテ肢播切テ失シトナン其墓モ其側ニアリ石ヲ積テ塚ト成ス
 此地舊寺跡ナルヲ以テ塚跡數多紛亂トシテ明ニ知カダシ按ルニ氏
 談記源七郎殿遺骸ハ水谷ノ回龍寺トイフ古寺ニ歟ノ墓ヲ築クト然

ルニ此地ハ靈龜山大應寺ノ舊迹ニテ今モ寺ヲ大應寺ト云フ回龍寺
 ハ是ヨリ興小畑村旁爾ニアリ想フニ回龍寺ニ葬送シテ遺骸ヲ此地
 ニ安措セシモノ歟

住吉大明神 水谷村東ノ山丘ニアリ山地境内長サ百五拾間横百十間
 本社方三尺余神樂所方二間花表石ノ柱南ニ向ク昔ハ五間四面ノ宗
 社ニテ纏々タル拜殿モアリレト古キ扉ニ

言乃葉を手向の麻にひきはへて身をすみよしの神にまかせん
 ト詠タル和歌ノヲ有シトナン以前ハ側ニ樂師堂モアリシト本尊ハ
 住吉明神ノ木地佛ニテ往古ハ興ノ院ニアリシトカヤ是ハ慶長年中
 發願寺ノ忠岳和尚四月七日摘華ノ序ニ此谷隘ニテ木佛ヲ得テ一宇
 ヲ建立シ珊瑚山樂師寺ト名フク然ルニ寛永ノ末比華嚴坊ト云ヘル
 山伏彼堂ニ住ケルカ何シカ本尊ヲ京都ニ負去テ尖ヘリ其後堂宇モ
 破レ今ハ跡サヘ知レスナリヌ

回龍寺之舊跡 水谷村ニアル觀音堂是ナリ此寺往古ハ此谷與岩宮谷